

一四四 入籍者ノ相續

- 四六 婚姻ニ從ヒタル繼子ト其後二三男何レモ親族入籍者ナルトキハ入籍ノ前後ヲ問ハスニ男相續人ナリ
- 四七 母ノ婚姻ニ從ヒタル繼子男ト廢家ノ上親族入籍シタル長男ヲ有スル戸主ノ相續人ハ長男ナリ
- 四八 戸主ニ婿養子ト亡長男ノ長女ト亡長男ノ養子男アリ婿養子ハ分家ヲ爲シ亡長男ノ長女ハ他家ノ養子ト爲リ亡長男ノ養子亦離縁シタリ其後婿養子及亡長男ノ女引續キ親族入籍ヲ爲シタル場合相續權ハ婿養子ニ在リ婿養子ト亡長男ノ長女ト婚姻シタル場合亦同シ
- 四九 私生子ヲ有スル女カ廢家婚姻ヲ爲シ其ノ夫カ私生子ヲ認知シタル場合其婚姻前夫家ニ親族入籍シタル嫡出子アルトキハ民法九七〇條ニ依リ相續順位ヲ定ムヘキモノトス
- 五〇 長男甲ノ有スル男戸主カ廢家ノ上長男乙ヲ有スル女戸主ト入夫婚姻戸主ト爲リ後相續開始セハ相續權ハ乙ニ在リ
- 五一 戸主ノ同意ヲ得スシテ婚姻シタル爲復籍拒絶セラレタル長女カ其夫ト共ニ該戸主ノ家ニ在ル叔父ト縁組入籍シタルトキハ分家ヲ廢家ノ上入籍セルニ女ニ先チ相續權アリ
- 五二 女戸主ノ私生子カ長男ヲ殘シテ死亡スルモ女戸主カ前婚家ニ於

一四四 戸籍法 家督相續 入籍者ノ相續

大正 二〇・五・六 司 回	大正 二〇・五・六 司 回	大正 二〇・五・六 司 回	大正 二〇・五・六 司 回	大正 二〇・五・六 司 回	大正 二〇・五・六 司 回
民事 二二二〇 (1337)	民事 二二二〇 (1337)	民事 二二二〇 (1339)	民事 二二二〇 (1339)	民事 二二二〇 (1339)	民事 二二二〇 (1339)
九二	九二	九二	九二	九二	九二
一九	一九	一九	一九	一九	一九
九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一
九	九	九	九	九	九
七七	七七	七七	七七	七七	七七
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

一四四 戸籍法 家督相續 入籍者ノ相續

- テ舉ケタル二男カ親族入籍シタルトキハ相續人ハ二男ナリ
- 五三 戸主甲ノ養子丙カ長女戊ヲ舉ケタル後長女ヨリ年長ノ自己ノ子ヲ引取入籍シタル場合ト雖甲戸主死亡シ丙戸主ト爲リタルトキハ丙ノ相續人ハ戊ナリ從テ甲戸主ノ相續開始前丙死亡セハ戊ハ代承相續人ナリ
- 五四 民法九七二條ハ民法七三七條七三八條ニ依リ入籍シタル者ト元來其家ニ在ル嫡出子庶子トノ順位ヲ定メタルモノニシテ此兩條ニ依ル入籍者相互ノ順位ヲ定メタルモノニ非ス
- 五五 廢家者ニ隨テ入籍シタル直系卑屬カ其家ニ於テ生レタル直系卑屬ト父母ヲ同クスル場合ノ如キハ民法九七二條ヲ適用セサル趣旨ナリ
- 五六 民法七六三條ニ依ル入籍長男ハ其後出生ノ二男(弟)ト其父母ヲ同フスル場合ハ民法九七二條ノ適用ナク二男ニ先チ相續權アリ
- 五七 親族入籍者ニ付テハ其後戸主變更ノ有無ニ拘ラス民法九七二條ノ適用アリトノ省議ヲ變更セス
- 五八 親族入籍シタル二男ハ其入籍後舉ケタル自己ノ嫡出子又ハ庶子ニ先チ相續權アリ
- 五九 戸主ノ長男死亡後先ツ三男次テ二男入籍シタル場合相續人ハ二男ナリ

大正 市區決	二〇・五七〇元	一七八	四四	六
市區決	一八二	四四	六	
法曹決	二〇・二四	記事 三七二	四一	
司	二七・五	民事 二二七九 (1340)	九一	二二
司	二八・六	民事 三〇八〇 (580)	四九	一〇
司	二八・六	民事 三〇八〇 (581)	四九	一〇
司	二八・六	民事 三〇八〇 (582)	四九	一〇
和 決	二〇・三三	五五〇	五〇	五

- 六〇 入籍者ニ付民法九七二條ノ適用アル場合ト否トハ概括的ニ決スルヲ得ス
- 六一 戸主ノ長女婿養子ヲ爲シ孫出生後長女夫妻分家シタルニ相續人タル長男死亡孫以外ニ卑屬ナキ場合婿養子廢家入籍シタルトキハ婿養子相續人ナリ
- 六二 戸主廢家縁組ニ因リ長男ト共ニ養家ニ入り他家ノ女ト婚姻シニ男出生後養家戸主ト爲リタルトキハ長男相續人ナリ
- 六三 私生子間ニ於テハ民法九七二條ノ適用ナシ
- 六四 民法第七三七條ノ規定ニ依リテ家族ト爲リタル直系卑屬ハ其入籍當時ノ戸主ニ付家督相續ノ開始シタルトキノミナラス其後ノ戸主ニ付家督相續ノ開始シタルトキト雖嫡出子又ハ庶子タル他ノ直系卑屬ナキ場合ニ限リ第九七〇條ニ定メタル順序ニ從ヒテ家督相續人ト爲ルコトヲ得
- 六五 民法九七二條適用ニ關スル大正十一年八月十八日民三〇八〇號回答ト大正八年五月十四日民一一一四號回答トハ各入籍原因異ナリ兩立ス
- 六六 民法施行前親族入籍シタル長男ハ二男ニ先チ相續スルコトヲ得ストノ省議變更ヲ求ム
- 六七 省議變更前父ヨリ認知セラレタルモ母ノ法定推定相續人ナリシ

市區決	二〇・三三	一九二七	五七	八
市區決	二〇・三三	三五五	五七	二
司	二五・三	民事 一四八〇 (984)	五七	二六
司	二六・二	民事 一九八四 (1342)	九一	二四
大正 民判(オ)	二七・九 大正民判(オ)	七三七	六六	一三
司	二〇・二八	民事 三四五七 (1131)	六二	一〇
市區決	三六・四一六	八 (272)	八一	三

一四四 戸籍法 家督相續 入籍者ノ相續

爲父家ニ入ラサリシ私生子男カ其後母ノ先順位ノ相續人アルニ至リタル爲父ノ家ニ入籍シタル時ハ民法九七二條ノ適用アリ

六八 民法施行前分家ヲ爲シタルモノノ本家ニ殘シタル直系卑屬ヲ施行ノ日ヨリ明治三十五年四月ニ至ル迄ノ間ニ於テ分家者ノ家族トシテ親族入籍セシメタルモノニ付テハ明治三十五年法律第三七號附則第二項ノ適用ナシ

六九 明治三十五年法律第三七號附則施行前分家セシ戸主ニ養子男丙ト分家ニ於テ出生シタル長男丁ト右附則施行後本家ヨリ親族入籍シタル丙丁ヨリ年長ノ長男戊トアル家ノ相續人ハ長男戊トス

七〇 長男ヲ有スル戸主廢家ノ上塔養子縁組後塔養子戸主ト爲リタルトキハ廢家ノ際共ニ入籍シタル長男ト雖縁組婚姻後ニ出生シタルニ男ニ先チ相續權アリ

七一 養子カ縁縁復籍シタル當時養父ハ未タ戸主ト爲リアラサルトキハ孫タル養子ノ長女ハ代襲相續人ト爲ルコトナシ又民第九七二條ニ所謂嫡出子又ハ庶子タル他ノ直系卑屬トハ入籍者ノ子女及被相續人タル戸主ノ子女双方ヲ包含ス

七二 民法七三七條ニ依リテ家族ト爲リタル直系卑屬ハ嫡出子又ハ庶子タル他ノ直系卑屬ナキ場合ニ於テハ同法九七〇條ニ定メタル順序ニ從ヒテ家督相續人ト爲ルヘキモノトス

大正 市區決 三六・四一・六	二四 (285)	八一	八
市區決 三六・四一・六	三三 (294)	八一	一一
市區決 三六・四一・六	五一 (310)	八一	一五
田 三・一〇・三 決	二二 七	七二	一六
司 四九・六 回	民事 八〇五 (1214)	八四	一三
法曹決 五二・八	雜誌 三四	一〇九	

七三 戸主ノ二男他家ニ縁組後實家ニ親族入籍シ在籍ノ儘縁縁ス相續ニ付テハ民第九七二條ノ適用アリ

七四 婚家ヨリ夫ト共ニ實家ニ入籍後離婚シタル長女ハ二女ニ先チ相續權アリ〔一四四七七〕

右ノ場合夫ハ離婚ニ因リ當然實家ニ入ルモノニアラス

七五 戸主ト爲ラサル廢家入夫ノ長男ト女戸主ノ長女ニシテ入籍シタル者トノ間ニ在リテハ後者ニ相續權アリ

七六 親族入籍シタル長男ハ後ニ生レタル庶子女ニ先チ相續權ナシ

七七 夫ト共ニ實家ニ親族入籍後離婚シタル長女ハ二女ニ先チ相續權アリト本省回答ハ入籍者ナレトモ離婚ニ因リ身分ヲ回復シタルモノト看做シタルニ依ル

七八 本家ニ在ル長男分家ニ入籍又分家シタル二男廢家ノ上本家ニ入籍若クハ他家ニ嫁シタル長女夫ト死別入籍シタルトキハ民法九七二條ヲ適用セサルコトニ省議變更ヲ求ムルコト

七九 父ノ廢家入籍ニ從ヒ共ニ入籍シタル長男ハ其後出生シタル二男ニ先チ代襲相續權アリ

八〇 民法施行前ノ入籍者ニ付テモ民法第九七二條ノ適用アリ

八一 明治三十五年法律第三七號施行前分家ヲ爲シタル者ノ直系卑屬ニシテ民法七三七條ノ規定ニ依リ分家ノ家族ト爲リタル者ニ付テハ

大阪決	一二 三	九二	三三
司 五九・七 回	民事 五八七八 (1374)	九五	三
市區決 五〇・七・九 和 二・四・八 九	八七 九	一〇〇	二八
市區決 四三 (395)	九九	一〇〇	三
市區決 二・四・五・七	一一 (408)	一〇六	七
市區決 二・四・五・七	一一 (409)	一〇六	八
市區決 二・四・五・七	三四 (430)	一〇六	一九
妙 二・四・三 決	二二 一	一〇〇	九

一四四 戸籍法 家督相續 入籍者ノ相續
 同法九七二條ノ適用ナシ
 八二 民法九七二條ニ所謂嫡出子又ハ庶子タル直系卑屬ノ有無ハ家督相續開始ノ時ヲ標準トシテ定ムヘキモノトス

昭和 二〇六 法曹決	三 八 四	昭和 二〇六 法曹決	三 八 四
雜誌 一五	一〇六	雜誌 一五	一〇六
雜誌 一〇九		雜誌 一〇九	

一四五 尊屬ノ相續

- 一三 子カ戸主タル家ニ親族入籍シタル父又ハ母ト雖尊屬相續權ヲ有ス
- 一四 分家戸主ノ家ニ在ル父方ノ祖母親族入籍ノ後母方ノ祖母亦入籍セリ戸主死亡ノ場合相續人ハ父方ノ祖母ナリ
- 一五 民法施行前ニ於テモ民法第九八四條ノ規定ト同一ノ慣例アリタリ
- 一六 養家ニ養母ト親族入籍シタル實母トアル場合及戸主ノ弟カ兄夫妻ト戸内縁組後兄ノ家督相續ヲ爲シタル爲養母ト實母ヲ有スル場合養母ハ實母ニ先チ相續權アリ
- 養子カ養母ト共ニ實家ニ廢家入籍ヲ爲シ實家ノ戸主ト爲リタル場合實母ハ養母ニ先チ相續權アリ
- 分家ヲ爲シタル養子カ嫡母、養母及實母ヲ入籍セシメタル場合養母ニ相續權アリ
- 一七 亡戸主ノ唯一ノ遺族タル母ハ相續ノ拋棄ヲ爲ササル限り他家ニ婚姻スルコトヲ得ス
- 一八 戸主ノ母ハ相續開始後離縁復籍シタル戸主ノ子ニ先チ相續權アリ
- 一九 亡戸主ノ養母ト遺妻アル場合養母ハ遺妻ヲ相續人ニ選定セサル

大正 八・八・六 司 回	大正 八・八・六 司 回	大正 八・八・六 司 回	大正 八・八・六 司 回
民事 三七七三 (1357)	民事 三七七三 (1357)	民事 二七〇七 (1358)	民事 四七〇二 (1243)
九三	九三	九三	八六
一五	三一	一六	一八
七八	七八	九三	五二
二八	二八	五九	五二
三三五	三三五	三三五	三三五

三八五

一四五 戸籍法 家督相續 尊屬ノ相續

- 許可ヲ受ケタルトキハ自ラ相續スルコトヲ得
- 二〇 戸主ト爲ラサル入夫甲ト女戸主乙トノ間ニ長男丙ヲ擧ケ入夫ハ離婚實家ニ復籍シタル後女戸主隱居シ長男丙相續戸主ト爲リタルニ前ノ入夫(即チ丙ノ父)ハ親族入籍ニ因リ入籍シタリ此場合ニ丙戸主死亡シ他ニ相續人ナキトキハ甲父ニ於テ尊屬相續スヘキモノトス
- 二一 尊屬相續スヘキ母カ精神病ノ爲相續届ヲ爲スコト能ハサルモノハ禁治産ノ宣告手續ヲ爲シタル上後見人ヨリ相續届ヲ爲サシム
- 二二 尊屬相續人タルヘキ嫡母養母アルトキハ養母ヲ先順位者トス
- 二三 戸主隱居届出後長男カ相續届出前死亡シ他ニ相續人ナキトキハ隱居者ハ尊屬相續トシテ相續權ヲ拋棄セサル限リ亡長男ノ相續ヲ爲スヘキモノナリ
- 二四 母及弟ノミヲ有スル戸主死亡シ母カ弟選定前弟死亡シ又ハ選定シタルモ承認前若ハ拋棄前死亡セハ母尊屬相續ス若シ又弟選定後相續拋棄期間經過後死亡セハ弟戸主ノ戸籍ヲ編製ス
- 二五 民法九八四條ノ場合ニ繼父ハ實母ニ先チテ相續權ヲ有ス
- 二六 戸主ニ入籍シタル實母ト嫡母ト養母トアル場合嫡母ニ相續權アリ
- 二七 亡戸主ノ母カ亡戸主ノ弟ヲ相續人ニ選定セサル内弟死亡シ母カ亡戸主ノ尊屬相續届出ハ適法ナリ

大正 和〇〇九	三〇〇二編 和	二〇二二編 和	四〇七〇 御	二五〇四九 和	五〇九六 昭和	二二二四 法曹	大正 新
決	決	決	決	決	決	決	決
六二八	六五五	六七二	二九八	八〇五	八三八	一七六	五三一
六六	七二	七三	八〇	八九	九四	九八	一〇三
二	二	七	二	一	三	一三	八

一四六 胎 兒

- 一七 胎兒ト相續權
- 一八 胎兒ノ相續ト雖被相續人タル父ノ嫡庶兒ナルコト明ナラサルトキハ出生ヲ以テ其届出ヲ爲サシムルヲ可トス
- 一九 相續人タル男子妻懷胎中廢除セラレ相續開始シタルニ因リ胎兒ノ相續届後他家ニ入り胎兒生レタルトキハ戸主ナルヲ以テ父ノ家ニ入ラス及其出生届ノ記載方
- 二〇 單身戸主婚姻後五十日ニシテ死亡シ妻ヨリ胎兒ノ相續届アリタル後胎兒ノ出生アリタルモ父母ノ婚姻後百八十日目ナルトキハ便宜出生届ヲ受理新戸籍ヲ編製シ後日相當方法ニテ訂正スヘシ
- 二一 戸主死亡相續人ハ胎兒ナルモ其相續届ヲ爲サスシテ出生シ出生届出タルトキハ前戸主ノ家族トシテ一旦記載ヲ爲ス
- 二二 戸主タル父死亡シ其遺妻ヨリ婚姻二百日以内ニ出生スヘキコト明ナル胎兒ノ家督相續届出ツルモ受理スルコトヲ得ス
- 二三 婚姻成立後二百日以内ニ戸主タル夫死亡ニ因リ妻カ胎兒ノ爲家督相續届ヲ爲スニ添附ノ醫師診斷書ニ妻妊娠後九ヶ月ナル旨證明シアルモ受理ス但子カ二百日以内ニ出生シタルトキハ戸籍訂正ニ依リ胎兒ノ爲ノ家督相續事項ヲ抹消ス

一四六 戸籍法 家督相續 胎兒

古山列事論說	大正 六三二五 司	六六八 司	七六二五 司	七六二五 司	七六二五 司	三三三 御
回	回	回	回	回	回	決
民	民	民	民	民	民	決
一一三三(897)	九〇三(915)	一三二九(1009)	一三三三(1010)	一九二	二六九	三三七
五四	五五	五八	五八	六二	六五	三三七
二一	七	一六	一六	七	三	三三七

一四六 戸籍法 家督相續 胎兒

- 二四 相續開始ノ場合生存セル直系卑屬ト胎兒トアルトキハ既存ノ直系卑屬ヲ家督相續人トシテ届出ツヘキモノトス
- 二五 庶子女又ハ親族入籍シタル子女ヲ有スル戸主死亡シタル場合胎兒ノ爲ノ相續届出アルモ受理セス
- 二六 民法九八二條ノ規定ハ胎兒ニ適用ナキモノトス
- 二七 他家ノ父ニ認知セラレアル胎兒ハ其母ニ於テ家督相續届出ヲ爲スヲ得ス

三八八

大正 法曹決 一四〇二八	昭和 法曹決 二〇三四	昭和一 市區決 一四〇二六	昭和二 市區決 二〇二七
雜誌 四三	雜誌 八七	雜誌 五五	雜誌 一〇六
八九	二	一四四	一〇

一四七 其他

- 一七 願濟繼承者ト定ムル亡孫ノ長女ト親族入籍ヲ爲シタル戸主ノ長男トアル家ノ相續人ハ孫ノ長女ナリ
- 一八 長二三男ヲ有スル戸主アリ長男大正十年死亡同十二年届出同十年二男分家除籍今三男ヨリ相續届出タル場合確定判決又ハ戸籍訂正ニ因リ分家無効ノ手續セサル限リ該届書受理シテ可ナリ
- 一九 先例變更前ニ於テ庶子カ父ノ入夫婚姻ニ因リ嫡出子ノ身分ヲ取得シタルコトニ因リ父ノ婚家ニ入りタル後更ニ他ノ年少ノ子ヲ認知シタル場合相續權ハ長男ニ在リ
- 二〇 民法施行前願濟廢嫡ノ上分家シ更ニ入籍シタル長男ニ對シ廢除ノ取消ノ裁判アリタル場合舊慣ニ依リ二男トノ相續權アルモ長男ノ相續權ヲ認容スル判決ニ基キ長男ヨリ相續届出タルトキハ受理スル外ナシ
- 二一 民法施行前ノ非繼承養子ハ同法施行後ニ開始シタル相續ニ付相續權ナシトノ省議ノ變更ヲ求ムル件ハ大阪控訴院長ヨリ本省ヘノ照會ノ結果ヲ待ツヘシ〔一四七二二〕
- 二二 民法施行前ノ非繼承養子ハ同法施行後ニ開始シタル相續ニ付相續權ナシト大正一・六・三民事八四四號司回一

一四七 戸籍法 家督相續 其他

三八九

大正 司回 一〇七	大正 司回 一〇二	大阪決 六一	大阪決 五四
民事 一四二七 (1328)	民事 四五六九 (1325)	八五	八五
九一	九一	一三	二

昭和一 市區決 一〇五七	昭和二 市區決 二〇二七
一〇(170)	四四
四四	一〇

昭和三 市區決 二〇三三
四六
一〇

- 二三 祖母ノ養子ト戸内婚姻後戸主ト爲リタル女戸主カ其夫ヲ戸主ト爲サントスルニハ離婚後戸内入夫婚姻ヲ爲セハ可ナリ
- 二四 民法施行前兄弟姉妹以外ノ者ヲ相續人ト定メタル場合ニ於テ之ヲ養嗣子ト同様ニ認ムルコトヲ得サルモノニ付テハ民法八八條ノ適用アリ
- 二五 廢嫡セラレタル長男カ分家後廢家ヲ爲シ本家戸主ノ養子トナルモ其後出生シタル戸主ノ二男ニ先チ相續スルヲ得ス
- 二六 民法施行前被相續人ノ兄弟姉妹ヲ相續人ト定メタル場合ハ相續ニ關シテハ養嗣子ト同様ニ取扱フ可シ從テ其直系卑屬ハ代襲相續權ヲ有ス
- 二七 婚姻ニ因リ他家ニ入りタル者離婚復籍シタルトキハ其相續權ハ民法九七〇條ニ依リ定マル
- 二八 戸主ニ孫女アリ民法施行前該孫女ノ婿トシテ養孫ヲ迎へ民法施行後相續開始シタルトキハ養孫ニ相續權アリ
- 二九 戸主ノ亡長男甲ノ長女タル孫乙ト戸主ノ四男ニシテ亡長男ト戸内縁組シ代襲相續人ト爲レル丙ト孫乙ノ婿養子トアル場合丁ヲ相續人ト爲サントスルニハ丙離婚乙廢除ノ上丁ヲ養子トスルカ又乙ヲ相續セシメ丁ヲ指定ノ上隱居スレハ可ナリ
- 三〇 明治三十五年法律第三十七號附則施行前分家セル戸主ニ共ニ隨

大正 和七八	三五三 司回	三〇八 司回	二〇八 法曹決	二〇八 法曹決	新 三五七 決
五三五	民事 七九七 (1362)	民事 一〇四一八 (1168)	民事 一〇三〇〇 (1169)		四六一
四七	九三	七三	七三	四三	八六
二	一八	一三	一三	九四	一

從セル長男ト分家ニテ出生シタル二男トアルトキハ長男ヲ相續人トス

- 三一 兄乙弟甲アリ乙ノ二男丙甲ノ養子ト爲ル其後乙ハ丙ヲ廢除シ甲ヲ相續人ニ指定シタル上隱居シ甲戸主ト爲リタルトキハ甲ノ法定推定家督相續人ハ丙ナリトス
- 三二 民法施行前ニ在リテハ所謂連子若ハ携帶子ハ當然其母ノ夫タル戸主ニ對シ相續人タルノ地位ヲ取得スルモノニ非ス
- 三三 單身戸主死亡當日離婚復籍ノ記載アル直系卑屬ナリトモ事實死亡時後ノ離縁ナルニ於テハ選定ニ因ル外當然相續スルヲ得ス
- 三四 女戸主カ推定相續人タル私生子丙ヲ廢除シ戸内ノ亡夫ノ弟甲ヲ指定隱居シ甲戸主ト爲リタル後甲ハ丙ヲ認知スルモ丙ハ甲ノ推定相續人ト爲ラス
- 三五 民法施行前仲繼相續ニ因リ戸主ト爲リタルモノト雖民法施行後其家督相續順位ヲ定ムルハ民法ノ規定ニ依ルヘキモノトス
- 三六 長男廢除後戸主死亡ニ因リ相續戸主トナリタル妻死亡ノ場合長男ハ其推定相續人ト爲ラス
- 三七 相續開始後ノ離縁復籍者ハ推定家督相續人タルコトヲ得ス
- 三八 民法施行前妻ノ携帶子ニシテ額書養子ト記載シアルモノハ養子トシテノ相續權ヲ有スルモノトス

和 四〇九	法曹決	大正 三民判 (一四年) 一五三	和 九六	昭 和 二〇八 司回	昭 和 二〇八 法曹決	大 阪 決	大 阪 決	新 三五七 決
八一六	八三〇	八四	九四	九四	九四	九八	九八	五〇八
八九	九四	九四	九四	四五	四五	九八	九八	九九
三	一〇一	九	一	五	一四六	一四	一四	三

- 三九 養家ヨリ實家ニ親族入籍ヲ爲シ離縁ヲ爲シタル長女ノ私生子男アル家ノ二女ハ分家ヲ爲スコトヲ得
- 四〇 入夫戸主離婚ノ場合直系卑屬ナク且妻ニ於テ其家ヲ承繼スル意思及必要アルモノニ限り直ニ相續ヲ爲シ得ルコトノ取扱認容方建議
- 四一 民法施行前養嗣子ヲ爲シ次テ漏籍ノ長男カ編入セラルルモ養嗣子ニ相續權アリ
- 四二 民法施行前弟ヲ嗣子ト定メタルトキハ其後長男出生スルモ弟ニ相續權アリ

昭和 市 昭和一七	昭和 市 昭和一七	昭和 市 昭和一七	昭和 市 昭和一七	昭和 市 昭和一七	昭和 市 昭和一七
一九六	二二二 (418)	一三一	一四一	一〇一	一〇〇
一〇〇	一〇六	一〇一	一〇一	一〇一	一一
一一	一一	六	一一	一一	一一

一四八 指定ニ因ル相續

- 二二 意思能力ナキ未成年者カ選定又ハ指定ニ因ル他家相續ハ實家親權者ヨリ届出ツルコトヲ得
- 二三 指定家督相續人アル者裁判所ノ許可ヲ得テ隱居届出ノ場合相續承認ノ書面添附ヲ要ス
- 二四 未成年者カ後見監督人ノ同意ヲ得テ後見人ヲ相續人ニ指定シタル場合ノ届書式
- 二五 女戸主カ他家ノ家族ヲ指定隱居シ被指定者ヨリ家督相續届ヲ戸主ノ同意ナキ儘受理セラレタキ旨附記シ届出ツルモ受理スルヲ得ス
- 二六 他家ノ相續人ニ指定セラレタル妻ハ夫カ他家ニ入ルコトヲ得ヘキ場合ニ限り相續ヲ爲スコトヲ得
- 二七 民法施行前養妹ノ私生子男ヲ嗣子ニ定メタル者ハ爾後戸主ニ嫡出子女アルニ至ルモ嗣子ノ效力ヲ失ハサル一種ノ指定相續人トシテ取扱フ
- 二八 前項ノ嗣子ニ對シテハ指定ノ取消ヲ爲スコトヲ得
- 二九 相續人ノ指定届ト指定者ノ死亡届トヲ同時ニ爲ス場合ト雖之ヲ受理スルノ外ナシ
- 三〇 選定又ハ指定ノ家督相續人ト爲リタル意思能力アル未成年者ハ

一四八 戸籍法 家督相續 指定ニ因ル相續

大正 昭和一七	大正 昭和一七	大正 昭和一七	大正 昭和一七	大正 昭和一七	大正 昭和一七	大正 昭和一七	大正 昭和一七
六三八 (722)	一五二三 (862)	二八六	一一四	二四六 (1360)	二六七八 (1361)	五二	五二
五一	五三	四二	九一	九三	九三	四六	四六
六	三三	四	三〇	一七	一七	三	三

一四八 戶籍法 家督相續 指定ニ因ル相續

- 自ラ其相續届ヲ爲スヲ得ス
- 三〇 前項ノ場合法定代理人ノ同意ヲ得ルトモ自ラ其相續届ヲ爲スヲ得ス
- 三一 有夫ノ婦ヲ他家ノ相續人ニ指定シタル場合夫カ妻ノ相續承認ニ對シ許可ヲ與ヘタルトキト雖妻ハ直ニ他家ヲ相續スルコトヲ得ス
- 三二 戶主甲カ弟乙ヲ相續人ニ指定後乙死亡シ次ヲ甲ノ相續開始シタル場合乙ノ長男丙ヨリ相續届出アルモ受理スル限ニ在ラス
- 三三 妻ヲ相續人ニ指定シ隱居スルニハ許可ヲ要スルモ妻カ其相續ノ單純承認ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ要セス
- 三四 女戶主カ親權者ナキ未成年ノ妹ヲ相續人ニ指定シ許可ヲ得テ隱居シタル場合相續届ハ選定後見人代テ之ヲ爲ス
- 三五 意思能力ナキ他家ノ未成年家族ヲ家督相續人ニ指定ノ後指定者ノ死亡ニ因ル家督相續開始ノ場合ニ未成年者ノ父ヨリ爲シタル家督相續届ハ之ヲ受理スヘキモノトス
- 三六 戶主死亡シ次テ被指定者モ死亡シタル場合被指定者ノ長男ヨリ自己ノ相續届ト共ニ亡父ノ相續届ヲ爲スニ於テハ受理シ可ナリ
- 三七 甲戶主ノ相續人ニ指定セラレタル乙女カ婚姻ニ因リ他家ニ入りタル後甲戶主死亡シタル場合乙女ハ夫ノ同意ヲ得ルトモ他家相續ヲ爲ス途ナシ

三九五

大正	三〇・三六	四四八〇	五三	九
司	回	民事		
二〇・三六	回	四四八〇	五三	一〇
和	決	民事		
三〇・四九	回	七九七	九三	一八
和	決	(1362)		
三〇・二〇	決	六二四	六六	一
和	決			
二〇・四三	決	七一八	七八	一
法曹決				
大正	一四九	九五	一一九	一八
大阪決				
二〇〇				
一〇五				
二				

一四九 選定ニ因ル相續

- 六一 意思能力ナキ未成年者カ選定又ハ指定ニ因ル他家相續ハ實家親權者ヨリ届出ツルコトヲ得
- 六二 妻ヲ有スル者選定ニ因リ他市町村ニ在ル他家ヲ相續ノ場合婚姻其他ノ身分事項ハ届書ニ記載ヲ要ス
- 六三 他家家督相續人ニ選定セラレタル未成年者ノ家督相續届ハ其家ニ在ル親權者ヨリモ爲スコトヲ得
- 六四 明治三十二年分家戶主ニ隨ヒ共ニ入りタル妹ト其後入籍シタル妻ノ私生子トハ戶主死亡後相續人選定ノ場合民法九八五條ニ依リ同順位者ナリ
- 六五 親權者アル未成年者カ他家相續人ニ選定セラレタル場合親權者ヨリ届出ヲ爲シテ可ナル根據ハ省議ニ基ク
- 六六 母ト弟乙ヲ有スル戶主死亡後弟甲カ離縁復籍シタル後母カ弟甲ヲ相續人ニ選定スル途ナシ
- 六七 養家先ヨリ婚姻實家へ入籍ノ遺妻ト離縁復籍ノ弟トアル家ノ相續人被選定順位者ハ弟ナリ
- 六八 民法施行後母及妹ヲ從ヘタル分家戶主カ妻ヲ娶リ死亡後妹カ母ノ選定證明書ヲ添ヘ相續届出タルトキハ受理スヘキモノニアラス

一四九 戶籍法 家督相續 選定ニ因ル相續

三九五

大正	四七・七七	六三八	五一	六
司	回	民事		
四七・七七	回	九五二	五一	八
司	回	民事		
七三・三	回	一九八四	五八	一九
市	決	一八九	四四	八
市	決			
一〇・三二	決	一二	七七	一一
大阪決				
三〇				
大阪決				
六四				
大阪決				
七五				
八八				
八				

- 六九 嫡母ト實母トアル場合家督相續人ノ選定權者ハ實母ナリ
- 七〇 甲家ヨリ乙家ニ分家シタル者ノ家族カ更ニ分家ヲ爲シ其家族タル相續人ヲ甲家ノ親族會ニ於テ相續人ニ選定セララルモ廢除ノ手續ヲ爲ササレハ甲家ノ相續ヲ爲スコトヲ得ス
- 七一 兄弟間又ハ姉妹間ニ於テ兄ヲ措キ弟ヲ又ハ姉ヲ措キ妹ヲ選定スルモ自由ナリ
- 七二 他人ヲ相續人ニ選定シタル場合ノ届書式
- 七三 甲戸主死亡シ長男乙生死不明ノ場合ハ乙ノ失踪宣告後ニ非サレハ相續人ヲ選定スルコトヲ得ス此場合戸主ノ同意ヲ要スヘキ事件ハ親族會ノ同意ヲ得ヘキモノトス
- 七四 民法第九八五條ニ所謂被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族又ハ他人ニシテ家督相續人ニ選定セラルヘキ者ハ相續開始ノ當時生存シ又ハ懐胎セラレタル者ニ限り其後ニ懐胎セラレテ出生シタル者ヲ包含セサルモノト解スルヲ正當トス
- 七五 戸主死亡後遺妻カ相續人ニ選定セラレサル以前ニ死亡シ他ニ家族ナキトキハ直ニ他家ニ在ル亡妻ノ姪ヲ相續人ニ選定スルモ差支ナシ
- 七六 民法九八二條ノ場合ニ於テ被相續人ノ父又ハ母ハ遺言ヲ以テモ家督相續人ヲ選定スルコトヲ得

大阪決	八四	九〇	一五
大正 司 回	民事 二八八七 (1363)	九三	二〇
御 決	二一五	四〇	一五
和 決	五一八	四四	一七
二六・七 大 一 民 列 (オ) 四 五 七	六三	一五	
御 決	二二二	四九	一
二九・元 法 曹 決	一	二〇九	

- 七七 被相續人ノ母カ被選定順位ニ在ル遺妻ヲ選定セサルトキ遺妻ヨリ相續人選定ノ爲親族會ノ招集ヲ請求シ得ルヤ否ヤハ本會決議事項ニアラス
- 七八 戸主ノ妻ハ相續開始後離縁復籍シタル戸主ノ長女アルモ先ツ相續人トシテ被選定順位者ナリ
- 七九 他家ノ戸主、法定推定家督相續人、有夫ノ婦ト雖家督相續人トシテ之ヲ指定又ハ選定スルコトヲ妨クルモノニ非ス
- 八〇 選定又ハ指定ノ家督相續人ト爲リタル意思能力アル未成年者ハ自ラ其相續届ヲ爲スヲ得ス
- 八一 前項ノ場合法定代理人ノ同意ヲ得ルトモ自ラ其相續届ヲ爲スヲ得ス
- 八二 親族會ニ於テ任意被選定順序ヲ變更シテ選定セラレタル者ヨリ相續届アルモ受理スルヲ得ス
- 八三 被相續人ニ對シ親權ヲ行使シタリシ父又ハ母モ亦被相續人ノ爲家督相續人ヲ選定スルコトヲ得
- 八四 民九八五條二項ニ依ル選定家督相續人ハ相續開始當時胎兒若ハ生存者タルコトヲ要セス
- 八五 親族會カ指定ノ家督相續人アルニ拘ラス他ノ者ヲ家督相續人ニ選定シタルトキハ其決議ハ當然無効ナリトス

市 區 決	二七 (232)	五七	一〇
和 決	五七三	五二	四
法 曹 決	民事 四四八〇 (833)	一一	二一
司 回	民事 四四八〇 (834)	五三	九
司 回	五三	五三	一〇
田 決	一七三	五三	三
法 曹 決	一七九	三	一〇
田 決	五九	二	
法 曹 決	五二	一〇四	

- 八六 入夫戸主ノ妻ノ父又ハ母ハ入夫ト養親子關係ナキ限リ家督相續人選定ノ權利ヲ有セス
- 八七 家督相續人ニ選定セラルヘキモノカ兄タル亡戸主ノ分家ニ從ヒ共ニ入籍シタル弟ト其後母ノ廢家入籍ニ從ヒ共ニ入籍シタル妹トアルトキハ弟ヲ選定順位者トス
- 八八 相續開始後他家ニ於テ出生セシ者ヲ相續人ニ選定シ相續届出アルモ受理セス〔昭和二・九・二九民事〕大正十二年八月相續開始シ大正十四年十月出生シタル者ヲ相續人ニ選定届出ツルモ受理スヘキモノニ非ス
- 八九 相續開始後離縁復籍シタル二男ハ選定ヲ受クルニアラサレハ當然相續權ナシ
- 九〇 繼母ハ亡戸主ノ弟ナル自己ヨリ年長ノ繼子ヲ相續人ニ選定スルコトヲ得
- 九一 選定家督相續届出期間ハ相續承認ノ日ヨリ起算ス
- 九二 家督相續人ノ選定權ヲ有スル父カ所在不明ナル場合ハ嫡母ニ於テ相續人ヲ選定スルコトヲ得
- 九三 法定推定家督相續人タルコトヲ廢除セラレタル者ヲ家督相續人ニ選定セントスルニハ民法九八五條ニ依ルヘキモノトス
- 九四 民法九八五條ノ場合凡テノ親族カ單ニ相續ヲ希望セスト云フノ

大正 田三 決	二〇六	六五	六
三・六・二四一六 市區決	二九(290)	八一	一〇
和 三・二・三〇 決	六六六	七三	三
新 一四・一・九一三 決	三九四	七五	一
新 一四・一・九一三 決	三九六	七五	一
新 一四・一・九一三 決	三九七	七五	一
御 一四・三・七 決	二八九	七六	一

- 九五 ミニテハ裁判所ノ許可ナクシテ他人ヲ選定スルコトヲ得ス
- 九五 隱居他家へ婚姻シタルモ離婚シ實家復籍後養子タル現戸主ノ縁組無効判決ニ因リ除籍シタルトキ隱居者ニ他ニ家督相續人タル者ナカリシトキハ親族會ニ於テ相續人ヲ選定スヘキモノトス
- 九六 亡戸主ニ相續開始後其母ノ私生子ニシテ離縁復籍シタル甲男ト其後出生シタル私生子乙女トアル場合母カ順序變更ノ許可ヲ得スシテ乙女ヲ選定シ相續届出タルトキハ受理ス
- 九七 民法九八二條一號但書ノ家女ニハ戸主甲(養子)ノ妹乙(戸主ノ養親ノ長女)カ他家ニ縁組後其養家ヨリ實家戸主ト婚姻ヲ爲シタル場合又ハ戸主甲ノ長女乙他家ニ婚姻後夫丙ト共ニ實家戸主ト養子縁組ヲ爲シタル後甲死亡續テ戸主ト爲リタル丙モ死亡シタル場合何レモ包含ス
- 九八 甲戸主ト乙妻(家女ニアラス)ノ一家ニテ甲死亡後甲ノ弟丙離縁復籍シタル場合ニ於ケル被選定順位者ハ弟丙ナル旨ノ戶籍學會ノ回答ハ若シ弟丙カ妹丙ナル場合同趣旨ニ取扱フヘキモノニアラス
- 九九 相續開始後ニ離縁復籍シタル亡戸主ノ直系卑屬ハ親族會ノ選定ヲ受ケ相續人ト爲ルコトヲ得
- 一〇〇 民法九八三條又ハ九八五條ニ違背シ裁判所ノ許可ヲ得スシテ選定家督相續人ノ順序ヲ變更シ又ハ他人ヲ家督相續人ニ選定シタル

法曹決	九三	九九
一四・九・八 司回	民事 八〇五一 (1217)	八四
一四・一〇・二六 市區決	九(318)	八七
一四・一〇・二六 市區決	二〇(329)	八七
一四・一〇・二六 市區決	四七(352)	八七
一四・一〇・二六 和決	七七四	八四

- 一四九 戸籍法 家督相續 選定ニ因ル相續
可ヲ爲ササルトキハ相續スルニ由ナシ
- 一一八 被相續人ノ父母カ相續人ノ選定ヲ等閑ニ附スルトキハ親族會ニ於テ選定スルコトヲ得ヘシ
- 一一九 戸主ノ姉ヲ措キ姪ヲ相續人ニ選定スルニハ先ツ順序變更ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

昭和 二・七・九 妙三	二二四	一〇三	一
二・七・九 妙三	二二七	一〇三	四
二・七・五 新六	五三九	一〇三	一〇

一五〇 家督相續ノ回復

- 九 違法ノ家督相續ナリトモ其相續届出人ニ於テ戸籍訂正申請セハ相續回復ノ手續ニ依ルヲ要セス
- 一〇 相續回復届出アリタルニ因リ戸主ノ名義ヲ有シタル選定相續人ヲ實家ニ復籍セシムルニハ戸法四七條二項ニ依ル回復届書ノ記載ニ依ル
- 一一 長男ノ失踪宣告アリニ男家督相續後宣告取消サレタルトキハ二男ノ同意アルニ非サレハ取消確定判決ニテ訂正申請スルヲ得スニ男不同意ナルトキハ相續回復ノ裁判ヲ要ス
- 一二 長女ト胎兒トヲ有スル戸主死亡ニ因リテ相續開始シ長女家督相續届出後胎兒カ男子トシテ生レタルトキハ長女ニシテ異議ナクンハ戸籍訂正ノ方法ニ依リ戸主ノ記載ヲ變更スヘク異議アレハ家督相續回復ノ訴ヲ提起セサルヘカラス
- 一三 他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ出生届出相續開始ニ因リ其子戸主ト爲リ其家族タル前戸主ノ長女ハ他家ニ婚姻セル後戸籍訂正ニ因リ現戸籍ヲ抹消シ戸主タリシ者ヲ除籍シ前戸主戸籍ヲ回復シタルトキハ相續人ハ他家ニ婚姻セル長女ナレハ同人ノ相續届ニ依リ新戸籍編製シ婚姻事項ハ民法七五四條二項ノ趣旨ニ更正シ次ニ其相續人ヲ選定

一五〇 戸籍法 家督相續 家督相續ノ回復

大正 五・三・四 司	二二六 (786)	五二	五
五・三・三 司	一三九〇 (813)	五二	一八
六・七・四 司	一一六一 (952)	五五	二六
二・五・三〇 法曹決		一〇三	五四

一五一 戸籍ノ記載

- 二三 記載例七十五ノ冒頭年月日ハ選定相續ノ場合ニ於テモ前戸主死亡ノ日ナリ
- 二四 記載例七十六中甲野義太郎ハ相續人ナリ
- 二五 家督相續承認ノ年月日ハ届書又ハ戸籍ニ記載スルヲ要セス
- 二六 許可ヲ得テ職權ニ因ル戸籍編製ノ場合記載ヲ要スル事項ニテ基本戸籍ニ不明ノモノハ調査ノ上共ニ許可請求ヲ爲スヘシ
- 二七 職權ニテ戸籍ヲ編製セントスル場合他家ヨリ入りタル者ニ關スル父母ノ氏名續柄等不明ナルトキ其實他家他管ナルモ煩雜ニ涉ラサル程度ニ於テ抄本ノ請求其他照會調査ノ上記載許可申請スヘシ
- 二八 他人ヲ相續人ニ選定シタル戸籍記載例
(新戸籍中戸主ノ事項欄(其他略))
 大正元年四月八日前戸主タミ死亡ニ因リ選定家督相續人日高郡由良村大字阿戸五拾番地戸主甲野乙松弟鐵藏相續届出大正拾年拾壹月貳日受附⑩
- 二九 戸主ノ遺妻ニ付不選定ノ許可ヲ得母相續シタル場合ノ記載例
 年月日前戸主某死亡年月日附何裁判所ニ於テ前戸主妻某不選定許可ノ裁判アリタルニ付家督相續届出月日受附
- 三〇 他家家族タル指定相續人カ相續開始後相續拋棄シタルトキ被相

大正 二〇〇三 和 三 決	大正 二〇〇三 御 二 決	六 六 三 司 回	六 六 三 司 回	四 七 二 司 回	四 七 二 司 回	大正 四 六 六 司 回	大正 四 六 六 司 回
五六二	二一五	民 一 一〇〇 (936)	民 一 一〇〇 (935)	民 六 九 一 (712)	民 四 〇 四 (710)	民 四 六 七 (709)	民 四 六 七 (709)
五〇	四〇	五五	五五	五〇	五〇	五〇	五〇
七	一五	二一	二〇	三六	三五	三五	三五

一五一 戸籍法 家督相續 戸籍ノ記載

續人戸籍中指定ノ記載ノ抹消ノ要ナシ

三一 戸主死亡シ母及弟ノ所在不明ナルトキハ相續ニ關シ戸法六四條三項ノ適用ナシ

三二 入夫離婚ニ因リ其妻カ入夫ノ母ノ選定ニ因ル相續事項記載例
年月日前戸主某入夫離婚ニ因リ選定家督相續人相續届出……

三三 甲戸主死亡後乙相續人相續届出前死亡シ他ニ家族ナク且無財産ノ爲絶家ト爲ス場合便宜ノ取扱トシテ甲戸籍ノ乙ノ事項欄ニ絶家處分ニ因ル抹消ノ記載ヲ爲スモ妨ケナシト一六六一九ノ決議ハ甲戸主死亡乙長男相續届出前死亡セシヲ乙ノ子丙カ相續届出ノ場合ニモ當行シ差支ナシ

三四 家督相續届不受理處分抗告ノ結果受理ヲ命セラレタルトキノ前戸主及新戸籍ノ事項欄記載例

大正何年何月何日前戸主某死亡ニ因リ家督相續同月何日届出右不受理ニ對スル抗告ニ付大正何年何月何日附何區裁判所ノ裁判ニ基キ同月何日受附

大正何年何月何日何某ノ家督相續届出右不受理ニ對スル抗告ニ付大正何年何月何日附何區裁判所ノ裁判ニ基キ同月何日受附ヲ爲シタルニ因リ本戸籍ヲ抹消ス

三五 失踪宣告ニ因リ死亡ト看做サレタル被相續人ノ跡ヲ他家ヨリ選定相續スル場合其實家除籍記載例

選定ニ因リ郡村番地何某失踪宣告死亡ト看做サレタル跡家督相續届出年月日受附除籍

大正 二〇・三 市區決	二二 (230)	五七	九
昭和 一四・五 市區決	一四四	七八	九
昭和 一四・六 市區決	七三八	七九	二
昭和 一四・六 市區決	四三 (348)	八七	一六
昭和 一四・六 市區決	九〇七九 (1233)	八五	二〇
昭和 一四・六 市區決	七六〇	八四	一

三六 妻ヲ有スル家族カ選定ニ因リ他家相續ノ場合妻ノ除籍記載例

年月日夫某ト共ニ除籍

三七 相續人タル長男カ相續届出前死亡シタル爲孫ヨリ父ノ相續届ヲ爲シタル場合ノ戸籍記載例

何年何月何日前戸主某死亡ニ因リ家督相續ヲ爲シタルモ其届出ヲ爲サス死亡シタルニ付何某家督相續届出何年何月何日受附

昭和 一五・〇 和決	八五二	九六	三
昭和 二〇・三 聯合決	一一〇	一〇一	三

一五二 推定家督相續人ノ廢除

- 二一 相續人廢除ノ記載ニハ原因ヲ單ニ民法九七五條一項何號ニ因リ云々トスルモ差支ナシ【一五二三四】
- 二二 【前戶主タル父ノ廢除シタル長男ハ現戶主タル母ノ相續人タリ】
【一五三三三】
- 二三 日本國籍喪失セントスルモノ法定推定相續人ナルモ廢除ノ手續ヲ要セス
- 二四 廢除セラレタル家督相續人ハ廢除ノ取消ナキトキト雖指定又ハ選定ニ因リ家督相續人タルコトヲ得ルモノトス
- 二五 推定家督相續人廢除ノ訴ヲ提起シタル戶主カ廢除ノ判決確定後其届出以前ニ死亡シタルトキハ届出ヲ爲スヘキ地ノ市町村長ハ職權ヲ以テ判決アリタル旨ヲ戶籍ニ記載スヘキモノトス
- 二六 民第九七五條二項ノ親族會ノ同意ハ訴訟提起ノ要件ニアラスシテ廢除權發生ノ要件ニ外ナラス從テ此要件ハ判決ニ接觸セル口頭辯論ノ終迄ニ具備スレハ足ルモノトス
- 二七 【相續人廢除ノ效力ハ單ニ特定セル被相續人ニ對スル相續權剝奪ヲ目的トス故ニ將來其家ノ戶主ニ代替アラハ其戶主タル地位ニ就カシムルヲ相當トス】
【一五三三三】

一五二 戶籍法 推定家督相續人ノ廢除

大正 六・七・三 司 回	民事 二・三・四・六 (1330)	民 八五三 (944)	五五	二二
二〇・五・三 司 回	一九〇	九一	六一	一六
三・二・五 田 決	一三〇	六二	五二	六
三・三・五 法曹決	三三	五二	一一〇	一〇
三・三・二 法曹決	三三	三三	五〇	五〇
一四・五・九 大三民判 (オ)二五〇	八三	八三	二六	二六
一四・〇・六・六 市區決	三七 (339)	八七	一三	一三

四一一

- 二八 民法施行前ニ戸主甲カ自己ノ孫丙(長男乙ノ長男)ヲ廢除シタル後甲死亡シ乙戸主ト爲リタル場合ニ右ノ廢除カ丙ヲ他家ニ入籍セシムル必要ニ出ラタル場合ハ丙ハ乙ノ法定ノ推定家督相續人ニ對シ廢除取消ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ヘク廢除カ右ノ理由ニ出テサル場合ニハ丙ハ相續權確認ノ判決ヲ求メ右ノ判決ニ基キ戶籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得
- 二九 父ニシテ其子ヲ待ツニ其道ヲ以テセス因テ子ノ非行ヲ誘發スルニ至リタル場合廢除權ハ常ニ必スシモ生セス
- 三〇 家督相續人廢除ノ訴ニ於テ敗訴ノ判決ヲ受ケタル家督相續人カ控訴期間經過前速ニ該判決ノ確定ヲ欲スル場合ニ於テハ裁判所ニ控訴權拋棄ノ書面ヲ提出スヘキモノトス
- 三一 相續人廢除ニ關スル戶籍記載例中廢除事由削除方戶法細則附錄樣式改正建議(一五二三五)
- 三二 家督相續人廢除モ異議ナキ場合ハ廢家許可ノ如ク區裁判所ニテ許可ノ取扱ヲ爲スコトニ民法改正建議
- 三三 女戸主カ推定相續人タル前夫ノ子丙ヲ廢除シタル後入夫ヲ爲シ入夫戸主ト爲ルモ丙ハ其推定相續人ト爲ラス
- 三四 女戸主カ推定相續人タル私生子丙ヲ廢除シ戸内ノ亡夫ノ弟ヲ指定隱居シ甲戸主ト爲リタル後甲ハ丙ヲ認知スルモ丙ハ甲ノ推定相續人ト

大正 法曹決 二五・七 七	雜誌 九四	九七
大正 法曹決 二五・六 二	雜誌 九四	二〇
大正 法曹決 二五・七 九	雜誌 九四	七六
大正 法曹決 二五・七 九	雜誌 九四	一九
大正 法曹決 二五・七 九	雜誌 九四	二四

爲ラス(先例變更)

- 三四 相續人廢除ノ效力ハ其家ノ戸主代替シ又ハ本人ノ身分ニ變更ヲ生シタリトモ依然相續權ヲ剝奪セラレタルモノト解ス
- 三五 相續人廢除ニ關スル戶籍記載中廢除ノ事由ヲ省略スルモ差支ナシ

大正 司 二五・〇 八	民事 四六六五 (1378)	九五	五
昭和 市區決 二五・二 七	民事 一七 (414)	一〇六	一一
昭和 市區決 二五・二 七	民事 三〇五	一〇四	五

一五三 家督相續人ノ指定

- 一九 相續人ヲ指定シタル戸主廢家セントスルモ指定取消ノ要ナシ
- 二〇 戸主カ妻ヲ相續人ニ指定後養子ヲ貫ヒタルトキハ指定ハ當然其效力ヲ失ヒ後ニ養子カ離縁トナルモ該指定ノ效力ハ回復セス
- 二一 妻ヲ相續人ニ指定シ離婚スルモ指定失効セス但入夫離婚ナルトキハ失効ス
- 二二 被指定者二人アル場合ハ前ノ被指定者カ相續權ヲ有シ後ノ指定事項ハ訂正手續ニ依リ抹消ス
- 二三 同籍内ノ妹ヲ相續人ニ指定後戸主ノ子カ親族入籍ヲ爲シタル場合ハ指定失効トナル
- 二四 條件附ノ相續人指定届ハ受理スヘキモノニ非ス
- 二五 相續人ニ指定セラレタル者其取消ナキモ分家妨ケナシ
- 二六 甲戸主ヨリ相續人ニ指定セラレタル乙女カ婚姻ニ因リ丙家ニ入ルモ指定失効トナラス
- 二七 相續人ニ指定セラレタル者ノ事項欄ニ指定事項記載方建議ノ要ナシ

昭和 二〇四一 市區決	大正 三〇三〇 和 三〇三〇 決	大正 三〇三〇 和 三〇三〇 決	大正 三〇三〇 和 三〇三〇 決	大正 三〇三〇 和 三〇三〇 決	大正 三〇三〇 和 三〇三〇 決	大正 三〇三〇 和 三〇三〇 決	大正 三〇三〇 和 三〇三〇 決	大正 三〇三〇 和 三〇三〇 決
四二 (435)	一九九	八四〇	三六 (388)	一五八	一四二	一七三	六五一	五五九
一〇六	一〇五	九六	九九	九五	九五	九三	七二	五〇
二三	二二	一	二六	二二	一六	一	一	七

一五四 届出一般

- 九 意思能力ヲ有スル未成年者カ廢家又ハ家督相續人ノ指定ヲ爲ス
 場合法定代理人ノ同意ヲ要スル省議變更ナシ
- 一〇 推定家督相續人ナキ戸主遺言ニ因リ胎兒ヲ相續人ニ指定ノ上遺
 言執行者ヨリ該指定届出アリタルトキハ受理ス
- 一一 未成年者カ家督相續人ヲ指定スルニハ法定代理人ノ同意ヲ要ス
- 一二 意思能力ヲ有スル未成年者タル戸主カ隠居ヲ爲ス場合家督相續
 人ヲ指定スルニハ法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 一三 廢除シタル家督相續人ト雖之ヲ相續人トシテ指定スルヲ妨ケス
- 一四 民法施行前ニ家族タル甥又ハ姪ノ事項欄ニ年月日「願濟相續人
 トス」「相續人ト定ム」「願濟嗣子ト定ム」「嗣子ト定ム」「願濟繼承
 者ト定ム」「繼承者ト定ム」等ノ如キ記載アル者ニ對シ戸主ヨリ相續
 人指定取消届出ハ受理ス
- 一五 意思能力ヲ有スル未成年者カ轉籍又ハ相續人ノ指定ヲ爲スニハ
 法定代理人ノ同意ヲ要セス戸籍ニ關スル届出ノ無効カ親族法又ハ相
 續法上ノ權利ニ影響ヲ及ホス場合ニ於テハ訴ノ方法ニ依リ之ヲ主張
 スヘク戸法一六八條ノ抗告ニ依ルヘキモノニ非ス
- 一六 意思能力アル未成年者カ相續人ノ指定ヲ爲スニハ法定代理人ノ

一五四 戸籍法 家督相續人ノ指定 届出一般

大正 六・六 司 回	民 二〇五六 (875)	五 四	一 三
三・六・三 妙 決	民 一一六	五 八	二
三・二・六 司 回	民 五三五〇 (1339)	九 三	一 六
三・五・八 法 曹 決		雜 誌 八二	五 六
二・四・二 法 曹 決		雜 誌 四三	八 八
二・四・〇・六 市 區 決	一 八 (327)	八 七	八
二・五・六・七 大 一 民 判 (オ) 一 四 二		九 八	二

一五七 親族入籍

- 三〇 離婚セサル者カ單獨他家入籍届ヲ受理セラルルモ無効ナルヲ以テ戸籍訂正ヲ爲サシム
- 三一 民法七三七條七三八條何レニ依ルモ入籍シ得ルモノト雖戸主ノ親族ハ七三七條ニ依ルヲ簡便トス
- 三二 民第七三七條ノ規定ニ依ル入籍ハ本人ニ意思能力アルコトヲ必要トス故ニ法定代理人ハ意思能力ナキ未成年者ニ代リテ入籍ノ届出ヲ爲スコトヲ得ス
- 三三 未成年戸主ノ親權ヲ行フ父カ實家ニ入籍セントスル場合其家ニ父ト配偶關係ナキ戸主ノ母アルモ戸主ニ代リ入籍ニ同意スヘキモノハ特別代理人ナリ
- 三四 養子カ其實家ニ親族入籍ヲ爲ス場合ニ父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス
- 三五 戸主タル庶子ノ家ニ其生母カ親族入籍セントスル場合庶子ノ戸籍ニテ母ノ氏名不明ナルモ届書ニテ親族關係ヲ認メ得ルトキハ之ヲ受理ス
- 三六 遺妻カ二男ヲ携帶シテ實家ニ入籍セントスルニハ一通ノ届書ニ連記シ親權ヲ行フ母トシテ同意ヲ省略スルモ差支ナシ

一五七 戸籍法 入籍 親族入籍

大正 四〇・二九 司	五〇・三三 司	九〇・三四 司	一〇〇・三〇 市區決	一〇〇・九七 司	二〇・三三 田決	二〇・三三 新決
民 七五二 (625)	民 六二九 (824)	民事 六七七 (1222)	民事 二五 (183)	民事 三一七八 (1223)	一三九	二八七
四九	五二	八四	四四	八四	四〇	四二
二七	二一	一九	七	一九	二	五

四二二

- 五五 婿養子夫妻分家後離縁ノミヲ爲シタル後分家ヲ廢シ本家ニ親族入籍スルコトヲ得
- 五六 成年ノ女ハ姉ノ婚家戸主ノ家ニ親族入籍スルコトヲ得
- 五七 戸主未定中遺妻ハ他ニ家族ナシト雖戸主ニ代ルヘキ親族會ノ同意ヲ得テ實家又ハ他家ニ入籍スルコトヲ得ヘシ
- 五八 戸主未定中遺妻カ重ナル親族又ハ縁故者ノ連署ヲ得テ實家入籍届出ツルモ受理スルヲ得ス
- 五九 相續人タル婿養子カ家女死亡後其子ト共ニ實家ニ復籍スルニハ先ツ子ヲ實家ニ入籍セシメタル後離縁セハ可ナリ

大正 昭和 新	昭和 新	御 新	妙 新	新	大正 昭和 新
八四四	五〇四	三二五	二二九	五三七	八四四
九六	九九	九九	一〇三	一〇三	九六
二	三	二	四	一〇	二

一五八 引取入籍

- 二五 數人ノ入籍届ハ入籍スヘキ家ノ本籍同シキトキハ一通ノ届書ニ依リテ差支ナシ
- 二六 實家ニ於テ父カ後妻ヲ迎ヘ死亡シタルトキハ婚家ニ在ル長女ハ右實父ノ後妻ヲ引取入籍セシムルヲ得ス
- 二七 婚姻ニ因リ入籍シタル者カ其配偶者ノ親族タル自己ノ親族ヲ婚家ニ入籍セシムル場合ト雖配偶者ノ同意ヲ要ス
- 二八 婚姻入籍後分家シタル者ハ本家ニ在ル子女ヲ分家ニ引取入籍セシムルコトヲ得
- 二九 庶子出生届ニ依リ父家ニ入リタル子ヲ更ニ母家ニ入レムトスル場合民第七三八條ニ依ルコトヲ得ス
- 三〇 遺妻カ二男ヲ携帶シテ實家ニ入籍セントスルニハ一通ノ届書ニ連記シ親權ヲ行フ母トシテ同意ヲ省略スルモ差支ナシ
- 三一 選定ニ因リ他家相續ヲ爲シタル者ハ自己ノ直系卑屬ヲ民法七三八條ニ依リ入籍セシムルコトヲ得ス
- 三二 民法七三八條ニ依リ入籍スヘキ者カ意思能力ヲ有スルトキ又ハ成年者ナルトキハ其者ノ同意ヲ要ス
- 三三 未成年戸主ノ親權ヲ行フ母他家婚姻シ子ヲ擧ケタル後夫ト共ニ

大正 昭和 新	昭和 新	御 新	妙 新	新	大正 昭和 新
九五二 (733)	一五五 (175)	一九九 (179)	二〇〇 (180)	二八七	一〇〇
五一	四四	四四	四四	四二	四五
八	五	六	六	二〇	五三

- 子ノ家ニ入籍後再婚家ニテ擧ケタル子ヲ引取入籍スルコトヲ得
- 三四 廢家届出ノミヲ爲シタル戸主ニ對シ他家ノ母ヨリ引取入籍届アリタルトキハ廢家族ハ當然其家ニ入ル
- 三五 養家ニテ妻子ヲ設ケタル者離縁ニ因リ妻ト共ニ實家ニ復籍後養家ニ在ル子ハ母ノミヨリ引取入籍スルヲ得
- 三六 母ノ婚家ニ引取ラントスル者成年ナルトキハ其意ニ反シテ入籍セシムルヲ得サルモ必スシモ其同意ヲ要セス
- 三七 未成年戸主ノ親權ヲ行フ母カ實家入籍ト同時ニ他ノ未成年ノ子ヲ引取入籍ナサントスルニハ婚家戸主ノ同意ハ二個ノ届出ニ付同一形式ニテ表示ス
- 三八 父及母カ婚家又ハ養家ニ在ル意思能力ナキ未成年ノ子ヲ引取入籍スルニハ其子ノ後見人ノ同意ヲ要ス
- 三九 乙家ヨリ甲家ニ養子縁組シタル意思能力アル未成年ノ乙女ヲ丁家ニ婚嫁シタル叔母カ引取入籍ヲ爲スニハ乙女カ甲家ノ推定相續人ニアラサルコト及兩家戸主配偶者並ニ乙女ノ兩親ノ同意ヲ要ス
- 四〇 母ノ實家ニ在ル婚姻後二百日內ノ嫡出子ヲ父ノ家ニ引取入籍ヲ爲スニハ双方戸主、子ノ法定代理人及夫ノ同意ヲ得テ母ヨリ其届出ヲ爲ス
- 四一 本籍地ヲ異ニセル意思無能力ノ十五年未滿ノ庶子ヲ母ノ家ニ引

大正 田 田 田 和 和 和 新	九九元 九九元 九九元 三三三 三三三 三三三 八〇一三	決 決 決 決 決 決 決	一五九 一七〇 一七八 五九三 五八八 五九三 四二六	五〇 五三 五六 五六 七二 七四 八二	二 二 四 五 二 一 一
---------------------------------------	--	---------------------------------	---	--	---------------------------------

取入籍スルコトヲ得ス

- 四二 他家選定相續ヲ爲シタル者ヨリ生家ニアル長男ヲ引取入籍届出タルトキハ受理セス
- 四三 家女タル妻タリトモ入夫戸主ノ親族ニ非サル自己ノ親族ヲ引取入籍セシムルコトヲ得
- 四四 亡家女ノ婿養子離縁後男養子ヲ爲シタルトキハ戸主ノ孫タル婿養子ノ長女ハ父ノ家ニ入ルコトヲ得
- 四五 分家戸主ノ妻離婚實家ニ復籍後分家戸主廢家シ本家ニ入籍セル場合右妻ハ民法七三八條ノ精神ニ依リ本家ニ在ル自己ノ子ヲ現實家ニ引取ルコトヲ得
- 四六 選定ニ因リ他家相續ヲ爲シタル者ハ自己ノ直系卑屬ヲ引取入籍セシムルニ由ナシ
- 四七 親權者ナキ未成年者カ父又ハ母ノ家ニ引取入籍スル場合後見人ノ同意ナキモ差支ナキコトニ取扱方建議
- 四八 分家戸主カ本家ニ在ル意思能力ナキ子ヲ分家ノ家族ト爲スニ付民法七三八條ヲ準用スルヲ得ス
- 四九 分家戸主ノ妻離婚實家ニ復籍後戸主分家ヲ廢シ共ニ本家ニ入籍シタル男子ヲ其實家ニ引取ルコトヲ得

昭 新 市 市 和	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	法曹決 決 決 決 決	七六六 一〇五 三二七 八三四 九四 九四 九四	八四 九〇 九四 九四 九四 九四	四 二 五 二 二 二 二
-----------------------	---------------------------------	-------------------------	--	----------------------------------	---------------------------------

一五九 戸籍ノ記載

- 一〇 舊法當時入籍シタル夫妻更ニ他家入籍ノ場合其婚姻事項ハ入籍届ニ記載セシメ入籍家戸籍ニ記載ス
- 一一 母子一通ノ届書ニテ入籍スルトキハ除籍事項中届出人ノ氏ハ去ルヘキ家ノ氏ヲ入家戸籍母欄ハ其家ノ氏ヲ記載ス
- 一二 遺妻ノ實家入籍ト同時ニ其子ノ引取入籍ヲ一通ノ届書ニテ届出タル場合ト雖引取入籍ノ記載ハ普通ノ例ニ依ルヘシ

大正 二〇〇三 和 三 決	三八・六一 新 決	三〇〇三 甲 決
五五三	三六三	二三五
五〇	六〇	七二
五	一一	一七

一六〇 離 籍

- 一八 被離籍者一家創立届前子ヲ出生シ其出生届アリタルトキハ本籍不明ナラサル者ノ届出ニ該當ス
- 被離籍者一家創立手續ヲ爲ササルトキハ市町村長許可ヲ得テ其戸籍ヲ編製ス
- 一九 被離籍者一家創立前出生子ノ届出アリタルトキハ本籍ナキ者ノ届出ニ該當ス被離籍者一家創立ノ手續ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ許可ヲ得テ其戸籍ヲ編製ス被離籍者若ハ其妻一家創立前死亡シタルトキハ前同様職權ニテ戸籍編製後記載ス
- 二〇 家督相續人廢除ノ裁判確定シ戸主カ其身分ヲ失ヒタル場合ニ於テ戸主ノ名義ヲ有セシ當時其者ノ爲シタル婚姻ニ付戸主ノ同意ヲ得サリシモノトシテ之ヲ離籍スルコトヲ得ス
- 二一 離籍家族一家創立前相續開始シ相續届出ントスルトキハ戸法六四條ニ依リ一家創立者ヲ除籍スヘキモノトス
- 二二 被離籍者一家創立届前死亡シタルトキ本籍不明者トシテ死亡届出ツトノ前決議ハ維持ス
- 二三 戸主ノ弟カ戸主ノ長男(成年者)ト戸主カ意思表示不能當時戸内縁組シ離籍セラレタルトキハ長男タル養子ハ養親ノ一家創立家ニ入

一六〇 戸籍法 離籍

大正 七・五・三 司 回	七・五・三 司 回	九・四・七 司 回	二・〇・三〇 和 決	二・〇・三〇 市 決
民 一〇一 (990)	民 一四八 (1007)	民事 八八〇 (1213)	五五七	一八 (226)
五八	五八	八三	五〇	五七
八	一四	二三	六	八

四三一

- 二四 戸主ノ同意ヲ得シテ婚姻ヲ爲シタル場合當事者ノ一方死亡後ニ於テ生存配偶者ヲ離婚スルコトヲ得
- 二五 離婚届ニ居所指定ノ催告ヲ爲シタル形跡明ナラサルモ受理ヲ拒ムヲ得ス
- 二六 被離婚者一家創立届ヲ爲ササルトキハ町村長許可ヲ得テ戸籍ヲ編製ス
- 二七 民法七五〇條二項ノ一年内トハ其婚姻又ハ縁組ヲ爲シタル日ヨリ一年ト云フ義ナリ
- 二八 日本人男ト外國人女トカ數年前作ラシメタル婚姻證書ヲ直接本籍地村長ニ提出シ入籍ノ記載ヲ爲シタル後戸主ヨリ不同意ヲ原因トシテ戸籍記載ノトキヨリ一年内ニ離婚ノ届出アルモ受理セス
- 二九 父カ滿三十年以上ノ長男ノ結婚舉式ヲ快諾シ立會マテシタルニ拘ハラズ婚姻届出ニ際シ離婚ヲ爲スノ目的ヲ以テ戸主トシテノ同意ヲ拒ムトスルモ豫メ其離婚ヲ防クノ方法ナシ但シ離婚取消ヲ訴求シ得ルハ格別ナリ
- 三〇 女戸主意思能力ナキ未成年ノ家族ヲ連レ廢家婚姻セリ夫離婚セラレタル場合一家創立ニ從フモ未成年者ハ共ニ從フヲ得ス
- 三一 法定推定家督相續人ハ居所指定ノ催告ニ應セサルモ離婚スルコトヲ得ス

大正 市 區 決 二〇・三三	民事 四一八六 (1210)	五七	一六
和 決 三二・二六	六八四	七三	一一
大阪決 一一八	九一	三二	九
市 區 決 三六・二四	二七 (288)	八一	九
法曹決 三五・七	六二	六二	一一
聯合決 三四・三	八二	五六	一三
聯合決 三四・三	八一	五六	一一
聯合決 三四・三	八二	五六	一一
聯合決 三四・三	八二	五六	一一

- トヲ得ス
- 三二 戸主ノ同意ナキ婚姻後二百日内ノ出生届受理後婚姻不同意ノ理由ニテ父母ヲ離婚スルトモ其子ハ訂正手續ニ依リ一家創立セシムヘキモノナリ
- 三三 被離婚者ニ催告ヲ爲スモ一家創立届出サルトキハ許可ヲ得テ一家創立ノ職權記載ヲ爲スヘシ
- 三四 前問職權記載ヲ爲スニ付一家創立ノ場所ハ當該町村長適宜定メテ可ナリ
- 三五 養母ノ廢家婚姻ニ從ヒ入籍シタル養女カ養母ノ夫タル繼父及養母カ離婚ニ因リ其家ヲ去ル場合共ニ其家ヲ去ルコトニ省議變更ヲ求ムルコト

昭和 市 區 決 二四・二一	三二 (427)	一〇六	一八
大阪決 一七四	九八	一一	一一
大阪決 一七三	九八	一一	一一
和 決 二五・〇七	八三九	九六	一
妙 決 二五・九七	一八二	九三	三

一六一 復籍拒絶

- 五 復籍拒絶ニ關スル事項ハ被拒絶者ノ戸籍ニ記載スルニ及ハス
- 六 拒絶者ト被拒絶者トノ本籍地カ異ナル場合戸法二四條三項ノ必要上拒絶者本籍市町村長ノ通知ニ依リ被拒絶者本籍市町村長ハ名簿ヲ作リ又ハ戸籍ニ附箋ヲ爲シ置クハ差支ナキモ強テ爲サシムルヲ要セス
- 七 復籍拒絶ノ記載ヲ爲シタル市町村長ハ被拒絶者ノ本籍地市町村長ニ對シ注意ノ爲復籍拒絶ノ記載ヲ爲シタル旨通知スルコトハ差支ナシ
- 八 養家ニ於テ戸内婚姻ヲ爲シタル女カ實家戸主ノ同意ヲ得ス夫ト共ニ他家ニ縁組ヲ爲シタル場合實家戸主ヨリノ復籍拒絶ノ届出ハ受理ス
- 九 復籍拒絶セラレタル者カ離縁離婚以外ノ事由ニ依リ其家ニ入籍シタル場合拒絶ノ記載抹消ス及其記載例
大正年月日何某入籍シタルニ付同日右某ノ復籍拒絶ノ記載抹消
- 一〇 養家ヨリ更ニ他家へ縁組ノ場合實家戸主トシテ同意ヲ爲シタルモ最初ノ縁組ニ同意セサリシヲ理由トシテノ復籍拒絶届書ハ受理スルコトヲ得ス

一六一 戸籍法 復籍拒絶

大正 三〇・二 司 回	四〇・七 司 回	四〇・六 司 回	三六・四一六 市 區 決	大阪決	大阪決
民 一〇四一 (586)	民 一八四 (616)	民 六 (630)	三七 (298)	一九三	一四八
四九	四九	四九	八一	一〇〇	九五
一三	二四	三〇	一一	二〇	一八

一一 戸主未定中親族會ノ同意ヲ得スシテ他家へ婚姻シタルモノニ對シ後日選定相續人ヨリ復籍拒絶ノ届出ヲ爲スコトヲ得

大阪決

二〇一

一〇五

一三

一六二 廢 家

- 三一 廢家届出後他家入籍ノ届出不能トナリタルトキハ戸籍訂正ニ依リ該事項ヲ抹消ス又右訂正前家族ニ關スル届出アリタルトキハ戸籍ニ記載スヘシ
- 三二 廢家届ハ必スシモ入籍ニ關スル届出ト同時ニ爲スヲ要セス但廢家ノ效力ハ入籍ニ關スル届出アリタル時ニ於テ始メテ生ス
- 三三 意思能力ヲ有スル未成年戸主カ廢家又ハ家督相續人ノ指定ヲ爲ス場合法定代理人ノ同意ヲ要スル省議變更ナシ
- 三四 新ニ家ヲ立テタルモノニ非サル者ノ廢家ヲ誤テ受理シ戸籍ニ記載セラルルモ其廢家行爲ハ無効ナリ
- 三五 廢家許可ヲ得タル女戸主カ入夫婚姻シ入夫戸主ト爲リタル後離婚シ相續人ニ選定セラレ再ヒ戸主ト爲リ前ノ廢家許可ニ因リ廢家届出ヲ爲スモ受理スヘキモノニ非ス
- 三六 廢家入籍ノ届書郵送後届出人カ死亡シタルトキ廢家入籍ハ届出ノ受理ニ依リテ效力ヲ生ス
- 三七 一家創立シタル十五歳ノ子ニテ高等小學校卒業セル者カ法定代理人ノ同意ヲ得テ廢家届出タル場合該廢家行爲ヲ了知シ得ル者ト認メ得ルニ於テハ受理スルコトヲ得

大正 五〇三 司	五九二 司	六〇六 司	七〇三 司	七〇三 司	一〇九 司	二〇九 司	二〇九 司
回	回	回	回	回	回	回	回
民 一九〇一 (765)	民 四八五 (1211)	民 二〇五六 (875)	民 一九八四 (1212)	民 一九八四 (1212)	民 一七 (177)	民事 三四九四 (1218)	民事 三四九四 (1218)
五	八	五	八	八	四	八	四
三	三	三	三	三	五	四	二

- 三八 相續人ハ相續開始後ト雖相續届ヲ爲スニアラサレハ廢家許可ノ申請ヲ爲スヲ得ス
- 三九 分家戸主本家へ入籍ノ爲廢家届ノミヲ爲シ其後本家ニ入籍セス他家へノ婚姻届ヲ提出スルモ受理差支ナシ
- 四〇 意思能力ナキ未成年戸主ノ母ハ代ツテ廢家ヲ爲スヲ得ス
- 四一 廢家届出ノミヲ爲シタル戸主ニ對シ他家ノ母ヨリ引取入籍届アリタルトキハ廢家家族ハ當然其家ニ入ル
- 四二 意思能力アル未成年戸主ノ分家廢家絶家再興等ニ付テモ法定代理人ノ同意ヲ要ス
- 四三 裁判所ノ許可ヲ得スシテ本家相續ノ爲廢家ヲ爲シタルトキハ其廢家ハ無効ナルヲ以テ縱令其者カ本家相續ヲ爲シ戸籍ニ其旨記載セラレタリトスルモ本家相續ハ無効ニシテ本家ノ戸主タル地位ヲ取得スルコトヲ得サルモノトス
- 四四 廢家届ト他家ニ入ルヘキ行爲ノ届書トハ同時ニ受理ヲ要セストノ省議ノ變更ヲ求メス
- 四五 一家ヲ創立シタル私生子カ意思能力ヲ有セサルトキハ廢家ヲ爲スコトヲ得ストノ省議ハ變更セス
- 四六 身分ノ得喪變更ヲ生スヘキ法律行爲ハ無能力者ト雖意思能力ヲ有スルニ於テハ法律ニ別段ノ規定ナキ限り法定代理人ノ同意ヲ得ル

大正 田 二九・九元 決	和 二〇・〇三 決	新 三〇・一七 元 決	田 三〇・〇五 決	和 三〇・〇五 決	大正 三六・六 大三民判 (オ)三〇〇	市 三六・二四 六 區決	司 三六・三 回	民事 九七七五 (1155)	八 (272)	六 四	五 七 五	一 七 〇	三 一 九	五 六 八	五 〇	一 六 二	五 〇	一 二 四 九 三
-----------------------	-----------------	----------------------	-----------------	-----------------	------------------------------	-----------------------	----------------	----------------------	------------	--------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	-------------	--------	-----------------------

- コトヲ要セス獨立シテ之ヲ爲スコトヲ得
- 無能力者カ廢家ヲ爲ス場合ニ法律ハ別段ノ規定ヲ爲ササリシヲ以テ意思能力ヲ有スル未成年者ハ法定代理人ノ同意ヲ得スシテ廢家スルコトヲ得
- 四七 未成年戸主カ廢家ヲ爲スニハ法定代理人ノ同意ヲ要ストノ省議ハ變更セラレタルコトナシ
- 四八 廢家届ハ入籍届アリタル時ニ於テ其效力ヲ生スルモノトス故ニ入籍届ナキニ拘ハス廢家届ノミニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ戸法一六四條ノ訂正申請ヲ俟ツテ抹消スヘキモノトス
- 四九 廢家届出後他家ニ入籍届前死亡シタルニ因リ其推定相續人ヨリ相續届出タルトキハ受理ス
- 五〇 廢家後入籍届出前廢家ニ入籍シタル家族ハ廢家戸主ノ入籍届ニ因リ共ニ除籍スヘキモノナリ
- 五一 廢家後入籍届出ナキモノハ其儘トス又入籍届出前ノ届出事件ノ届書ニハ總テ戸主ト記載ス
- 五二 父母ノ家ニ入ル能ハス一家創立シタル意志能力ナキ子ハ其後父母カ離籍ニ因リ創立シタル家ニ入ル方法ナシ
- 五三 未成年戸主カ裁判所ノ許可ヲ得テ廢家届出ヲ爲スニハ法定代理人ノ同意ヲ要ス

大正 三六・六 大三民判 (オ)三〇〇	市 三六・二四 六 區決	司 三六・三 回	民事 九七七五 (1155)	八 (272)	六 四	五 七 五	一 七 〇	三 一 九	五 六 八	五 〇	一 六 二	五 〇	一 二 四 九 三
------------------------------	-----------------------	----------------	----------------------	------------	--------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	-------------	--------	-----------------------

- 五四 棄兒カ養子ト爲ルニハ意思能力ナキモ特別取扱トシテ廢家シ得ルコトハ民事局長通牒ノ通
- 五五 未成年者カ廢家ヲ爲スニハ親權ヲ行フ父若ハ母又ハ後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 五六 戸主カ入家ニ同意セサル爲一家ヲ創立シタル私生子カ認知ニ因リ父家ニ入ル場合意思能力ナキモ廢家シ得ルコトニ省議變更ヲ求ムルコト
- 五七 相續ニ因ル單身女戸主無財產證明書添附廢家届出タルトキハ受理差支ナキコトノ省議ヲ求ムルコト

大正 市五〇七一九 區決	四 (357)	九九	九
法曹決	雜誌 一二四	八八	
昭和 市二〇二五七 區決	七 (404)	一〇六	五
市二〇二五七 區決	二 (419)	一〇六	一三

一六三 戸籍ノ記載

- 七 廢家除籍ノ場合家族ノ事項欄ニ除籍事由記載ヲ要セス
- 八 單身戸主廢家入籍ノ場合記載例百四ノ事項中「戸主甲野義太郎」及「全戸」ノ文字ヲ省略スルモ差支ナシ
- 九 廢家届出人カ入籍届出前死亡シタルトキハ訂正手續ニ依リ廢家ノ記載ヲ抹消ス
- 一〇 所在地ヨリ送付アリタル廢家届書ノ隨從者入籍ノ日ハ所在地受附ノ日ヲ記載スヘキモノトス

大正 市四七〇六 區	民 九八四 (741)	五一	一一
和 市二七〇七 區決	五二九	四七	一
和 市三〇四五 區決	五八六	五六	三
昭和 市二〇〇六 區決	八九四	一〇〇	六

一六四 絶 家

- 七 適法ナル絶家ノ事實アルニ非サレハ市町村長ハ絶家ノ記載ヲ爲スコトヲ得ス
- 八 長男甲相續シタルモ其相續届出前死亡シ且無財産ナルトキ其姉タル乙ヨリ甲死亡ノ時ヲ絶家原因トシテ一家創立届出タルトキハ受理ス
- 九 民法施行前ノ絶家者ニ遺留財産アルコトヲ發見スルモ市町村長ハ許可ヲ得テ職權ニ因リ絶家者ノ戸籍ヲ復活スヘキモノニアラス但遺留財産ニ付テハ相續人曠缺手續ニ因ル
- 一〇 長男丙及丙ノ長男丁ヲ有スル亡戸主ノ弟乙ヨリ無財産ヲ證明シ絶家ニ依ル一家創立ヲ爲ス場合丁モ共ニ從ヒ其家ニ入ルヘキモノトス

大正 四七・六 司 回	田 三〇・三 三 決	和 三・三・二〇 二 決	市 四〇・二六・一 六 區 決
民 九八四 (743)	二二	七〇一	一七 (326)
五二	七二	七四	八七
一一	一一	一一	八

一六五 届出一般

- 六 戸主死亡シ家督相續人ナク且無財産ナル場合ハ民法一〇五一條以下ノ手續ヲ要セス家族ヲシテ絶家ニ因ル一家創立届ヲ爲サシムルコトヲ得
- 七 前項ノ場合ニ於テ無財産ノ證明ハ絶家ノ届出ヲ爲ス家族ヲシテ爲サシム絶家ノ日ハ戸主死亡ノ日ナリ
- 八 絶家ニ因リ一家創立スル者ハ姉妹及孫ヲ其家族ト爲スコトヲ得ス
- 九 無財産證明ヲ爲シ戸法一四四條ノ絶家ニ因ル一家創立届出ツルモ戸主死亡ノ日ヨリ届出期間ヲ起算ス
- 一〇 在監者ノ分家届ト雖モ之ヲ受理ス
- 一一 戸主ト母ト叔母トノ一家ニテ戸主死亡シ民法一〇一七條ノ期間經過後又死亡ス母ノ妹タル叔母ヨリ一家創立ノ届出アリタルトキハ母ノ戸籍ヲ編製後受理ス
- 一二 戸主死亡シ私生子男其相續届出ヲ爲サス死亡シ戸主ノ妹ヨリ絶家ニ因ル一家創立届出タル場合無財産ノ證明ヲ添附セルトキハ私生子男ノ相續戸籍ヲ編製後受理差支ナシ
- 一三 相續人ニ非サル家族甲及其妻子ノミヲ有スル戸主死亡シ次テ甲死亡シタル後無財産ニ因ル絶家處分ヲ爲ス場合甲妻ヨリ一家創立ノ

一六五 戸籍法 絶家 届出一般

大正	七・七・三	七・七・三	七・七・三	七・七・三	七・七・三	七・七・三	七・七・三
大正	七・七・三	七・七・三	七・七・三	七・七・三	七・七・三	七・七・三	七・七・三
司	司	司	司	司	司	司	司
回	回	回	回	回	回	回	回
一九八四	一九八四	一九八四	一九八四	一九八四	一九八四	一九八四	一九八四
(1020)	(1021)	(1021)	(1021)	(1021)	(1021)	(1021)	(1021)
五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇

四四五

届出ヲ爲サシムヘク甲一家創立ノ戸籍ヲ編製スル要ナシ
一四 絶家ノ家族ノ子ヲ戸主トスル一家創立届ハ受理スルコトヲ得ス

昭和 二六・二六	四四六
大阪決	九〇〇
	一九七
	一〇二
	一〇五
	一一
	二

一六六 絶家處分

- 一六 單身戸主ノ絶家ノ職權記載ハ戸法六四條三項ニ依ルモノトス
- 一七 戸主死亡後相續人届出前死亡シ他ニ家族ナク且無財産ノ爲絶家ト爲ス場合先ツ許可ヲ得テ職權ニ因リ相續人ノ戸籍編製後之カ手續ヲ爲スヘキ旨ノ省議ノ變更ヲ求ムルノ件ハ大阪控訴院長ヨリ本省ヘ照會ノ結果ヲ俟ツヘシ〔一六六一九〕
- 一八 民法施行前戸主死亡シ絶家處分ヲ受ケタルニ該戸主ニハ登記ナキモ事實上ノ養子アリ單身戸主ニ非サリシコト發見シタルトキハ當時登記ハ縁組ノ要件ナラサリシヲ以テ絶家處分取消ト共ニ養子縁組事項記入ノ訂正申請ハ受理スヘキモノトス
- 一九 甲戸主死亡後乙相續人相續届出前死亡シ他ニ家族ナク且無財産ノ爲メ絶家ト爲ス場合先ツ許可ヲ得テ職權ニ依リ相續人ノ戸籍編製後之カ手續ヲ爲スヘキ旨ノ省議ハ變更セサルモ便宜ノ取扱トシテ甲戸籍ノ乙ノ事項欄ニ抹消ノ記載ヲ爲スモ妨ケナシ―大正一・六・三民事八四四號司回〔一五二三〕
- 二〇 職權處分ニ因ル絶家ヲ再興シタルニ絶家ニ遺留財産アルコト發見シタルトキハ市町村長ハ絶家ニ因ル抹消戸籍ノ復活及再興戸籍ノ抹消並再興者ノ戸籍回復ノ戸籍訂正ヲ申請スルヲ可トス

大正 三〇・三六 司回	四九	一五
民事 一七四三 (569)	四四	四
市區決 一七一	四六	一〇
一〇〇・三 司回	四九	一
二・九・三 御決	四九	一
二・六・三 控通	四九	一
四四七		

- 二一 村長カ職權ニ依リ許可ヲ得テ絶家處分後許可ノ日ト同日受理セシ家族ノ離婚届書送付シ來リタル場合ハ一家創立ノ取扱ヲ爲ス
- 二二 單身女戸主カ廢家又ハ隱居ヲ爲サスシテ婚姻ニ因リテ他家ニ入リタルトキ其者ニ相續人ナク且無財産ナルトキハ許可ヲ得テ職權ニ依リ絶家ノ記載ヲ爲ス
- 二三 無財産單身女戸主カ廢家又ハ隱居ヲ爲サス他家婚姻届ヲ誤テ受理シタル場合ナリトモ絶家許可申請ニハ期間ヲ措クノ要ナシ
- 二四 無財産單身戸主死亡ニ因ル絶家處分ヲ爲スニハ相續人不選定ノ事實明瞭ナルトキハ直ニ若シ明瞭ナラサルトキハ凡ソ六ヶ月ヲ措キ處分スルヲ可トス
- 二五 無財産戸主死亡シ次テ相續人ニ非サル家族死亡シ他ニ家族ナキ場合ノ如キハ戸主ノ死亡ヨリ六ヶ月經過後絶家處分ヲ爲スモ可ナリ
- 二六 相續人ナキ無財産單身戸主死亡ノ場合死亡届出義務者又ハ利害關係人ヨリ無財産ナル旨ノ申出書ヲ徴シ之ニ基キ市町村長絶家ノ記載ヲ爲シ得ルコトニ省議變更ヲ求ムルコト

大正 三・六・二四一六 市區決	昭和 二・五・九 聯合決	新 二・七・三 決	新 二・七・三 決	市 二・四・五・一七 區決
四九 (308)	一一八	五二九	五二九	一六 (413)
八一	一〇一	一〇三	一〇三	一〇六
一五	二	八	七	一一

一六八 分 家

九 分家ハ届出ニ因テ其效力ヲ生ス
 未成年者ノ分家届出ニ對スル親權者又ハ後見人ノ同意ニ付戸法第五八條一項ノ手續ニ依ル書面ノ添附ナキト雖當該吏員カ其届出ヲ受理シテ戸籍簿ニ記載スレハ之ニ由テ分家ノ效力ヲ生スルモノトス
 戸法第四九條ノ規定ハ届出事件ニ付戸籍法上ノ届出義務ヲ負擔スヘキ者カ未成年者又ハ禁治產者ナル場合ニ於テ親權者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者ト爲シタル旨ヲ規定シタルモノニシテ分家届出ノ如キ戸籍法上ノ届出義務ヲ負擔スヘキ者ナキ場合ニ適用スヘキモノニ非ス
 一〇 内鮮相互間ニ於テハ分家、轉籍、一家創立、廢絶家再興等ニ因リ家籍ヲ轉シ又ハ家籍ヲ定ムルコトヲ得ス

大正 三・七・三 大ニ民判 二・九・六 法曹決	昭和 二・五・九 聯合決	新 二・七・三 決	新 二・七・三 決	市 二・四・五・一七 區決
一一二 六六	一一八	五二九	五二九	一六 (413)
二〇	一〇一	一〇三	一〇三	一〇六
五九	二	八	七	一一

一六九 届 出

- 一一 女戸主ノ夫ハ離婚ヲ爲スニ非サレハ其養父ト共ニ分家ヲ爲スコトヲ得ス
- 一二 分家地村長ヨリ分家届ノ送付アリタルトキ本家ノ相續届出後ナレトキト雖前戸主ノ除籍ニ其記載ヲ爲スヘシ但分家地ニ於ケル届書ノ受理ノ日カ本家ノ相續開始ノ日以後ナルトキハ受附村長ニ返戻スヘシ
- 一三 意思能力ナキ者ハ法定代理人ニ依ルモ分家ヲ爲スコトヲ得ス
- 一四 戸内離婚ヲ爲シタル妻ハ夫トノ間ノ子ヲ連レ分家ヲ爲スコトヲ得
- 一五 分家届ヲ分家地ニ爲ス場合届書ノ記載ニ代ヘ添附スル戸籍謄本ハ届書ノ各通ニ附スルコトヲ要ス
- 一六 戸主死亡後相續届出前亡戸主ノ二男ヨリ相續戸主ノ同意シタル分家届書ハ受理ス届書ニハ戸主トノ續柄ヲ戸主亡某二男ト記載スヘキモノトス
- 一七 内地人並朝鮮人ハ朝鮮又ハ内地ニ分家、轉籍、就籍、入籍ヲ爲スコトヲ得ス
- 一八 錯誤ニ依リ丙丁兩名ノ長男ヲ有スル甲家ノ家族乙カ丙丁ヲ從屬

一六九 戸籍法 分家 届出

大正 三〇・六 司 回	五二〇〇 司 回	九四〇七 司 回	一〇〇七 司 回	一〇三二 和 決	二〇三三 新 決	二〇三六 司 回
民 一七九 (1228)	民 一五〇五 (856)	民 一二五九 (1236)	民 一三七八 (1238)	五〇四	二八二	民 三〇三六 (1239)
八四	五三	八六	八六	四一	四二	八六
二四	一九	一三	一六	三	三	一六

家族トスル分家届ハ之ヲ受理シ後戸籍ノ訂正手續ヲ爲スヘキモノトス

一九 満十ヶ年ノ者ノ分家届出アリタル場合分家者ノ意思能力ノ有無ハ大體ニ於テ自己ノ爲ノ事柄ヲ了知スルコトヲ得ヘキ程度ニ發達シタル者ト認ムルヤ否ヤニ依リ決ス

二〇 甲町在籍地ノ家族カ乙町ニ分家ヲ爲スニ際リ其届書ノ一通ニノミ本家ノ戸籍謄本ヲ添附シ届出タル場合左ノ通り取扱フモ差支ナキモ其送付方ニ付萬錯誤ナキヲ期スヘシ
原籍地甲町ニ於テ受理セルトキハ其戸籍謄本ヲ添附セル届書ヲ新本籍地乙町ニ送付ス

新本籍地乙町ニ於テ受理セルトキハ戸籍謄本ヲ添附セサル他ノ一方ノ届書ニ「戸籍謄本ヲ添附シ届出タリ」ト附記シ其届書ヲ原籍甲町ニ送付ス

非原籍地丙町ニ於テ受理セルトキハ戸籍謄本添附ノ届書ヲ新本籍地乙町ニ送付シ他ノ一通ノ届書ニ「戸籍謄本添附ノ届書ハ新本籍地ニ送付セリ」ト附記シ其届書ヲ原籍地甲町ニ送付ス

二一 前項ノ場合分家者及其家族ノ身分ニ關スル事項ハ分家届ノ一通ニノミ記載シ他ノ各通ニハ其記載ヲ省略シアルモ差支ナシ
二二 分家届書ニ届書ノ記載ニ代ヘ分家者ノ身分事項詳記ノ戸籍抄本

添附セハ受理ス

二三 分家届書ニ身分事項ヲ記載セス其一通ニ戸籍謄本ヲ添附シ分家地ニ届出タル場合該謄本添附アル届書ヲ本籍地ニ送付スヘシ

二四 意思能力アル未成年者ノ分家ハ法定代理人ノ同意ヲ得テ自ラ届出ツヘシ

二五 本家ニ長男ヲ遺シ二三男ヲ連レ分家ノ場合届書ニ長男ト爲ルニ男、二男ト爲ル三男ト記載セシムルヲ可トス

二六 大正十一年六月五日民事第二一四四號民事局長回答以前二三男ヲ連レ分家シタル戸主轉籍ノ場合ハ其續柄ヲ更正スヘキモノニアラス

大正 三〇八二 司	和 三〇二〇 司	民事 九三九九	六六八	六九	三
回	回	六六八	七三	七六	四
民事 二二四三 (1176)	民事 二二四三 (1177)	七六	七六	七六	三
回	回	七六	七六	七六	四

聯 一五〇七 八	司 一五〇三 三	妙 一五〇七 八	大阪決	大阪決	大阪決
回	回	決	決	決	決
民事 七〇九二 (1376)	民事 七〇九二 (1376)	一七二	一八八	一八八	一八九
九五	九三	九三	一〇〇	一〇〇	一〇〇
四	一	一	一九	一九	二〇

一七〇 同 意

- 一五 意思能力アル未成年者ノ分家届ニ法定代理人ノ同意ナキモノヲ受理送付シタルニ本家地村長ヨリ返戻サレタルトキハ右同意ヲ追徴シ再送スヘシ
- 一六 未成年者ノ分家ニ親権者ノ同意ナキ儘誤テ受理送付シタルニ親権者同意セサル爲本家除籍未済ノ裡成年ニ達シ追認書ヲ差出シタルトキハ分家届ト共ニ送付シ本家戸籍ヲ除籍ス
- 一七 祖父カ未成年ノ孫ヲ携帶分家セントスルモ父アルトキハ其同意ナキ届書ハ受理スルヲ得ス
- 一八 婿養子セル家女子ヲ擧ケ離婚ノミヲ爲シ其子ヲ伴ヒ分家セントスルトキハ戸主ノ同意ノ外子ノ父ノ同意ヲモ要スルコト前項ニ同シ
- 一九 意思能力アル未成年戸主ノ分家、廢家、絶家再興等ニ付テモ法定代理人ノ同意ヲ要ス
- 二〇 戸主所在不明ノ家族カ分家スルニハ戸主權行使ノ親族會ノ同意ニ代ヘ重ナル親族ノ同意ニ依ルコトヲ得ス
- 二一 後见人タル家族カ分家ヲ爲スニハ後見監督人及親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 二二 後见人ニ就職セル戸主ニ意思能力アル未成年ノ叔父アリ叔父分

一七〇 戸籍法 分家 同意

大正 七九・二六 司 回	八三・三七 司 回	二〇・三三 市 區 決	二〇・三三 市 區 決	二〇・三三 市 區 決	二〇・三三 市 區 決	二〇・三三 市 區 決	二〇・三三 市 區 決	三・四・九 法 曹 決
民 一五九七 (1036)	民 三八五 (1060)	五六 (260)	五九 (263)	五七	五七	五七	五七	五九
五九	五九	五七	五七	五六	五九	五九	六二	六二
一〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二

四五五

一七〇 戸籍法 分家 届出

- 一 家ノ場合ハ戸主ノ後見人並ニ叔父ノ後見人ヲ選定シ同意ヲ要シ尙戸主ノ後見人分家ニ同意スルニハ親族會ノ同意ヲモ要ス
- 二 郵送ニ係ル分家届受理ノ前日本家戸主カ隠居セル場合ト雖新戸主ノ同意ヲ要セス
- 三 戸主死亡シ推定相續人カ相續届出前家族ノ分家等ノ届出ニ戸主トシテ同意セルモノハ受理シ差支ナキモ可成先ツ相續届ヲ爲サシムルヲ相當トス
- 四 未成年者ハ意思能力アリトモ法定代理人ノ同意ナクシテ分家ヲ爲スコトヲ得ス

四五六

大阪決	四六	八三	一六
市區決	二三(332)	八七	一〇
田決	二四五	八四	一〇
妙決	一七一	九三	一

一七一 分家家族ト爲ルヘキ者

- 九 女戸主ノ夫ノ養父カ夫ト共ニスル分家届ハ受理スルコトヲ得ス若シ既ニ受理戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ夫ヲ分家ヨリ除籍スヘキ戸籍訂正ヲ爲スヘシ
- 一〇 祖父ハ子ノ意思ニ反セサル限り孫ヲ分家ノ家族ト爲スコトヲ得
- 一一 相續人ハ養父ノ分家ニ從フコトヲ得ス
- 一二 分家ノ家族ト爲シタル直系卑屬カ分家前ニ於テ死亡シタル者ナルトキハ其入籍ハ無効トス
- 一三 分家者ハ其兄弟ノ養子ト爲レル自己ノ私生子男ヲ分家ト同時ニ之ヲ家族ト爲スコトヲ得ヘク分家戸籍ニ於ケル額書ハ私生子男ト記載ス若シ右卑屬カ分家戸主ノ長男ナルトキハ分家ノ推定相續人トナルモ養親子ノ關係ハ消滅セス
- 一四 民法施行前妻ヲ殘シ分家セルモノハ戸籍訂正ニ依リ其妻ヲ分家戸籍ニ記載ス
- 一五 夫ノ分家ニ隨ヒ其家ニ入ル妻ハ前ニ引取入籍セシメタル私生子ヲ同時ニ入籍セシムルコトヲ得ス
- 一六 夫ノ本籍地ニ妻ノ離婚届ヲ爲シタルモ未タ妻ノ入籍通知ヲ受ケサル間ニ夫カ他町村ニ分家セムトスルトキハ妻ハ夫ニ從ヒテ其家ニ

一七一 戸籍法 分家 分家家族トナルヘキ者

四五七

大正	四〇・六	四九	三三
司	一四六	五二	一九
司	八(815)	七七	九
大阪決	八	八六	一四
司	三一九(1237)	四六	一五
司	一四八(575)	五〇	三
田決	一六〇	六〇	三
和	六一九	六〇	三

一七一 戸籍法 分家 分家家族トナルヘキ者
入ルヘキモノニ非ス

- 一七 夫カ分家ヲ爲ス場合妻ノ私生子ヲ分家ノ家族ト爲スコトヲ得ス
- 一八【戸籍ノ記載錯誤ニ依リ丙丁兩名ノ長男ヲ有セル甲家族乙カ丙丁ヲ伴ヒ分家セントスルニハ先ツ訂正スルコトヲ要ス】(一七一—九)
- 一九 前項ノ場合分家届ハ之ヲ受理シ戸籍ノ訂正手續ヲ爲スヘキモノトス
- 二〇 相續人ハ養父ノ分家ニ從フコトヲ得ス
- 二一 舊法施行前ノ戸籍ニ夫ノ分家ニ隨從スヘキ妻カ其儘本家ヨリ除籍シアラストモ實體法上本家ニ在ルヘキモノニ非ス從テ子ノ縁組ニ付同意權ナキモ若シ同意ヲ得テ届出タルトキハ受理ス但戸籍訂正手續ニ依リ妻ヲ夫ノ分家ニ入ラシムヘシ
- 二二 相續人タル妻ヲ從ヘ分家届出ツルモ受理スヘキモノニアラス
- 二三 戸主カ同籍内ノ甥ヲ養子ト爲シタルモ其後縁組ニ因リ相續權喪失シタルニ其縁組以前ニ他家ノ養子トナリタル甥ノ長女縁組復籍セハ代襲相續人トナルニ付甥ノ分家ニ隨從スルヲ得ス
- 二四 亡二男ノ遺妻ハ分家ノ家族トシテ共ニ分家スルコトヲ得ス

一七二 戸籍ノ記載

- 五 同一市町村内ニ分家ヲ爲シタル場合ハ戸細一四條二項ニ依リ本家戸籍ニ基キ戸主家族ノ身分事項等新戸籍ニ記載ス
- 六 祖父カ孫ヲ分家ノ家族ト爲シタル場合ノ記載例
何年何月何日祖父何某分家ニ付共ニ入籍
- 七 他管ニ分家シタル届書ヲ本家相續開始新戸籍編製後送付アリタルトキハ前戸主ノ除籍ニ記載スル外新戸籍ニ移記セル分家者ノ記載ハ戸法三九條二項後段ニ準シ抹消スヘシ其記載例左ノ如シ
何某(新戸主ノ氏名)ノ家相續前ニ分家ヲ爲シタルニ付何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ何月何日抹消
- 八【數度親族入籍及婚姻離婚ヲ爲シタル者カ分家後廢家ノ上本家ニ入リ更ニ分家ノ場合新戸籍ニハ現在妻トノ婚姻竝ニ最後ノ廢家人籍事項ノミヲ移記ス】(一七二—九)
- 九 數度親族入籍及婚姻離婚ヲ爲シタル者カ分家後廢家ノ上本家ニ入リ更ニ分家ノ場合新戸籍ニ其者ノ右身分ニ關スル事項全部ヲ移記ス
- 一〇 分家ノ家族ト爲サントスル子ヲ分家届ニ遺漏シタルニ依リ之カ追完届出アリタル場合ノ戸籍記載例
年月日父某分家ニ付共ニ入(除籍父某分家追完届出年月日受附

一七二 戸籍法 分家 戸籍ノ記載

大正 三・三・五 法曹決 三・三・四 回	三・三・三 妙 決	三・三・二 司 回	一四・六・九 和 決	二四・〇・七 田 決	大正 昭 二・七・九 妙 決	大正 昭 二・七・九 妙 決	大正 昭 二・七・九 妙 決	大正 昭 二・七・九 妙 決	大正 昭 二・七・九 妙 決	大正 昭 二・七・九 妙 決
民事 七九七 (1134)	一三〇	民事 九三九九	七三四	二四二	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七	一四七
六四 三二	六八	六九	七九	八四	九五	九五	九五	九五	九五	九五
八三	二	三	一	九	一八	一八	一八	一八	一八	一八

大正 四・〇・五 司 回	五・〇・五 司 回	六・七・三 司 回	三・三・一 和 決	三・三・二 司 回	四・〇・二 大正 司 回	四・〇・二 大正 司 回	四・〇・二 大正 司 回	四・〇・二 大正 司 回	四・〇・二 大正 司 回	四・〇・二 大正 司 回
民事 一七五七 (615)	民事 一四六一 (815)	民事 八五三 (940)	六三〇	民事 八八四五	二九二	二九二	二九二	二九二	二九二	二九二
四九	五二	五五	六七	六九	七六	七六	七六	七六	七六	七六
二三	一九	二〇	一	一	二	二	二	二	二	二

一七二 戶籍法 分家 戶籍ノ記載

一一 大正五年三月十五日民第一五二號法務局長回答第二項ハ戶主カ
隱居ノ場合ニモ適用ス

四六〇

大正
新
四六〇
三
決

四五七

八二

八

一七三 廢絶家再興

- 一五 縁組取消、離縁、婚姻取消、離婚等ノ届書ニ實家再興ノ旨、再興場所ヲ記載シタルトキハ戶法一四六條ノ届出ヲ爲スヘキモノニ非ス此場合届書ニハ一八條五四條ニ依リ戶籍記載必要事項ヲ記載スルヲ要ス
- 一六 離婚離縁等ノ届書ニ實家再興ノ旨及再興ノ場所其他戶法五四條ニ依リ一四六條所定事項ヲ記載シタルトキハ別ニ再興届ヲ要セス
- 一七 離婚離縁等ノ届書ニ實家再興ノ旨及再興ノ場所等ヲ記載シタルトキハ別ニ戶法一四六條ノ届出ヲ爲スヘキモノニ非ス
- 一八 廢絶家再興ノ氏ハ廢絶家ニ有シタルモノヲ襲繼ス
- 一九 廢絶家再興シタルトキハ前ノ廢絶戶籍ニ何等記載ノ要ナシトノ省議變更ナシ但廢絶家ノ戶籍ニ再興ノ旨記載妨ケス
- 二〇 同一廢絶家ニ付數人ノ再興者アルコト發見シタルトキハ戶籍訂正ノ手續ニ依ラシム
- 二一 一ノ廢絶家ハ數ヶ所ニ於テ再興スヘキモノニアラス重複再興防止ノ爲再興アリタル廢絶家ノ戶籍ニ其旨記載差支ナシ
- 二二 廢絶家再興戶籍ニハ前戶主及前戶主トノ續柄記載ノ要ナシ
- 二三 廢絶家再興ハ廢絶家ノ氏ヲ稱スヘキモノトス

大正 三〇三六 司 回	四〇二九 司 回	四〇三三 司 回	七〇三三 司 回	七〇三三 司 回	七〇三三 司 回	七〇三三 司 回	七〇三三 司 回	七〇三三 司 回	八八二 司 回	二〇三三 御 決
民 一九七一 (599)	民 二二〇 (654)	民 二九九 (669)	民 一四八 (1005)	民 一八二 (1037)	民 一八二 (1037)	民 一八二 (1038)	民 二四三 (1041)	民 二一五 (1099)	民 二一五 (1099)	四六一
四九	五〇	五〇	五八	五九	五九	五九	五九	六一	六二	四三
一八	一三	二〇	一四	一一	一一	一一	一一	一一	一一	五

一七三 戶籍法 廢絶家再興

- 二四 廢絶家再興者ハ廢絶家ノ氏ヲ稱スヘキモノトス
- 二五 本分家ノ關係アリトテ絶家再興届アルモ戶籍位牌墓標其他徵表ナキモノハ受理スルヲ得ス
- 二六 意思能力アル未成年戶主ノ分家、廢家、絶家再興等ニ付テモ法定代理人ノ同意ヲ要ス
- 二七 絶家再興者ハ前戶主所有ノ不動産ヲ取得スルコトヲ得ス
- 二八 廢絶家再興者ハ前戶主ノ權利義務ヲ繼承セス

四六二

大正 市區決 三〇二一三	三〇二一三 三四 (239)	五七	二
御 三〇二三	二二〇	五五	一
和 三〇四五	五七五	五六	一
法曹決 三〇六一	一五一	雜誌 一二	一四二
妙 三〇七六	七八	七八	一一

一七四 國籍ノ得喪

- 八 婚姻ニ因リ日本ノ國籍ヲ取得シタル英國人離婚ノ場合ハ戶法一〇四條又ハ六五條ノ届出ヲ爲サシメ一家創立ノ記載ヲ爲ス
- 九 本邦人ニシテ戶主タル夫英國ニ歸化シ國籍喪失届出ニ因リ長男ノ相續戶籍編製後三百日經過ノ後終始本邦在住ノ妻分娩シ國籍喪失者タル夫ノ子トシテ戶法一四八條ノ記載ヲモ爲シ嫡出子出生届出タルトキハ母ノ認知アリタルモノトシテ日本國籍ヲ取得シ母ノ家ニ入ル
- 一〇 日本人カ外國人ノ養子トナリタル爲其國籍ヲ取得スルモ日本ノ國籍ヲ喪失セス
- 一一 外國人トノ縁組ニ付親權者代諾スルモ日本ノ國籍ヲ失ハス
- 一二 女戶主ノ相續人タル未成年ノ私生子ヲ父家ニ入ラサル當時支那人タル父カ認知ノ戶籍記載シアルモノヲ支那ノ國籍取得シタル書面ヲ添附シ母ヨリ國籍喪失届出タルトキハ受理ス
- 一三 前項ノ母死亡ノ場合ハ裁判所ノ許可ヲ得テ國籍喪失ノ職權記載ヲ爲ス
- 一四 日本人女ト「チエツコ、スロヴァキア」國人男ト婚姻シタルトキハ夫ノ國籍ヲ取得ス
- 一五 日本人女ト「ルーマニヤ」人男ト婚姻シタルトキハ夫ノ國籍ヲ取

一七四 戶籍法 國籍ノ得喪

四六三

大正 四〇四三 司 回	民 五三〇 (680)	五〇	二四
六〇六 司 回	民 七五六 (930)	五五	一三
七六三 司法會議 司 回	民 一七六九 (1015)	五八	一八
七八六 司 回	民 一七六九 (1033)	五九	八
大阪決	一	七七	七
大阪決	二	七七	七
九〇一 司 回	民事 二九七一 (1242)	八六	一七

一七四 戶籍法 國籍ノ得喪

得ス

一六 外國ニテ出生シタルニ因リ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人ノ日本國籍離脱許可ヲ得タル國籍喪失記載例

何國ノ國籍ヲ取得シタルニ付大正年月日附國籍離脱ノ許可ニ因リ國籍喪失戸主何某(親權ヲ行フ父)又ハ後見人何某)届出月日同國駐在領事何某受附月日送付除籍

一七 滿十七年以上ノ男子カ北米合衆國ニ永住スヘキ目的ノ爲日本ノ國籍ヲ離脱セル旨ノ國籍喪失届ニ戶法第一五一條ノ添附書類ナキモ之ヲ受理ス其國籍離脱ノ許可ニ依ル戶籍記載例

北米合衆國ノ國籍ヲ取得シタルニ付大正拾參年拾月參日附國籍離脱ノ許可ニ因リ國籍喪失戸主甲野乙太郎届出同年拾壹月貳拾日受附除籍

一八 婚姻ニ因リ日本ノ國籍ヲ取得シタル露國人ハ離婚ニ因リ當然原國籍ヲ回復セス別ニ同國籍法ノ定ムル所ニ從ヒ國籍回復ノ手續ヲ要ス

一九 日本人ハ元來外國人ノ養子ト爲リタル爲日本ノ國籍ヲ喪失スルモノニ非サルヲ以テ若シ戶籍ニ國籍喪失ノ記載アルトキハ其日本人カ離縁ト爲リタル場合ニ於テモ戶法一六四條ノ規定ニ依リ右國籍喪失ニ關スル戶籍ノ記載ヲ抹消スヘク國籍回復ノ手續ニ依ルヘキモノニ非ス

二〇 日本國籍離脱ノ内務省告示ニ基キ市町村長ハ直チニ職權記載ヲ

爲スヲ得ス但國籍喪失届ヲ怠ル者アルトキハ戶法六四條ニ依リ處理ス

二一 清國人ノ養子ト爲ルコトヲ得サリシ當時國籍喪失者トシテノ除籍ハ訂正手續ニ依リ其事項ヲ抹消シ戶籍回復ヲ爲スヘキモノトス

二二 一家創立シタル私生子男ヲ支那人ヨリ認知シタルトキハ其子ハ直ニ支那國籍ヲ取得スヘキヲ以テ廢家届ヲ要セス

二三 内地人甲男カ米國人乙女ト内地ニ於テ離婚届出後甲男死亡シ乙女除籍未済ナルコトヲ發見セル場合事實調査ノ上已ニ米國國籍ヲ取得シ居ルトキハ乙女ノ戶籍ヲ職權抹消ス

二四 國籍喪失ノ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ市町村長ハ催告ヲ爲シ若シ應セザルトキハ職權記載ヲ爲スコトヲ得ルニ付差當リ法律ヲ改正セザルモ支障ナシ

二五 戶主又ハ家督相續人以外ノ者ヨリ爲シタル國籍喪失届ハ受理スヘキモノニ非ス

(大正一四・三・一六民事二四〇二號司回)戶主死亡相續人未定ノ場合届出義務者ニ非サル國籍喪失者ノ父ヨリ喪失届アリタルトキハ受領ノ上監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權ニ因リ戶籍ノ記載ヲ爲ス

二六 支那人ノ養子トナリタル本邦人ハ其國籍ヲ失フ旨ノ大正四年九月民第一五三四號法務局長回答ハ爾後ノ省議ニ因リ變更セララル

一七四 戶籍法 國籍ノ得喪

四六四

大正 司回 民事 二一三九 (1244) 八六 一八

新 決 三五六 六〇 九

御 決 二七五 七二 五

司回 民事 三二七四 (1189) 七七 一七

法曹決 一〇三 一〇

和 決 四二四 八二 一

司回 民事 六六八〇 (1229) 八五 一七

市區決 一一 (320) 八七 四

市區決 三五 (343) 八七 一四

司回 民事 五八〇〇 (1373) 九五 一

御 決 三一九 九四 五

市區決 一〇 (363) 九九 一一

四六五

二七 國籍離脱ニ因ル國籍喪失記載例

北米合衆國ノ國籍ヲ有スルニ付大正拾五年七月拾五日附國籍離脱ノ届出受理ニ因リ國籍喪失戶主竹中千之助届出大正拾五年八月拾參日同國駐在總領事武富敏彦受附同年拾月壹日送付除籍

二八 外國人ノ妻ト爲リタル女ハ夫ノ本國法ニ依リ其國籍ヲ取得スル場合ニ限リ國籍喪失届ヲ爲サシメ除籍ス

二九 國籍離脱届受理ノ場合町村長ハ官報告示ト對照スヘキモノナルニ付届書ニ官報寫添附ノ要ナシ

三〇 婚姻ニ因リ日本ノ國籍ヲ取得シタル米國人女ハ離婚ノ場合米國ニ居住スルモ直ニ原國籍ヲ回復セス歸化ノ手續ニ依リ國籍ヲ回復セサル限リ一家創立ノ手續ヲ爲サシムル外ナシ

大正 和 三〇・三三 決	八四六	九六	二
昭 和 二〇・二二 決	八五六	九六	五
昭 和 二〇・二五 新 決	五一〇	九九	四
二〇・三三 司 回	民事 七三九二	一〇五	一

一七五 氏名族稱ノ變更

三 族稱ニ就テ

四 氏名ニ就テ

五 士族ノ單身戶主死亡後五十日ヲ過キタルモノハ六ヶ月以内ノ届出ト雖延期出願ノ手續ナキモノハ族稱廢絶トス(省議變更)

六 右省議變更前死亡後五十日經過セルモ六ヶ月以内ナルヲ以テ廢絶セサルモノトシテ士族ノ取扱ヲ爲シタルモノハ其儘トスヘシ

七 明治十三年布告三號ニ依ル猶豫ノ願出ノ許可ハ府縣知事ヨリ之ヲ郡市長ニ委任スルノ例ナリ相續届ニ右許可書ノ添附ナキモノハ平民トシテ取扱フ

八 乙氏ノ者住職當時太政官布告ニヨリ苗字創設ニ當リ宗内本山ノ旨ヲ享ケ甲氏ヲ稱シタルニ今日住職ノ地位ヲ去リ分家スルニハ甲氏ヲ稱スルノ要ナシ

九 改名ハ許可ニ因リ效力ヲ生ス

一〇 職權ヲ以テ離籍ニ因ル一家創立ノ戶籍編製後一家創立者ヨリ原有ノ氏ヲ變更セントスルトキハ改名ノ手續ニ依ル

古山判事論說
四四
三〇

大正
八・八・六
司
回

民事
三七七三
(1100)

六

二

古山判事論說
四四
三六

大正
八・八・六
司
回

民事
三七七三
(1101)

六

二

古山判事論說
四四
三〇

大正
八・八・六
司
回

民事
四四九八
(1111)

六

一六

新
三・八・六
新
決

民事
三三七
(1102)

六

二

一七六 轉 籍

- 二九 轉籍届ヲ原籍地ニ於テ受理スル場合戸籍謄本ハ轉籍地ニ送付スヘキモノ一通ヲ添附スルヲ以テ足ル
- 三〇 舊法ノ規定ニ依リ改製セサリシ戸籍ノ謄本ヲ添附シタル轉籍届ハ受理スヘシ
- 三一 轉籍届ノ一通ニノミ戸籍謄本添附アルトキハ原籍地ニテ受理ノ場合ハ新本籍地ニ又新本籍地受理ノ場合ハ原籍地ニ各添附アル届書ヲ送付ス尙謄本ニテ父母ノ氏名及續柄其他ノ事項カ不明ナルトキハ届書ニ記載セシムルヲ相當トス
- 三二 轉籍地ヨリ戸籍謄本添附ナキ轉籍届ニ謄本作成年月日ヲ符箋ニ記載シ送付アリタルトキハ返戻シ謄本添附アル方ノ届書ノ送付ヲ求ムヘシ
- 三三 朝鮮人ハ内地ニ轉籍又ハ就籍スルコトヲ得ス
- 三四 附籍主ト同一戸籍用紙ニ在ル附籍者他ニ本籍ナキ場合管内轉籍届出タルトキハ戸籍ヲ編製ス
- 三五 轉籍ノ際復本籍ト爲レル者其儘原籍地ニテ家族ノ戸籍ニ關スル届出ヲ爲セル場合轉籍地ヨリ戸籍謄本ヲ送付シ原籍地ヲ除籍シ轉籍後ノ届出事項ハ戸細一六條ニ依リ抹消シタル上轉籍後ノ届書ヲ轉籍

一七六 戸籍法 轉籍

大正 三〇・三六 司	四〇・三三 司	四〇・三三 司	四〇・三三 司	四〇・三三 司	四〇・三三 司
回	回	回	回	回	回
民 九九九 (593)	民 二六四 (666)	民 二五八 (667)	民 四五五 (751)	民 一〇六一 (802)	民 一三七三 (812)
四九	五〇	五〇	五一	五二	五二
一六	一七	一八	一六	一一	一七

四六九

地へ送付スヘキモノナルモ裁判所へ送付後ナレハ便宜戶籍ノ謄本ヲ送付シ新本籍地戶籍ノ記載ヲ爲スヘシ

三六 民法施行前戶主死亡相續人ノ相續届ニ依リ新戶籍ヲ編製セス相續戶主ノ事項欄ニ直チニ相續事項ヲ記載シタルモノノ戶籍謄本ヲ添へ他管へ轉籍届出タルトキハ編製ニ差支ナキ限リ轉籍ニ因ル戶籍ヲ作ルヘシ

三七 戶主カ相續届出前死亡セル前戶主名義ニテ轉籍届出タルトキハ届出人ヲ相續戶主名義ニ追完セシム

三八 前項ノ場合相續届ヲ要スヘキヲ以テ新本籍地ニテ相續届ノ追完届出ヲ爲サシム

三九 舊本籍地ニテ意思能力アル未成年者ノ轉籍届ヲ受理シ新本籍地ニ送付シタルニ法定代理人ノ同意ヲ欠ク旨ヲ以テ返戻セラレタルトキハ同意書ヲ追徴シ共ニ再送ス可シ

四〇 意思能力アル未成年者ノ轉籍届ニハ法定代理人ノ同意ヲ要ス

四一 轉籍届郵送ヲ受ケタルモ届書到着前既ニ戶主死亡セルモノナルトキハ其轉籍ヲ有效トシテ取扱フコトヲ得ス〔大正一・二・二六〕效力ヲ生スルモノトシテ取扱ヒ差支ナシ

四二 相續權ナキ者カ誤テ相續届出ヲ爲シ戶主トシテ記載セラレタル戶籍謄本ヲ添附シタル轉籍届ハ受理スル外ナシ

大正 司 五三・三五 回	六・五三 元 司 回	七・二三 司 回	七・二三 司 回	八・三八 司 回	八・三八 司 回	一〇・五三 元 市 區 決	一〇・五三 元 市 區 決
民 一八三〇 (867)	民 八二六 (913)	民 二二八三 (1044)	民 二六六八 (1046)	民事 五五二六 (1154)	民事 五五二六 (1128)	一六四	一九七
五三	五五	五九	五九	六八	六一	四四	四四
二三	六	一五	一五	一五	二七	二	〇

四三 意思能力ヲ有スル未成年者ハ自ラ轉籍届ヲ爲スコトヲ得

四四 本籍欄ニ無番地又ハ大字定籍トアルモノニ地番號ヲ附スルニハ轉籍手續ニ依ラシム但無番地トアルモノハ相續届書ニ地番號ヲ補記セシメテ新戶籍ニ記載スルコトヲ得地番號ノ記載脱漏セルモノハ訂正手續ニ依ラシム〔大正一・三・九二五民〕隨時戶主又ハ家族ヨリ申出〔事一〇七・一五號司回〕ニ依リ地番記載差支ナシ

四五 意思能力アル未成年戶主ノ轉籍ハ法定代理人ノ同意ヲ要ス大正十年十一月十五日民事四二三五號民事局長回答ハ同回答特定ノ場合ニ限ルモノトス

四六 意思能力アル未成年者カ轉籍ヲ爲スニハ法定代理人ノ同意ヲ要ス

四七 轉籍届郵送後受理前届出人死亡セシ場合ト雖其受理ニ依リ效力ヲ生スルモノトシテ取扱フ

四八 未成年戶主ノ轉籍ニ法定代理人ノ同意ヲ要スヘキ省議ハ變更セラレテ分家廢家絶家再興等ニ付テモ法定代理人ノ同意ヲ要ス

四九 轉籍地へ轉籍ノ届出ヲ爲ス場合戶籍謄本一通添附差支ナシ

五〇 完全ナル能力アリト認メ得ヘキ者ト雖未成年ナルトキハ轉籍スルニハ法定代理人ノ同意ヲ要ス

五一 相續開始後相續届出前戶主ヨリ他管轉籍届出タルトキハ相續ニ因ル新編製戶籍謄本添附セシムヘシ

一〇・二五 司 回	二・三三 司 回	二・三三 司 回	二・三三 司 回	三・四・五 和 六 決	三・七・六 田 七 決	三・八・六 新 八 決	三・二・六 妙 二 決
民事 四二三五 (571)	民事 四四八〇 (832)	民事 四四八〇 (835)	五〇九	五七五	一七六	三五八	一一九
四一	五三	五三	四四	五六	五九	六〇	六三
五	九	〇	一五	一	一	九	一

一七六 戸籍法 轉籍

ルニハ滅失前ノ戸籍謄本アラハ之カ轉籍届ヲ受理シ便宜再製申出書ヲ徴シ届書ト共ニ原籍地ニ送付シ若シ其謄本ナキトキハ告示期間後ト雖先ツ再製手續ヲ爲サシム

六六 官有地ニ轉籍ノ場合大字何官有地第何番地ト記載セシメテ差支ナシ

四七四

昭和 二五・元 聯合決	昭和一 三〇
一三〇	一〇一
二〇五	一〇五
大阪決	一三

一七七 就 籍

- 七 意思能力アル未成年者ハ自ラ就籍許可申請ヲ爲シ得
- 八 明治四十三年生ノ者出生届漏發見シタルトキハ届出義務者ヨリ出生届ヲ爲スヘシ義務者ナキトキハ就籍ノ手續ヲ爲サシム
- 九 朝鮮人ハ内地ニ轉籍又ハ就籍スルコトヲ得ス
- 一〇 明治十九年六月八日他村ヘ分家シ其戸籍吏ノ加籍證ノ送付アルニ戸籍ノ記載脱漏セルモノハ戸法六四條一六〇條ノ規定ニ依リ就籍手續ヲ爲スヘキモノトス
- 一一 舊法當時非本籍地ヘ出生届ヲ爲シ新法施行後該非本籍地ヘ轉籍シタルニ原籍戸籍ニ右出生ノ記載ナキコト發見シタルトキハ就籍ノ手續ニ依ルヘシ就籍届出不能ノ場合ハ戸法六四條ニ依リ職權記載ス
- 一二 甲戸主ノ同腹ノ姉ニテ其父及生家ヲ知ルモノナク嫡出私生ノ別モ明ナラサルモノ甲戸主ノ家族トシテ就籍シ得
- 一三 前項就籍ニ付戸籍ノ記載ハ戸主トノ續柄ハ「姉」父母トノ續柄ハ「父不詳母名女」トシ事項欄ハ左ノ如シ
何年何月何日附何區裁判所ノ就籍許可ノ裁判ニ因リ何某届出何月何日受附原籍不詳母某婚姻ニ付共ニ入籍シタルニ因リ就籍
- 一四 父朝鮮人母内地人ノ孤兒(十五年位)父母正婚セルヤ又父母ノ氏

大正 四七・七 司	五・六・七 司	五・七・二 司	六・〇・五 司	七・五・二 司	八・〇・七 司
民 九八〇 (723)	民 四六五 (797)	民 一〇六一 (802)	民 一八九二 (965)	民 一一〇二 (991)	民 五〇二 (1062)
五二	五二	五二	五六	五八	五九
六	九	一	一八	八	二二

四七五

八・〇・七 司
民 五〇二 (1062)
五九
二二

一七七 戸籍法 就籍

名續柄本籍等不明ナル者内地ニ本籍ヲ定メントスルニハ就籍ノ手續ニ依ル

一五 長男ヲ有スル戸主カ救養セル本籍及父母不明ノ朝鮮人男ヲ就籍セシムルニハ方法ナシ

一六 二十年前ノ棄兒ナルモ其儘養育セララル者精神病ニテ意思能力ナキトキハ今日棄兒發見ノ方法ニ依ルコトヲ得サルヲ以テ先ツ禁治産ノ宣告ヲ受ケ後見人ヲ設ケ就籍許可ヲ受クヘキモノトス

一七 漏籍者ハ市町村長ニ就籍ノ申立ヲ爲シ市町村長ハ許可ヲ得テ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ得ヘク其手續ヲ簡易ナラシムル爲法規ノ改正ヲ建議スルコト

四七六

大阪決	五三	八三	八
大正和	七八三	八五	三
大阪決	一六七	九五	二四
市區決	三一(383)	九九	二三

一七八 戸籍ノ訂正

一七 新戸籍法施行前受理シタル身分登記變更許可申請未済事件ハ施行後ハ之ヲ却下シ更ニ戸籍訂正許可ノ申請ヲ爲サシムヘキモノトス

一八 戸法六四條三九條ニ所謂市町村長トハ戸籍ノ存スル地ノ市町村長ヲ指ス

一九 戸籍訂正ハ事件本人ノ現戸籍ノミナラス其以前ニ屬スル戸籍ニモ關係アルトキハ其記載ヲモ訂正ヲ要ス

二〇 戸籍ノ訂正ハ現戸籍ノミナラス轉籍其他ニ因ル除籍等ニモ同様錯誤事項アルトキハ共ニ訂正スヘキモノトス

二一 他町村出寄留者ニ對スル犯罪通知アリ且犯罪ノ内容カ其者ノ戸籍ニ關スル虚偽ノ届出ナリトノ噂アルニ戸法三九條三項ノ通知ナキトキハ裁判所又ハ検事局ニ照會シ事實ヲ確メタル上同條一項ノ通知ヲ爲スヘキモノトス

二二 長女ト胎兒トヲ有スル戸主死亡シ長女ノ新戸籍編製後出生シタル胎兒カ男子ナル場合長女自ラ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スニ於テハ訴訟ニ依ルコトヲ要セス

二三 養母婚姻他家ニ入リタル後實家ニ在ル養子カ戸籍訂正ニ因リ養母ヨリ年長者トナルモ縁組ハ其儘ト爲シ置ク

一七八 戸籍法 戸籍ノ訂正

四七七

大正	四三・二九	民	二二二(656)	五〇	一三
司	四三・二九	回			
四七・一	司	民	六九一(714)	五〇	三七
五・二〇	司	民	一五〇五(857)	五三	二〇
七・二	司	民	六一三(984)	五八	六
七・二	司	回			
二・二九	田	決	一五三	四三	四
二・二九	新	決	二九五	四九	六
二・二九	司	回	一八六(577)	四六	一六
二・二九	司	回			

二四 誤謬ナル戸籍事項ニ付其誤謬カ届出人若クハ市町村長何レノ過失ニ基クヤ不明ナル場合ハ戸法第三九條ニ依ル通知ヲ發ス若シ通知不能ナルカ又通知スルモ訂正申請ヲ爲ス者ナキトキハ許可ヲ得テ職權訂正ヲ爲ス

大正
三・三・二〇
和
決

六九四

七四

九

一七九 申 請

- 八 甲家ノ子ヲ乙家ノ子トシテ届出其子ハ乙家戸主ト爲リタル後裁判ニ依リ甲家ノ子ト記載スル訂正申請アリタルトキハ其妻子ハ申請書ニ記載セシメ甲家ニ入籍セシム
- 九 戸籍訂正ニ付戸籍ノ存スル役場カ各區裁判所管轄異ナルトキハ孰レカ一區裁判所ノ許可ニテ戸籍ヲ訂正シ得
- 一〇 戸主ノ父母ノ氏名及父母トノ續柄訂正ノ結果家族ノ額書母トアルヲ祖母ニ姉トアルヲ母ニ變更ヲ來シタル場合訂正申請書ニ其事由ヲ記載セシメ町村長限リ更正ス
- 一一 舊戸籍法施行前ニ戸番號ヲ以テ編製セラレタル戸籍ニ付隨時戸主又ハ家族ヨリ該當地番ニ更正方ノ申請書例
- 一二 戸籍訂正許可ヲ得タル戸主カ申請前死亡シタルニ因リ現戸主ヨリ右許可決定謄本ヲ添附シ申請アリタルトキハ受理シ戸籍及除籍ヲ訂正スルコトヲ得
- 一三 許可ノ裁判ニ依リ嫡出子ヲ私生子ト訂正申請ヲ爲スニハ戸主ノ同意ヲ要セス
- 一四 家族タル本人ヨリ戸籍訂正ノ許可ヲ得タルニ其訂正申請前ニ死亡シタルトキハ戸主又ハ他ノ家族ヨリ申請ヲ爲スコトヲ得ス

大正 七・五・三 司 回	大正 七・五・三 司 回	新 三・九・二四一 決	昭 和 三・八・五 田 決	昭 和 三・八・五 田 決	大 阪 決
民 六二二 (978)	民 二〇二六 (1039)	三九〇	民 事 二一八七 (1186)	民 事 八八五 (1385)	
五九	五九	七一	七七	九七	一〇三
二五	二一	三	一六	八	五

一八〇 行政區畫又ハ土地名稱並ニ地番號ノ變更

- 四 町村區畫改正ニ伴ヒ地番號ヲ改正ノ結果區畫ノ變更ヲ生セサル部分ニモ地番變更セシトキハ屋敷番號ヲ以テ編製アル舊法前ノ戶籍ニ付テモ地番ニ更正差支ナシ
- 五 舊法施行中ノ本籍地番號ノ變更ハ現法ニ依リ更正事由記載ヲ要セス
- 六 本籍地番號ノ更正漏發見シタルトキハ村長限リ直ニ事由ヲ記載シ更正ス但舊法當時ハ地番號ハ更正セサル例ナリ
- 七 地區整理ノ爲一地番カ數十筆ニ分割内數筆カ他町ニ屬シ本籍地番號更正セントスルモ其何レニ屬セシムヘキヤ不明ノモノハ其儘ト爲ス
- 八 不現住者ニシテ舊法施行前後ノ戶籍ニ無番又ハ番地ノ記載ナキモノニ付土地ノ名稱變更若クハ其變更ニ依リ數町ニ分割セラレタル場合戶主又ハ家族ヲシテ本籍ト定ムヘキ町名番地ヲ申出シメ之ニ依リ戶籍ニ町名番地ヲ記載スヘシ此等ノ者ヨリ申出ヲ爲ササル場合從前ノ町名ヲ襲フ町アルトキハ戶籍ヲ其儘其町戶籍簿ノ末尾ニ編綴スヘク從前ノ町名ヲ襲フモノナキトキハ市長ニ於テ適當ト認メタル町名

一八〇 戶籍法 戶籍訂正 行政區畫又ハ土地名稱並ニ地番號變更

大正 四・五・三 司 回	五・〇・九 司 回	五・〇・九 司 回	五・〇・九 司 回	二・〇・三・一 市 區 決
民 六〇七 (685)	民 七七三 (817)	民 七七三 (818)	民 七七三 (818)	五三 (257)
五〇	五二	五二	五二	五七
二五	一九	二〇	二〇	二〇

一八〇 戸籍法 戸籍訂正 行政區畫又ハ土地名稱並地番號變更

ニ戸籍ノ記載ヲ更正シタル上其町戸籍簿末尾ニ編綴シ置クヘシ
 九 舊法施行前ノ戸番及施行後或期間内地番號ヲ稱セス戸番ヲ以テ編製セラレタル戸籍ニ付土地ノ名稱變更ニヨリ數町ニ分割セラル、場合戸番號ニ相當スル地番明ナルトキハ市長ニ於テ町名番地ノ更正ヲ爲スヘク地番明ナラサルトキハ戸主又ハ家族ヲシテ地番號ヲ申出シメ之ニ依リ戸籍ニ地番號ヲ記載シタル上相當町ノ戸籍簿ニ編綴スヘク若シ申出サルトキハ市長ニ於テ適當ト認メタル町名ニ戸籍ノ記載ヲ更正シタル上其町戸籍簿末尾ニ編綴スヘシ一町ノ全部カ分割ニ依リ二以上ノ町ニ編入セラレタル場合亦同シ
 一〇 數番ニ跨ル本籍又ハ寄留ノ場所カ數町ニ分割セラレタル場合ハ本人ノ意思ニヨリ本籍又ハ寄留ノ場所ノ地番號ヲ選定セシメ其屬スヘキ町ニ編入ス

大正 三〇・四〇・六 司	四八二 民事 四八二二 (1147)	六八	一二
三〇・四〇・六 司	民事 四八二二 (1148)	六八	一二
三〇・四〇・六 司	民事 四八二二 (1150)	六八	一三

一八一 同一事件ニ付數人ヨリ届出ノ場合

八 同一人カ同一事件ニ付二個ノ役場へ届出タル場合ニモ戸法四〇條ノ趣旨ニ依リ取扱フ
 九 同一事件ニ付數人ノ届出義務者アル場合後ニ受理シタル届書ニ依ル戸籍ノ記載事項カ前ニ受理シタル届書ト相違ナキ場合ハ前ニ適法ナル届出アリタルコトノ記載ノ要ナシ
 一〇 乙村本籍人カ誤テ甲村本籍人トシテ出生届出其後丙村ニ轉籍更ニ同一出生届ヲ爲シアルトキハ乙村ハ甲村ヨリ返戻セラレタル届書ニ事由書ヲ添附シ丙村ニ送付シ丙村ハ戸法四〇條ノ取扱ヲ爲ス
 一一 嫡出子ノ出生ヲ母ヨリ本籍地ニ父ヨリ其前日非本籍地ニ各届出ヲ爲シタル場合届出事項ニ相違アラハ前ニ届出タル父ノ届書ニ依リ訂正シ相違ナキトキハ父ノ届出ニ依リ何等記載ヲ要セス
 一二 本籍地ニ於テ死亡届ヲ直接受理後所在地村長ヨリ本籍地村長ノ受理前ニ受理シタル同一届書ヲ送付シ來リタルトキハ戸法四十條ニ依リ處理ス
 一三 母ノミ外國ヨリ歸朝本籍地ニ出生届出ヲ爲シ父ヨリ領事へ同日ニ同出生届出タル場合父ヨリ爲シタル届書ハ事由ヲ附シ領事へ返戻スヘシ

一八一 戸籍法 戸籍訂正 同一事件ニ付數人ヨリ届出ノ場合

大正 六〇・四〇・八 司	民事 五二二二 (904)	五四	二四
七〇・三〇・三 司	民事 二四三六 (1052)	五九	一七
三三〇・五〇・九 和	六〇六	五七	三
三三〇・五〇・三 妙	一一三	五八	一
三三〇・五〇・四 和	六五九	七二	三
大阪決	一一八	九一	三四

一八一 戸籍法 戸籍訂正 同一事件ニ付數人ヨリ届出ノ場合

一四 外國ノ出生子ニ付本籍地ニ直接出生届アリタルニ在外公館ヨリモ届書送付アリタル場合戸法四〇條ニ依リ在外公館ノ受附カ後ナルトキハ届書ヲ返送ス

四八四

大正
御七
七六
決

三一

九二

八

一八二 届出又ハ申請ニ基キ他ノ記載訂正ノ場合

- 一 一 私生子カ嫡出子タル身分ヲ取得シタル爲他ノ嫡出子ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合戸法四七條二項ニ依リ認知届書ニ變更事項記載セシメ之ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲スヘク訂正申請ヲ爲スヘキモノニ非ス
- 一 二 長男ヨリ年長ノ私生子認知ノ結果長男ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合戸法四七條五四條ニ依リ認知届ニ其事由記載セシムヘキモノナルモ其事由ニシテ届書及戸籍ニ依リ明ナル以上強テ記載セシムルコトナク届書ノ趣旨ニ依リ戸籍ノ訂正ヲ爲ス
- 一 三 大正三年民第一一二五號回答ノ趣旨ト大正四年民第一八三〇號回答趣旨ハ同一ナリ
母ノ届出ニ依リ爲シタル記載事項ト父ノ爲シタル届出事項ト抵觸スル場合ノ訂正記載例
- 父氏名出生届出年月日乙村長氏名受附何月何日送付何々「何々」ト訂正ス
- 一 四 二男ヲ長男ニ訂正ノ結果二男ト爲ル三男アルトキハ戸法四七條二項ニ依ルヘキモノナルモ戸籍上顯著ナル事項ナレハ市町村長限リ職權ニテ訂正シ得

一八二 戸籍法 戸籍訂正 届出又ハ申請ニ基キ他ノ記載訂正ノ場合

大正 四〇・三 司	大正 四〇・三 司	大正 四〇・三 司	大正 四〇・三 司
回	回	回	回
民 一八三〇 (608)	民 六九一 (713)	民 七三三 (689)	民 四二〇 (718)
四九	五〇	五〇	五一
二二	三六	二七	四

一八二 戸籍法 戸籍訂正 届出又ハ申請ニ基キ他ノ記載訂正ノ場合

- 一五 婿養子離縁復籍後乙男ヲ出生シ長男ト届出後養家ニ在ル甲長男ヲ引取り入籍セシメタルトキハ乙ヲ二男ト訂正ス
- 一六 非本籍地ヨリ送付ノ庶子出生届ニ依リ母「河本ハナ」ト記載シタルニ其後右父母ノ婚姻届書ニ「川本はち」トアルモ直ニ庶子ノ母欄ノ記載ヲ訂正スルヲ得ス
- 一七 入夫戸主繼子男アル爲出生男子ヲ二男トセルヲ其後第二男子ノ出生届書ニ其事由ヲ記載市町村長限リ長男ト訂正ス
- 一八 他家ニ在ル長女カ實家ニ入籍ノ爲長女以下二三女ノ續柄變更ノ場合訂正事由記載ノ上訂正スヘキコトノ省議變更ヲ求メス
- 一九 妾ノ子ノ出生届漏ノモノヲ該妾ト婚姻後嫡出子トシテ届出ノ爲前妻トノ間ノ子ニシテ長男トアルモノカ二男トナル場合ニ於テハ職權ヲ以テ其續柄ヲ更正ス
- 二〇 戸主ノ母カ叔父ト戸内婚姻セル場合額書繼父ト更正スルニハ事由ノ記載ヲ要セス
- 二一 父改名ノ場合其子ノ父母欄父ノ名ヲ更正シタルトキハ更正事由ヲ記載スルモ可ナリ
- 二二 認知ニ因リ父母トノ續柄ニ變更ヲ生スル者アル場合ニハ其者カ死亡者又ハ除籍者ナルトキト雖其續柄ヲ訂正スヘキモノトス

大正 〇二〇三 御決	和 二〇七八 決	市 二〇三三 區決	市 三六二四 區決	田 三〇〇三 決	新 一五〇五 決	新 一五〇五 決
二二四	五三九	七 (216)	七 (271)	二一九	四六九	四七〇
四〇	四七	五七	八一	七二	八六	八六
一五	二一	六	二	一四	三	四

ヘク其者カ他市町村在籍者ナルトキハ戸法五六條ニ依リ相當通數ノ届書ヲ提出セシメ其届書ニ戸法四七條二項ニ依ル記載ヲ爲サシムヘキモノトス

大正
五七六
法曹決

雜誌
九四

七七

一八二 戸籍法 戸籍訂正 届出又ハ申請ニ基キ他ノ記載訂正ノ場合

一八三 戸細一六條一項ノ場合

- 四 舊法當時他村ヨリ轉籍シ來リタル者ノ家族カ原本籍地ニ於テ轉籍ニ因ル除籍前他ヘ婚姻シタルモノニ付新法施行後戸細一六條ニ依リ婚姻ノ身分登記簿謄本送付ヲ受ケタル新本籍地ハ既ニ當該戸主カ又他村ヘ轉籍セルモノナルトキハ現本籍地ヘ轉送スヘキモノトス
- 五 戸細一六條ノ場合原籍地ノ家族カ他家婚姻シタルモノナルトキハ婚家入籍事項中原籍ノ記載ハ戸籍訂正ニ依リ訂正ス
- 六 戸細一六條ニ依リ届書ノ送付ヲ受ケタル新本籍地ニ於テハ當該事件本人更ニ轉々シ現ニ最初ノ原籍地ニ在籍セルトキハ直チニ届書ハ其現在本籍地ニ轉送スヘキモノトス
- 七 轉籍ノ際複本籍ト爲レル者其儘原籍地ニテ家族ノ戸籍ニ關スル届出ヲ爲セル場合轉籍地ヨリ戸籍謄本ヲ送付シ原籍地ヲ除籍シ轉籍後ノ届出事項ハ戸細一六條ニ依リ抹消シタル上轉籍後ノ届書ヲ轉籍地ヘ送付スヘキモノナルモ裁判所ヘ送付後ナレハ便宜戸籍ノ謄本ヲ送付シ新本籍地戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ
- 八 甲他管ヘ轉籍數月後原籍地ニテ轉籍ニ因ル除籍手續遺漏ノ爲婚姻縁組等ノ記載ヲ爲シタルトキハ原籍地村長ハ戸細一六條ニ準シ裁判所ヘ送付ノ右届書ノ謄本ヲ作り新本籍地ヘ送付スヘク又原籍戸籍ノ

一八三 戸籍法 戸籍訂正 戸細一六條一項ノ場合

大正 四・七・三 司	四・七・三 司	四・七・三 司	五・三・五 司
回	回	回	回
民	民	民	民
九七三 (735)	九七三 (736)	九七三 (737)	一八三〇 (867)
五	五	五	五
九	九	九	三

一八三 戸籍法 戸籍訂正 戸籍一六條一項ノ場合

記載ハ訂正ス

九 甲村ヨリ乙村ヘノ轉籍届書ヲ甲村ヘ送付シタルニ同日原籍地ニテ
出生届出ノ記載ヲ爲シアリ彼此届出ノ前後不明ナルモ戸籍一六條ノ
手續ヲ爲スヘキモノトス

大正 六・五・三〇 司	四九〇	八八三 (914)	五五	六
八・四・七 司	回	民 四一六 (1070)	六〇	一六

一八五 法一六四條ノ場合

- 五一 新戸籍法施行前婚姻前ノ出生子ヲ婚姻後ノ出生トシテ父ヨリ出
生届出タルモノニ付新法施行後婚姻前ノ年齢ニ訂正申請アルトキハ
父母共ニ嫡出子出生届ヲ爲シタルモノト看做シ年齢ノミ訂正許可シ
テ可ナリ
- 五二 身分登記ニ錯誤アリタル爲之ニ基ク戸籍ノ記載ニ錯誤アル場合
ハ戸法一六四條ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス
- 五三 同籍内甲ノ子ヲ乙ノ子ト記載アル場合ハ戸籍訂正手續ニ依リ父
母ノ氏名及父母トノ續柄並額書等ヲ訂正シ得
- 五四 複本籍ノ戸籍訂正許可ノ裁判後複本籍者カ事實父ニ非サル者ノ
認知ニ因リ本籍轉屬スルニ至レル場合ハ其新本籍地ヘ訂正申請ヲ爲
スヘク認知取消ヲ俟ツ要ナシ
- 五五 戸籍一六條ノ場合原籍地ノ家族カ他家婚姻シタルモノナルトキ
ハ婚家入籍事項中原籍ノ記載ハ戸籍訂正ニ依リ訂正ス
- 五六 同籍内ノ乙ノ子トアルヲ甲夫妻ノ子ト訂正ノ結果私生子ト爲ル
場合其位置ニテ父母ノ氏名續柄等訂正認知スルハ差支ナキモ乙ノ子
トアルヲ一旦抹消シ甲ヨリ戸法八三條後段ニ依ル届出ヲ爲スヲ可ト
ス

一八五 戸籍法 戸籍訂正 法一六四條ノ場合

大正 三・二・七 司	回	民 一二七二 (587)	四九	一四
四・六・二 司	回	民 三五四 (692)	五〇	二八
四・六・六 司	回	民 三五四 (701)	五〇	三一
四・七・六 司	回	民 四二四 (720)	五一	四
四・七・三 司	回	民 九七三 (736)	五一	九
五・三・八 司	回	民 二五二 (774)	五一	二五

- 五七 母カ出生届ヲ爲セル私生子ヲ父ヨリ庶子出生届ヲ爲シタルトキハ私生子出生事項ハ訂正ニ依リ抹消ス
- 五八 禁治産者カ相續人指定届ヲ爲シタルニ後見人ヨリ其指定取消届ヲ爲シ指定事項抹消セルトキハ本人又ハ利害關係人ヨリ戸籍訂正ニ依リ抹消事項ヲ復活スルコトヲ得
- 五九 死亡者ニ關スル戸籍ト雖利害關係人ヨリ訂正申請ヲ爲シ得
- 六〇 相續人ニ對シ居所指定不應理由ニテ離籍後次順位者相續シ離籍無効ニ因ル訂正ニ依リ其者ヲ現ニ相續セル者ノ戸籍ニ記載スルモ相續回復ハ判決ニ依ル尤モ相續セル者自ラ訂正申請ヲ爲スニ於テハ戸法一六四條ニ依リ訂正シ得
- 六一 既ニ乙男ト婚姻セル者重テ戊男トノ婚姻届ヲ戊ノ本籍地ヨリ送付アリタルトキハ返戻スヘク戊ノ戸籍ノ記載ヲ訂正ニ依リ抹消ス
- 六二 民法施行前有效ニ婚姻シタルモ届出ナキ爲妻ハ實家戸籍ニアル場合當事者ヨリ訂正手續ヲ爲サシム若シ爲ササルトキハ市町村長ノ許可ヲ得テ職權ニ因リ入籍手續ヲ爲ス
- 六三 舊戸籍法當時入夫婚姻届ニ入夫戸主ト爲ラサル反對意思ノ記載ナキニ家督相續届ヲ爲サス家族トシテ入籍セルモノハ訂正手續ニ依リ入夫ノ戸籍ヲ編製ス
- 六四 夫失踪宣告ニ因リ死亡ト看做サレタル時ヨリ後ニ懐胎シタル子

大正 五〇七 司	五〇三 司	五〇二 司	五〇一 司	四九七 司	四九六 司
回	回	回	回	回	回
民 四一七 (791)	民 七七八 (792)	民 九六五 (799)	民 一五〇 (859)	民 一八二 (873)	民 三八六 (906)
五二	五二	五二	五三	五三	五四
七	八	〇	二〇	二五	二六

- トス
- ハ宣告前嫡出子トシテ届出アルモノハ妻ノ私生子ト訂正スヘキモノトス
- 六五 甲女夫乙ト事實上離婚シ丙ト内縁中丁戊ノ二子ヲ生ミ庚女ノ私生子トシテ届出後丙ヨリ認知シ次テ乙死亡セル場合ト雖庚丙ノ戸籍中右二子ノ記載ヲ抹消シ乙ノ嫡出子トシテ訂正ヲ要ス
- 六六 家族タル女ノ入夫婚姻届ヲ受理シ入夫ノ記載ヲ爲セルモノハ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシム
- 六七 甲男乙女事實上離婚セル爲メ乙カ丙男トノ間ニ一子ヲ擧ケタルニ丙ハ丁女ノ子トシテ庶子出生届出タルトキハ單ニ丁カ母タル事項ノミノ訂正ヲ求ムルコトナク甲乙間ノ子トシテ訂正スヘキモノトス
- 六八 除カレタル戸籍ニ錯誤遺漏アルトキハ法一六四條ニ依リ訂正ス
- 六九 舊法當時婚姻前ノ子ヲ婚姻後ノ子ト届出タルモノハ父ヨリ其出生年月日ノミノ訂正ヲ求ムルヲ得
- 七〇 甲市ヨリ乙市ニ轉籍セルニ甲市ノ除籍ナキ爲復本籍トナリ其後甲市戸籍ニ選定相續(乙市戸籍ニハ法定推定相續人アリ)婚姻出生死亡等ノ記載ヲ爲シタル場合ハ相續ノ無効及轉籍ニ因ル原本籍ヲ抹消ノ訂正手續ヲ爲シ甲市ニ於ケル新戸主名義ノ戸籍ヲ抹消シ乙市戸籍ニ移記ノ上法定推定家督相續人ノ相續届出ヲ爲サシメ新戸籍ヲ編製スヘシ訂正手續ヲ爲ササルトキハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權抹

六〇七 司	六〇六 司	六〇五 司	六〇四 司	六〇三 司	六〇二 司
回	回	回	回	回	回
民 八五三 (941)	民 一四一 (955)	民 一〇一 (989)	民 一一二 (1013)	民 二四八 (1045)	民 七四一 (1065)
五五	五五	五八	五八	五九	六〇
二三	二七	八	一七	一五	一三

消ヲ爲シ得

- 七一 正當相續人ニアラサル者ノ相續届ヲ受理新戸籍編製シタルトキハ異議ナキトキハ本人戸籍訂正手續ヲ爲スコトヲ得
- 七二 甲家ノ法定推定相續人タル長男ハ弟ノ名義ニテ他家ニ縁組シテヲ舉ケ相續ノ上現ニ戸主ト爲リ弟ハ實家ニテ兄ノ名義ニテ婚姻セル場合既ニ養父死亡セルモ生存届出人間ニ争ナク且無効ナルコト確定ナルニ於テハ戸法一六四條及一六五條ニ依リ訂正許可差支ナシ
- 七三 民法施行前戸主死亡シ絶家處分ヲ受ケタルニ該戸主ニハ登記ナキモ事實上ノ養子アリ單身戸主ニ非ラサリシコト發見シタルトキハ當時登記ハ縁組ノ要件ナラサリシヲ以テ絶家處分取消ト共ニ養子縁組事項記入ノ訂正申請ハ受理スヘキモノトス
- 七四 私生子ノ入家ニ付戸主ノ同意ヲ得ラレサリシ爲職權ヲ以テ一家創立ノ戸籍編製後同意ヲ得ルトモ訂正手續ニ依リ母ノ家ニ入ラシムルコトヲ得ス
- 七五 甲乙間ノ出生子ヲ他人ノ私生子トシテ入籍シアルヲ甲男死亡後嫡出子ト爲スニハ婚姻後二百日後ノ出生ナラハ裁判所ノ許可ヲ得テ私生子ノ記載ヲ抹消シ甲乙間ノ嫡出子ニ訂正シ得ルモ若シ婚姻二百日內ノ出生ナルトキハ乙女ノ私生子ト訂正スルノ外ナシ
- 七六 名文字傍訓ハ戸籍訂正ニ依リ削除スルコトヲ得ス

大正 八〇・三 司 回	八〇・二 司 回	八二・三 司 回	一〇・三 司 回	二〇・三 新 決	二〇・三 新 決	二〇・三 新 決	二〇・三 新 決	二〇・三 新 決	二〇・三 新 決
民事 一九事 一九九 (573)	民事 二二事 二一五 (1096)	民事 五事 五〇一 (1124)	民事 一七事 七四三 (569)	民事 二八事 二八三	民事 二七事 二七一	民事 二八事 二八三	民事 二八事 二八三	民事 二八事 二八三	民事 二八事 二八三
六二	六一	六一	四〇	四二	四二	四二	四二	四二	四二
七	二	二六	一七	三	一	三	三	三	三

七七 名文字ノ傍訓削除ハ戸籍訂正ニ依ルコトヲ得ス

- 七八 内縁中一女出生シ其出生届ヲ爲サスシテ婚姻届出ノミヲ爲シタル後夫死亡シタルヲ以テ該出生子ヲ私生子トシテ届出現婚家ノ戸籍ニ記載セラレタルモノハ訂正ニ依リ出生當時ノ母ノ家籍ニ入ラシムヘク嫡出子ト訂正スルノ途ナシ
- 七九 亞米利加合衆國ニ於テ出生シタル本邦人ノ戸籍中出生年月日又ハ名字ニ錯誤アル旨同國出生證明書及領事ノ出生事實證明書ヲ添ヘ本邦領事ヨリ通知アリタルトキハ市町村長ハ許可ヲ得テ職權ヲ以テ戸籍ヲ訂正スルコトヲ得
- 八〇 戸法第一六四條ニ所謂戸籍ハ獨現在ノ戸籍ノミナラス既ニ除カレタル戸籍ヲモ包含スルモノニシテ且現ニ其家ヲ異ニスルト否トヲ問ハサルモノト解釋スルヲ相當ナリトス
- 八一 長女ト胎兒トヲ有スル戸主死亡シ長女ノ新戸籍編製後出生シタル胎兒カ男子ナル場合長女自ラ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スニ於テハ訴訟ニ依ルコトヲ要セス
- 八二 本會第五回第八問決ハ市町村長ノ過誤ニ基キ推定相續人タル私生子ヲ認知ニ因リ父家ニ入レタルモノニテ届出人ノ錯誤ニ出タル大正七年五月二十三日民一〇二號法務局長回答ノ場合ト異ル
- 八三 私生子認知ノ届出ヲ受理シタル村長カ認知者ノ戸籍ニ何等ノ記

二〇・三 市 區 決	二〇・三 司 回	二〇・三 大 一 民 判 (オ)	二〇・三 司 通	二〇・三 和 決	二〇・三 和 決
五 (214)	民事 一八事 一六 (577)	民事 一九事 一九九 (997)	民事 一〇事 五七 (574)	民事 五事 五二五	民事 五事 五二〇
五七	四六	六三	四五	四四	四四
五	一六	一一	七	一八	一七

載ラ爲ササル場合ニ於テハ區裁判所ノ訂正許可ヲ必要トスルニ戸籍ノ記載全然存在セサルヲ以テ戸籍訂正許可ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

八四 戸主ノ子ヲ同籍ノ妹ノ私生子ト記載セル場合子ノ實母ト戸主ト婚姻後戸籍訂正ニ依リ嫡出子ト爲シ得

八五 他家父ヨリ認知セラレタル女戸主ノ相續人タル私生子ハ省議ノ變更ニ依リ今日他家ニ入レントスルニハ戸籍訂正手續ニ依ル

八六 他家ノ父ニ認知セラレタルモ先例ニ依リ女戸主ノ相續人ナル爲父ノ家ニ入ラサリシ子ハ省議變更ノ今日訂正手續ニ依リ父ノ家ニ入ルコトヲ得

八七 戸籍ヲ閱覽シツツ出生届作成シタル爲長男ノ名ト同一ノモノヲ出生子ノ名トシテ記載シタルトキハ訂正手續ニ依リ正當ノ名トスルコトヲ得

八八 無筆ノ者代書人ニ出生届書ノ作成ヲ依頼セシニ友一ヲ改一ト記セラレタルコト後日發見シタルトキハ戸籍訂正スルコトヲ得

八九 女戸主ノ推定相續人タル私生子ヲ他家父ヨリ認知セルモ省議ニ依リ家ヲ去ラサル取扱ヲ爲セルモノハ父ノ訂正申請ニ依リ父ノ家ニ入ルコトヲ得

九〇 事實ニ吻合セサル出生届ニ基ク戸籍ノ記載ハ親族及相續法上ニ重大ナル影響ヲ及ホスモノナルヲ以テ無効ナリ

大正 三三・三三 大ニ民判 (ク) 三一七	二・二・三 妙 決	三・八・三 御 決	三・八・三 新 決	三・八・三 新 決	三・二・五 田 決
一二年 三二七	一〇〇	二三八	三六一	三六一	一八八
六三	五一	六〇	六〇	六〇	六二
二	二	五	〇	〇	六

私生子認知ノ效果ヲ生スヘキ出生届ナリト雖出生届カ無効ナル以上認知ノ效果ヲ發生スルコトナシ

九一 戸法一六四條ニ依ル戸籍ノ訂正ハ其事項カ親族法上又ハ相續法上重大ナル影響アル場合ニ於テハ之ヲ爲スコトヲ得ス親族法上又ハ相續法上重大ナル影響アル場合トハ身分關係ニ變動ヲ及ホシ又ハ相續ノ順位ニ變更ヲ來スカ如キヲ云フモノトス

九二 分家ノ家族ト爲ルヘキ者十五年以上ナルニ其同意ナキコトヲ戸籍編製後發見シ同意書追徵不能ノ場合利害關係人ヲシテ戸籍訂正手續ヲ爲サシム

九三 婚姻前ノ妻ノ私生子ヲ婚姻解消後夫ヨリ認知シタルトキハ嫡出子タル身分ヲ取得スヘキ旨ノ本省回答以前庶子トシテ届出アリタルモノノ戸主カ轉籍届出ニ際シ嫡出子身分取得事項ヲ追完セシムヘキモノニアラス戸籍訂正ノ手續ニ依ル

九四 私生子認知セラレタルモ誤ツテ父ノ家ニ入ラサリシモノ後日其認知届ノ謄本ヲ作り父ノ家ニ入籍スヘキモノトシテ認知届ヲ私生子ノ本籍地ヨリ認知者ノ本籍地ニ送付シ來ルモ受理セス

九五 省議變更前認知者ノ家ニ入ラサリシ母ノ推定相續人タル私生子ヲ今日他家ニ入ラシムルニハ戸籍訂正ノ手續ニ依ル

九六 隠居ニ因ル家督相續ナカリシ舊態ニ戸籍ヲ訂正セントスル戸籍

三三・三三 大ニ民判 (オ) 六〇五	三三・三三 和 決	三三・三三 法曹決	大正決	三三・三三 市區決	三三・三三 市區決
七〇	六三	五二	二二	一七(278)	三三(293)
七〇	六七	五二	七八	八一	八一
五	一	一〇五	一五	六	一一

訂正申請ハ親族法並ニ相續法上ニ重大ナル影響ヲ及ホス場合ナルヲ以テ戸法第一六四條ニ依リテ訂正ヲ求ムルコトヲ得ス

九七 失踪宣告後ノ認知ニ係ル事由ニ依リ父ノ籍ヨリ抹消サレ母ノ家ニ復活シタル庶子女ヲ更ニ認知ニ因リ父ノ家ニ入ラシムルニハ訂正許可ノ裁判ヲ受ケ認知ニ因リ父ノ籍ニ入籍セシムル戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシム

九八 民法施行前乙家乙カ甲家甲女ヲ貰ヒ受ケタルニ其届出ヲ爲サス實子トシテ届出タル爲甲女ハ複本籍トナリ民法施行後乙戸主死亡シ甲女戸主ト爲リタルニ相續届出ヲ爲サスシテ其後甲家家族トシテ丙男ト婚姻シ甲家ヲ除籍サレタルモノハ甲家戸籍ニ縁組ニ因ル除籍事項ノ記載及婚姻事項ヲ抹消シテ除籍シ乙ノ實子トアルヲ縁組事項ニ訂正シタル上丙ト婚姻事項ヲ記載シテ除籍スルコトノ訂正手續ヲ爲ス

九九 甲家ノ家族乙カ家出後他村ニ就籍シ戸主トナリ數人ノ家族ヲ有スル中死亡シタルトキハ舊本籍地ヘ乙ノ死亡届ヲ爲シ其家族ニ付テハ戸籍訂正ニ依リ記載シタル上就籍地戸籍ノ抹消手續ヲ爲ス

一〇〇 父ヨリ庶子出生届出後庶子ノ母カ其届前ニ於テ失踪宣告ヲ受ケシモノナルコトヲ發見スルモ庶子出生ノ事項中出生當時ノ母ノ本籍ヲ訂正スヘキモノニアラス

大正 一三三六
大ニ民決 (ク) 三六三

三〇八・三
司 回 民事 一〇二七二 (1167)

三〇九・四一六
新 決

三〇九・四一六
新 決

三〇一〇・三四
和 決

七一
一六

七二
一九

七一
四

七一
四

七二
二

一〇一 廢家届ヲ爲シタル者入籍届ヲ爲ス以前ニ入ル可キ家ノ單身戸主死亡シタル爲全ク入籍不能ナルトキハ戸籍訂正ニ依リ抹消ス

一〇二 重婚取消ノ確定判決ヲ得タルトキハ婚姻取消ノ届出ヲ爲シ得ヘク又戸法一六四條ニ依ル訂正手續ヲモ爲シ得

一〇三 甲男乙女カ未タ婚姻届ヲ爲ササル前男子出生セルヲ以テ乙女ノ私生子丙トシ届出後甲男乙女カ婚姻届ヲ爲シ甲男ハ再ヒ丙ヲ嫡出子トシテ届出テ其後甲乙死亡シタルトキハ丙ヲシテ戸法第一六四條ニ依リ私生子男ノ記載ヲ抹消スルコトノ訂正手續セシム

一〇四 郡長ノ許可ヲ得テ改名シ其届出ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲シタル名カ歴代天皇ノ御諱ト同一ノ熟字ヲ使用シアルトキハ戸法第一六四條ノ戸籍訂正申請ヲ爲サシメ舊名ヲ復活スヘク若シ訂正申請ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ許可ヲ得職權ヲ以テ新名ヲ抹消シ舊名ヲ復活スヘキモノトス

一〇五 字義ニ副ハサル名ノ傍訓ハ戸籍訂正手續ニ依リ削除スルコトヲ得

一〇六 届出ニ依リ「渾」ニ「揮」ニ「順太」ヲ「須太」ト「末」ヲ「未」ト戸籍ニ記載アルモノヲ訂正スルニハ戸籍訂正手續ニ依ル

一〇七 民法施行前ノ婚姻入籍者實家除籍未済ニシテ且名ニ相違アル場合ハ戸籍訂正ノ申請手續ヲ經テ名ヲ訂正シ其戸籍謄本ノ送付ヲ受

一八五 戸籍法 戸籍訂正 法一六四條ノ場合

三〇二・〇
和 決

三〇三・九
妙 決

三〇三・二〇
和 決

三〇三・七
司 回

三〇三・九
和 決

三〇三・一三
新 決

七六〇
七三

一三七
七四

七〇二
七四

民事 二二九九 (1179)
七六

七四二
七九

四五二
八二

一八五 戸籍法 戸籍訂正 法一六四條ノ場合

ケ除籍ス

- 一〇八 家族タル女ノ入夫婚姻ヲ爲シタルモノハ入夫ノ實家戸籍ヲ復活シ女ヲ入夫ノ家ニ入籍セシムヘキ戸籍訂正手續ニ依ル
- 一〇九 戸籍及身分登記ニ出生ノ月日四月三十一日ト記載セルモノハ戸法三九條ノ錯誤通知ヲ發シ戸籍訂正申請ヲ爲サシム
- 一一〇 夫ノ所在地村長ヨリ婚姻届ノ送付ヲ受ケタル妻ノ本籍地村長ハ入籍通知ナキ爲取調タルニ夫ハ其後他村ニ分家シ分家先ニモ更ニ同一ノ婚姻届ヲ爲シアル場合妻ノ本籍地村長ハ婚姻届書謄本ヲ夫ノ本家地村長ニ送付シ入籍通知ヲ俟ツテ除籍ス其他之ニ伴ヒ生シタル錯誤ハ戸籍訂正手續ニ依ル
- 一一一 女戸主ノ相續人タル私生子女ヲ他家父ニ於テ認知シタル後女戸主カ男子ヲ養子ト爲スモ庶子女ハ認知ノ效果トシテ父ノ家ニ入ラシムルニハ戸籍訂正ノ手續ニ依ル
- 一一二 他人ノ私生子ヲ自己ノ嫡出子トシテ届出後實母ヨリ更ニ私生子トシテ届出タル場合嫡出子ノ記載ハ利害關係人ノ訂正手續ニ依リ抹消スヘキモノナルモ若シ其手續ヲ爲ササルニ於テハ許可ヲ得テ職權抹消ス
- 一一三 幼少ノ時ト成長後ト名ノ呼稱ヲ異ニスル爲メ二個ノ名ヲ届出アルモノハ何レカ一方ノ現實呼稱ニ戸籍訂正スルコトヲ得

大正 和 二〇・九	和 二〇・九	田 一四・〇・七	和 二・三	新 一五・三・七	和 一〇・九	妙 一五・四・六
決	決	決	決	決	決	決
七四三	七四四	二五一	七八九	四七二	八一五	一六九
八三	八三	八四	八五	八六	八九	八九
一	一	二	四	四	三	六

- 一一四 無籍者甲カ誤ツテ他人乙ノ本籍ヲ自己ノモノト信シ他管内ニ轉籍セル場合ハ乙ヨリ戸籍訂正申請ニ因リ復活スルヲ得ヘク此場合新本籍地ノ戸籍ヲ抹消スルニハ甲ヲシテ就籍手續ヲ爲サシムヘク若シ爲ササルニ於テハ新本籍地村長ハ許可ヲ得テ就籍ニ因ル新戸籍編成後抹消ス
- 一一五 妻生家ノ籍中私生子出生届出濟ナルニ更ニ婚家ニ於テ嫡出子トシテ其届出ヲ爲シタル場合ハ生家ノ私生子ヲ抹消スル戸籍訂正ノ許可ヲ求ムヘシ
- 一一六 父失踪宣告ニ因リ子カ父ノ死亡シタルモノト看做サレタル日以後懐胎シタルコトトナレル場合母ト其後夫ノ兩人ヨリ兩人間ノ嫡出子ニ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スコトヲ得
- 一一七 婿養子婚姻前ノ出生子ヲ夫ノ戸籍ニ庶子出生届ニ因リ記載シ婚姻後又嫡出子出生届出テタル爲復本籍ト爲リタルモノハ錯誤通知ヲ發シ訂正セシム
- 一一八 戸法一六四條ニ依リ戸籍ノ訂正ヲ爲シ得ルハ親族法並相續法上重大ナル影響ヲ及ボササル場合ニ限ル從テ戸主及其妻子ヲ各除籍セントスルカ如キハ同條ニ該當セス
- 一一九 出生届ノ錯誤ニ因リ男子「元」ヲ女子「もや」ト戸籍ニ記載セラレタルモノノ續柄及名字ハ訂正手續ニ依ルコトヲ得

和 二・三	聯合 八・七	田 一五・七・五	田 一五・七・五	田 一五・七・五	大 二民決 一五・八・三	御 一五・九・三
決	決	決	決	決	決	決
八二七	九〇	二五二	二五二	二五八	五二四	三二二
九〇	九〇	九二	九二	九二	九四	九四
三	五	一	一	四	二	六

- 一一〇 婚姻届ニ嫡出子ノ身分取得者ノ記載遺漏シ父母カ死亡シタルトキハ當該庶子未成年ナルトキハ法定ノ代理人ニ錯誤通知シ戶籍訂正ヲ爲ササルトキハ許可ヲ得テ職權訂正ス
- 一一一 嫡出子ノ身分取得漏ノ庶子ヲ長男ト爲スニハ訂正手續ニ依ル
- 一二二 戸主無財産ニ因ル家族カ他町村内ニ一家創立戶籍編製後遺留財産アル旨ヲ以テ絶家戸主ノ本籍地ヨリ届書返送シ來リタルトキハ錯誤通知ヲ爲シ訂正手續ヲ爲サシム
- 一二三 非本籍地ニテ受理送付アリタル出生届ニ出生月日誤記アリ從テ戶籍ニ錯誤ヲ生シタルモノハ誤リナキ非本籍地ニ在ル他ノ一通ノ届書ニ依リ職權訂正ヲ爲スヲ得ス訂正許可申請ヲ要ス
- 一二四 夫ノ分家ニ隨從スヘキ妻カ本家戶籍ヨリ除籍シアラサルトキハ訂正手續ニ因リ分家ニ入ラシムヘキモノトス
- 一二五 出生子ノ名カ出生届書ニ誤記セラレタル爲戶籍ノ記載ニ錯誤ヲ生シタルトキハ戶籍訂正ノ手續ニ依リ訂正ヲ爲シ得ヘキモノトス
- 一二六 朝鮮人ノ内地分家届ヲ誤テ受理シタルトキノ戶籍訂正ノ申請ハ分家地管轄區裁判所ニ爲スヘシ
- 一二七 長女ト胎兒ヲ有スル戸主死亡シ長女相續後男子タル胎兒出生シタル場合親權ヲ行フ母ヨリ長女ノ戶籍ヲ抹消シ男子ノ相續戶籍編製ノ訂正ヲ求ムルコトヲ得

大正 五九三 新 大阪決	四九三 九四	九三 九五	二七 (379)	九九	八六一 九六	一九四 九七	二〇二 四五	一二九 一〇一	九〇四 一〇二
和 決	和 決	和 決	和 決	和 決	和 決	和 決	和 決	和 決	和 決
三	五	一四六	三	六	二一	三	五	三	三

- 一二八 本家戸主ニ於テ誤テ自己ノ子女トシテ出生届出タル者ニ對シ其實父分家後出生届出タル爲複本籍トナリシモノハ訂正手續ニ依リ本家戶籍ヨリ除籍スヘシ
- 一二九 從前長慶天皇ノ御諱其儘ノ名ヲ稱スル者ハ名字訂正ノ催告ヲ爲スヘシ
- 一三〇 出生子ノ名字輝次ヲ槿次ト誤記届出ニ依ル記載ハ訂正手續ニ依ル
- 一三一 私生子出生届出數年後其父母カ婿養子縁組婚姻ニ因リ嫡出子ノ記載ヲ爲シタルハ錯誤ナルヲ以テ其父母死亡シ認知ノ途ナキ場合ハ私生子ニ引直シ訂正セシムヘシ

二七五 一〇三	二七四 一〇三	二二六 一〇三	二二六 一〇三	二二六 一〇三
田 決	田 決	妙 決	妙 決	妙 決
五	五	三	三	一

一八六 法一六五條ノ場合

- 一五 女戸主ノ夫ノ養父カ分家ノ際夫ヲ家族ト爲シタルモノハ戸籍訂正ニ依リ夫ヲ分家ヨリ除籍スヘキモノトス
- 一六 法定推定家督相續人ニ對シ居所指定不應理由ニテ離籍届出次順位者戸主トナリタル後被離籍者ヨリ離籍無効ニ因ル訂正許可裁判ニ基ク訂正申請アリタルトキハ其者ヲ記載シ身分事項ヲ移記ノ上訂正事項ヲ記載シ離籍事項ヲ抹消ス
- 一七 前項相續回復ハ判決ニ依ルヲ本則トスルモ相續届出人ヨリ戸法一六四條ニ依ル訂正ヲ爲スコトヲ得
- 一八 二女ノ婚姻ナルニ届書ニ誤テ三女ヲ記載シ除籍セラレタルモノハ夫ト三女ノ兩人ヨリ戸法一六五條ニ依リ訂正手續ヲ爲スヘキモノトス
- 一九 所在不明ノ二男ヲ相續人トシテ隱居者ヨリ隱居届ト共ニ相續届出タル後數次分家縁組廢家本家入籍等ヲ爲シ終ニ死亡シタルニ二男失踪宣告相續前死亡シタルモノト看做サルニ至リタルトキハ利害關係人タル遺妻養子等ヨリ戸法一六五條ノ訂正ニ依リ隱居者ノ戸籍ヲ回復シ爾後ノ編製戸籍ハ抹消ノ上其家族ハ總テ回復戸籍ニ記載ス
- 二〇 家族タル女誤テ入夫シ其後離婚届出タルトキハ受理シ先ツ婚姻

一八六 戸籍法 戸籍訂正 法一六五條ノ場合

大正 四〇・六 司	五〇・二〇 司	五〇・二〇 司	六〇・九 司	七〇・五 司
回	回	回	回	回
民 一七九 (633)	民 一五〇五 (858)	民 一五〇五 (859)	民 一二八四 (960)	民 一一〇六 (993)
四九	五三	五三	五六	五八
三三	二〇	二〇	一五	九

- ニ關スル戸籍訂正ノ上其記載ヲ爲スヘシ
- 二一 甲戸主弟丙名義ニテ乙家戸主丁ト縁組相續人タル乙女ト戸内婚姻後乙家戸主死亡ニ因リ戸主ト爲リタルニ事實丙死亡シタル爲甲死亡ノ虚偽届出タルトキノ訂正ハ丁丙ノ縁組ノ無効ハ確定判決ニ依リ戸法一六七條ニ依リ丙乙ノ婚姻無効ハ乙ノミヨリ戸法一六五條ニ依ル若シ乙訂正セサルトキハ村長許可ヲ得テ職權ニテ訂正シ得以上訂正ノ上丙ノ相續無効ニ關シテハ乙ヨリ抹消申請ニ依リ丁ノ戸籍ヲ復活シ更ニ乙ヨリ相續届ヲ爲サシメ新戸籍ヲ編製ス甲乙間ノ子ハ更ニ甲乙婚姻届ノ上認知届ヲ爲サシムヘク其届出ヲ爲ササルトキハ利害關係人ノ申請ニ依リ母ノ私生子ト訂正ス
- 二二 事實姉ト婚姻シタルニ届書ノ誤記ニ依リ妹ト婚姻シタル如ク戸籍記載アルモノハ人違ノ婚姻ニアラサレハ普通ノ戸籍訂正ニテ手續ヲ爲ス
- 二三 甲家ノ甲女ト婚姻シタルニ届書ノ誤記ニテ乙家乙女ト婚姻シタルカ如ク戸籍ノ記載アルモノモ普通ノ戸籍訂正ノ手續ヲ爲ス
- 二四 數年前法定推定家督相續人ノ分家届ヲ誤テ受理セルニ今日本家戸主ヨリ該分家ハ無効ナリトテ戸籍訂正手續ヲ爲シ得
- 二五 前項ノ訂正ハ戸法一六五條ニ依ルモノトス
- 二六 甲家ノ法定推定相續人タル長男ハ弟ノ名義ニテ他家ニ縁組シ子

大正 七〇・三 司 回	七〇・四 司 回	七〇・三 司 回	七〇・三 司 回	八〇・三 司 回	八〇・三 司 回	八〇・三 司 回	五〇六
民 一九六二 (1035)	民 二四三六 (1048)	民 二四三六 (1050)	民 三八九〇 (1103)	民事 三八九〇 (1104)	民事 三八九〇 (1104)	民事 三八九〇 (1104)	民 一四八 (1008)
五九	五九	五九	六一	六一	六一	六一	五八
九	一七	一七	一三	一三	一三	一三	一四

- ヲ擧ケ相續ノ上現ニ戸主ト爲リ弟ハ實家ニテ兄ノ名義ニテ婚姻セル場合既ニ養父死亡セルモ生存届出人間ニ爭ナク且無効ナルコト確定ナルニ於テハ戸法一六四條及一六五條ニ依リ訂正許可差支ナシ
- 二七 養子ノ實家除籍遺漏ノ爲更ニ該養子カ其實家ヨリ他ヘ分家ヲ爲シタル場合ハ戸籍訂正ニ依リ分家戸籍全部及實家戸籍中分家事項ヲ抹消シ縁組ニ因ル除籍ノ記載ヲ爲スヘシ
- 二八 戸法一六五條ノ規定ハ戸籍ノ訂正ニヨリ親族又ハ相續法上利害ノ影響ヲ被ル者カ訂正ニ異議ナキ場合ニ限り適用スヘキモノトス
- 二九 戸法一六五條ハ戸籍ニ關スル届出アリタル場合ニ關スルモノニシテ届出ナカリシ場合ハ同條ニ依リ訂正ヲ求ムルコトヲ得ス
- 三〇 一人ノ子ニ二人ノ男ヨリ同日ニ各其本籍地ニ認知届ヲ爲シタルモノナリトテ被認知者本籍地ヨリ届書返戻受ケタル各父ノ本籍地ニ於テハ戸法三九條ノ通知ヲ爲スヘシ
- 三一 戸主死亡届未済ノ儘家族カ前戸主名義ヲ以テ數回ニ亘リ轉籍届出ヲ爲シ其後戸主死亡及相續届出タルトキハ轉籍事項無効ニ因ル戸籍訂正ヲ爲シタル上相續届ヲ受理スヘキモノナルモ若シ事實相續人ヨリノ届出ナルニ於テハ曩ノ届出人ヲ相續人名義ニ追完セシメ受理差支ナシ

八〇・三 司 回	七〇・三 司 回	七〇・三 司 回	七〇・三 司 回	七〇・三 司 回	七〇・三 司 回	五〇七
民事 五一〇二 (1124)	民 六三	民 六三	民 六三	民 六三	民 六三	民 一三〇
六一	六〇	七〇	七一	七二	九五	六一
二六	三	二	一六	一六	一三	一三

一八七 法一六七條ノ場合

- 一〇 違法ノ家督相續届ニ依リ編製シタル戸籍ナリトモ其相續届出人ニ於テ戸籍訂正申請セハ相續回復ノ手續ニ依ルヲ要セス
- 一一 相續回復届出アリタルニ因リ戸主ノ名義ヲ有シタル選定相續人ヲ實家ニ復籍セシムルニハ戸法四七條二項ニ依ル回復届書ノ記載ニ依ル
- 一二 民法施行前婚姻ノ舉式ヲ爲シ届出未済ノ儘一子ヲ設ケ離婚後妻ヨリ夫ニ對スル該生子引取訴訟ニ勝訴確定判決アルトキハ戸法一六七條ニ依リ父ノ家ニ入籍セシムルコトヲ得
- 一三 甲戸主死亡後乙長男相續届前失踪宣告ヲ受ケ選定ニ因ル相續人丙他家ヨリ入り相續シタル後乙ノ失踪取消サレ訂正申請アリタルトキハ甲ノ除籍中乙ノ失踪事項ヲ抹消シ乙ノ戸籍ヲ編製シ丙ノ戸籍ヲ抹消ス尤モ右訂正申請書ニハ丙ノ連署ヲ要ス
- 一四 前項丙及其妻子ハ當然丙ノ實家ニ復スヘキモノナレハ訂正申請書ニ戸法四七條二項ニ依リ丙及妻子ノ表示ヲ爲シ入除籍ス此場合去ルヘキ家ノ戸主同意ヲ要セス
- 一五 親族會ノ選定ニ因ル相續届出後決議無効ノ判決アリタルトキハ戸法一六七條ノ申請ニ依リ戸籍抹消ノ上前戸主戸籍ヲ復活ス

一八七 戸籍法 戸籍訂正 法一六七條ノ場合

大正 五・三・二 司	五・九・三 司	六・二・九 司	六・六・二 司	六・六・二 司	六・六・二 司
回	回	回	回	回	回
民	民	民	民	民	民
二一六 (786)	一三九〇 (813)	一八三 (887)	七四八 (917)	七四八 (918)	九五九 (931)
五二	五二	五四	五五	五五	五五
五	一八	一八	八	九	一四

五〇九

- 一六 他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ出生届出相續開始ニ因リ其子戸主ト爲リ其家族タル前戸主ノ長女ハ他家ニ婚姻セル後戸籍訂正ニ依リ現戸籍ヲ抹消シ戸主タリシ者ヲ除籍シ前戸主戸籍ヲ回復シタルトキハ相續人ハ他家ニ婚姻セル長女ナレハ同人ノ相續届ニ依リ新戸籍編製シ婚姻事項ハ民法七五四條二項ノ趣旨ニ更正シ次ニ其相續人ヲ選定スヘキモノトス
- 一七 婚姻後二百日内ノ出生子ヲ入家戸主ノ同意ノ形式ヲ調ヘタル届書ニ依リ戸籍記載完了後戸主カ曾テ同意シタルコトナキ旨ヲ以テ訂正セントスルニハ確定判決ニ依ルノ外ナシ
- 一八 甲家ノ子ヲ乙家ノ子トシテ届出タルコト發見シタルトキ錯誤カ戸籍面ニテ顯カナラス且訂正ノ結果身分ニ重大ノ變更ヲ來ストキハ乙家ノ子トシテノ記載抹消ノ確定判決ニ基キ訂正スルヲ相當トスルモ否ラサルモノハ戸法一六四條ニ依ルヲ相當トス何レノ場合ニモ甲家ノ子ト記載スルハ甲家父ヨリノ出生届ニ基キテ爲ス
- 一九 甲戸主乙長女及長女ノ婿養子丙並ニ長男丁ノ戸籍ニテ丁ハ事實上長女ノ私生子ナルトキハ之カ訂正ハ確定判決ニ依ル但シ争ナキトキハ戸主ヨリ戸籍訂正申請スルコトヲ得
- 二〇 妹ノ私生子ナルニ父母ノ嫡出子トシテ戸籍ニ記載セラレアルモノハ其錯誤カ戸籍面ニ於テ顯カナラス且訂正ノ結果身分ニ重大ノ變更

大正 三・三・三 司 回	民事 四四八〇 (839)	五三	一一
新 三・一・七 元 決	三一	五四	二
御 三・八・七 六 決	二四一	六〇	七
和 三・六・六 六 決	六五〇	六八	九

- 更ヲ來スヘキモノト解スヘク從テ斯ル場合ノ訂正ハ戸法第一六七條ニ依ル
- 二一 重婚取消ノ確定判決ヲ得タルトキハ婚姻取消ノ届出ヲ爲シ得ヘク又戸法一六四條ニ依ル訂正手續ヲモ爲シ得
 - 二二 甲戸主ノ子ヲ乙戸主ノ子トシテ乙ヨリ出生届ヲ爲シ其子乙ノ法定ノ推定家督相續人ナル場合戸籍訂正ノ申請ハ戸法一六七條ノ確定判決ニ基キ爲サルヘキモノトス
 - 二三 庶子トシテ入籍セシメタル者ヲ實母ノ私生子ニ引直スニハ認知取消ノ訴ヲ起ス確定判決ニ因リ戸籍訂正ヲ爲スノ外ナシ
 - 二四 相續届出ヲ爲ササルモ既ニ戸主ト爲レル長女カ事實他家戸主ノ嫡出子ナルトキハ之カ訂正ハ確定判決ニ依ルヘキモノトス
 - 二五 分家ニ從ヒ妻ヲ娶リタル長男ハ事實分家戸主ノ弟ニシテ本家戸主ノ實子タル確定判決ニ基キ戸籍訂正申請ヲ爲シタル場合ハ長男夫婦ヲ除籍スヘク而シテ妻ノ實家戸籍ノ婚姻事項中訂正ヲ爲サンニハ右申請ノ他ノ一通ニ基キ訂正スレハ可ナリ
 - 二六 妻失踪宣告ヲ受ケタル後戸主廢家ノ上他家ニ縁組入籍シ家女ト婚姻後先妻ノ失踪宣告取消サレタル場合先妻ハ戸主ノ入りタル家ニ入ルカ故ニ其家ノ戸籍用紙ノ最終ニ記載セラレタル者ノ次ニ失踪事項ト共ニ移記シタル上宣告取消ノ記載ヲ爲スモノトス但妻タル身分

三・二・七 司 回	民事 二一九〇四 (1172)	七四	一五
三・三・八 妙 決	一三七	七四	二
法曹 三 決	七二一	六三	八九
和 三・三・三 六 決	七二一	七八	二
和 三・一・〇 九 決	七四七	八三	二
大阪 決	九六	九〇	七

ハ回復セス

二七 戸主タル夫失踪宣告ニ因リ妻戸主ト爲リ他男ヲ入夫戸主ト爲シ長二男出生後前夫ノ失踪宣告取消ニ因ル戸籍訂正ニテ前夫ノ戸籍ヲ回復シタルトキハ妻及長二男ハ何レモ入夫ノ實家ニ入籍スヘキモノナリ

二八 女戸主隠居ニ因リ入夫指定相續ヲ爲シタル後隠居當時ノ胎兒出生シタル場合隠居及相續ノ無効ノ判決若シクハ訂正手續ニ依ルカハ個々ノ事案ニ付決スル外ナシ

二九 出生ノ日カ同日トシテ恰モ双生子ノ如ク登載シアル長男、二男ノ内長男ハ父母婚姻前ノ出生日ニ訂正スルトキハ出生届出ニ依リ嫡出子タル身分ヲ取得シタルモノトナリ却テ二男ニ後レ嫡出子トナリ之カ相續順位ヲ轉倒スルカ故ニ訂正ノ確定判決ヲ受クヘキモノトス

三〇 父カ私生子ヲ認知セントスル場合ニ於テ既ニ父ニアラザル者ヨリ認知ノ届出アリテ戸籍ニ其ノ記載アルトキハ先ツ認知取消ノ訴ヲ提起シ確定判決ヲ得テ戸籍ノ訂正ヲ求メ然ル後認知ノ届出ヲ爲スヘキモノトス

大阪決	大阪決	大正 市區決	昭和 聯合決	二〇六 法曹決
一六九	一七五	六 (359)	一三七	雜誌 一一五
九八	九八	九九	一〇一	一〇七
二	二	一〇	九	

一八八 職權訂正

二二 轉籍地ヨリ送付ノ轉籍届添附戸籍謄本ニ除籍事項謄寫漏アルコト發見正當謄本ト取替ヘ訂正ノ爲返送スルモ轉籍地戸籍ハ之ニ依リ直ニ職權ニテ訂正スルコトヲ得ス

二三 大正十一年五月十六日民事二五〇一號回答ハ實家戸籍ニ基キ現戸籍ノ記載ヲ訂正スル場合ニ付便宜手續ヲ認メタルニ過キスシテ正式手續タル監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權訂正ヲ爲スヘキ先例ヲ變更シタルモノニアラス

二四 改元ノ事實ヲ知ラス戸籍簿又ハ寄留簿ニ舊年號ヲ記載シタルモノハ當然新年號ノ記載アルモノト解シ訂正ノ要ナシ

大正
新
二九・七一
元
決

二九四

四九

六

二・三・三
司
回

民事
三九九八
(830)

五三

六

昭和
元・三・三
司
通

民事
一〇六四三
(1382)

九七

七

一八九 監督區裁判所ノ許可ニ因ル

- 一八 新戸籍法施行後ニ於テ舊戸籍ヨリ移記シタル事項ノ誤記又ハ脱漏ハ戸法三九條二項後段ニ依リ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權ヲ以テ戸籍訂正ヲ爲ス
- 一九 戸法三九條二項ニ「申請ヲ爲ス者ナキトキ」トアルハ申請ヲ爲サル場合ヲ包含ス
- 二〇 戸籍ノ記載カ除カレタル戸籍ニ依リ誤記タルコト顯カナル事項ト雖戸法三九條二項後段ニ依リ許可ヲ得テ職權訂正スヘシ
- 二一 舊戸籍法前相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ノ戸籍ニ付當時改寫ヲ爲ササリシモノハ市町村長許可ヲ得テ職權編製ヲ爲ス
- 二二 本籍人甲カ口頭ニテ出生届出タルニ役場取扱者ノ誤リニ因リ入寄留者乙ノ子ト爲レルモノハ許可ヲ得テ職權ニ依リ訂正ス
- 二三 舊法當時乙村ニ在ル丁戊二人ノ私生子認知届ヲ各一通認知者本籍地甲村長ニ差出シタルニ戊ニ對スル認知届書ヲ丁認知届書ノ副本ト誤認シ乙村長ニ送付シタル爲丁ハ除籍セラレス入籍シ戊ハ入籍ナキニ除籍セラレタル結果ヲ生シアル場合乙村長ハ許可ヲ得テ丁ヲ除籍シ戊ハ甲村長受理ノ日ニ父ノ家ニ入りタルモノトシテ戸法六四條三項ニ依リ就籍ノ記載ヲ爲スヘシ

一八九 戸籍法 戸籍訂正 職權訂正 監督區裁判所ノ許可ニ因ル

大正 四〇・元 司	四〇・三 司	四〇・七 司	四〇・二 司	六〇・二 司	六〇・九 司
回	回	回	回	回	回
民	民	民	民	民	民
六九 (624)	五〇 (679)	九四 (725)	六五 (909)	八五 (912)	一八〇 (964)
四九	五〇	五一	五四	五五	五六
二七	二四	七	二六	五	一七

二四 市町村長ノ過誤ニ依ル届出人ノ資格氏名受附年月日額書家族トノ續柄又ハ同一村内ノ二箇ノ戶籍ニ關連スル事件ノ記載ニテ一方ノ戶籍ノ記載ノ錯誤遺漏等ハ届書裁判所へ發送前又ハ他ノ戶籍記載ニテ過誤ナルコト明ナルトキト雖監督區裁判所ノ許可ヲ得テ訂正スルヲ本則トス

二五 婚姻前又ハ婚姻後二百日內ノ出生子ヲ父母婚姻後父ノミヨリ届出庶子トセルモノハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權ニ依リ嫡出子ニ訂正スヘキモノトス

二六 失踪宣告ノ記載ハ現ニ本人生存シ宣告取消ノ手續ヲ爲ササルモ市町村長職權ヲ以テ抹消スルヲ得ス

二七 舊戶法施行前死亡戶主ノ戶籍中弟ノ欄ニ相續戶主タル記載ヲ爲シ戶籍編製ナキモノハ許可ヲ得テ其戶主ノ戶籍ヲ編製ス

二八 出生届ニ二男トアルヲ前戶主當時長男死亡シ現戶主戶籍ニ子ナキ爲市町村長ニ於テハ父母トノ續柄ヲ長男トシテ記載シタルモノハ許可ヲ得テ職權訂正ヲ爲スヘキモノトス

二九 舊戶法施行前ノ戶籍ニ額書繼子男トスヘキヲ長男ト長男トスヘキヲ二男ト記載セルモノハ相續ニ因リ新戶籍編製ニ際リ先ツ許可ヲ得テ職權訂正ヲ爲スヲ相當トス

三〇 亞米利加合衆國ニ於テ出生シタル本邦人ノ戶籍中出生年月日又

大正 八・四・七 司	八・六・三 司	八・三・三 司	一〇・三・一 和	一〇・三・一 和	二・二・九 田
回	回	回	決	決	決
民 八三五 (1069)	民事 一七〇九 (1092)	民事 五三五七 (1126)	四九六	四九七	一四七
六〇	六一	六一	四一	四一	四三
一五	九	二七	一	一	二

ハ名字ニ錯誤アル旨同國出生證明書及領事ノ出生事實證明書ヲ添ヘ本邦領事ヨリ通知アリタルトキハ市町村長ハ許可ヲ得テ職權ヲ以テ戶籍ヲ訂正スルコトヲ得

三一 職權處分ニ因ル絶家ヲ再興シタルニ絶家ニ遺留財産アルコト發見シタルトキハ市町村長ハ絶家ニ因ル抹消戶籍ノ復活及再興戶籍ノ抹消並再興者ノ戶籍回復ノ戶籍訂正ヲ申請スルヲ可トス

三二 女戶主ノ私生子ノ額書ヲ庶子ト誤記シタルモノハ許可ヲ得テ職權訂正ス

三三 妻死亡ニ因ル婚姻消事項記載セントスルモ夫ノ事項欄ニ婚姻事項遺漏アルトキハ便宜妻ノ事項ニ基キ婚姻ノ記載ヲ爲スコトヲ得從テ婚姻事項カ婚姻後夫カ改名シタル事項ノ後ニ記載セラルルコトトナルモ差支ナシ

三四 入夫婚姻届ヲ入夫戶主トナル旨ノ記載ナキニ拘ラス入夫ヲ戶主トシテ新戶籍ヲ編製シタルトキハ町村長ハ許可ヲ得職權訂正手續ニ依リ入夫ヲ家族トシタル戶籍ヲ編製スヘキモノトス

三五 甲市ニ於テ戶籍中ニ錯誤アル儘乙市丙市丁市ニ順次轉籍シ丁市ニ於テ其錯誤ヲ許可ヲ得テ職權訂正セルトキハ許可書ノ謄本ヲ作り甲乙丙ノ各市ニ送付ス

三六 舊戶籍ノ穢多ナル記載ハ謄抄本ニ之ヲ省略シ記載セサルヲ相當

二・四・七 司	二・九・五 御	三・一・七 新	三・四・三 和	三・三・三 新	三・六・二 市
通	決	決	決	決	決
民事 一〇五七 (574)	二二三	三二〇	五九〇	三七三	九 (273)
四五	四九	五四	五六	六四	八一
七	一	二	五	一	四

トス又其舊戶籍ノ穢多ナル記載ハ戶法三九條二項末段ヲ準用シ職權抹消スヘシ

三七 出生子ノ名未定ノ儘ナルモノハ相當期間ヲ定メテ追完届出ノ催告ヲ爲スモ之ニ應セサルトキハ戶主、同居者、親族又ハ縁故者ニ於テ命名スヘク若シ命名セサルトキハ市町村長ニ於テ命名シ何レノ場合ニ於テモ許可ヲ得テ職權記載ス

三八 戶籍事項欄ニ記載セル犯罪事項ハ復權ノ有無ニ拘ラス町村長ハ許可ヲ得テ職權抹消ス此場合抹消前ノ謄抄本ニハ犯罪事項ノ記載ヲ省略ス

三九 轉籍地町村長カ新戶籍編製ニ際シ轉籍届書ニ原籍地ノ地番記載アルニ拘ラス轉籍事項中ニ何所無番地ヨリ轉籍ノ旨誤記シタルトキハ許可ヲ得職權ヲ以テ訂正ス

四〇 寄留者ノ出生届ヲ本籍地町村長ニ送付ノ途中紛失シ且監督區裁判所ニ於テモ届書廢棄後ナルトキハ寄留簿謄本ノ送付ヲ受ケ許可ヲ得テ戶籍ニ記載ス

四一 村長監督區裁判所ニ訂正許可請求中當該戶籍ノ戶主ヨリノ轉籍届轉籍地ヨリ送付アリタル場合ハ除籍スヘク其後訂正許可アリタルトキハ除カレタル戶籍ヲ訂正ノ上許可書謄本ヲ新本籍地ニ送付スヘシ

大正 三三・三三 司 回	新 三九・四一 決	新 四〇・九一 決	妙 四一・五二 決	和 四二・六三 決	御 四三・七四 決
民事 九九一六 (1160)	三八四	四一八	一五四	七四一	三〇二
七〇	七一	七五	七八	七九	八〇
三	二	六	一	四	三

四二 庶子女ナルニ戶籍ニ長女ト誤記セルモノ婿養子縁組婚姻ヲ爲スニ際リ届書ニ長女ト記載シアルトキハ其儘受理シ後日許可ヲ得テ職權訂正ス

四三 戶主タル私生子ヲ認知ニ因リテ父家ニ入ラシメタルモノハ許可ヲ得テ職權訂正ス

四四 民法施行後編製シタル屋敷番ノ戶籍ヲ地番ニ更正スルニハ戶籍訂正ノ手續ニ依ルヲ相當トス

四五 私生子出生届ヲ非本籍地ヨリ本籍地ニ郵送ノ途中紛失シ非本籍地ノ届書モ廢棄後ニ係リ且届出義務者タル母モ死亡シタル場合他ニ適當ナル届出義務者ナキニ於テハ職權記載スヘキモノトス

四六 明治二十年戶籍改製ノ際誤記セル名カ縱令本人ニ於テ其名ヲ稱ヘ且商取引等ノ事情上訂正ヲ欲セストモ町村長ハ許可ヲ得テ正シキ名ニ職權訂正スヘキモノトス此場合便宜本人ニ通知ス

四七 單身戶主カ本籍不明ノ女ト内縁中舉ケタル子ノ出生届出前母行衛不明ト爲リ續イテ父死亡シ他ニ届出義務者ナキトキハ市町村長ハ許可ヲ得テ私生子男トシテ一家創立ノ戶籍ヲ編製ス

四八 改名ニ關シ郡長ノ許可ヲ得タル者カ意思變更シ舊名ノ儘維持セントテ戶法一五三條ノ届出ヲ爲ササルニ依リ同法六四條一、二項ニ依リ催告ヲ爲シタルモノニ應セサル場合市町村長ハ同條三項ノ規定

新 四四・八〇 決	田 四五・〇〇 決	大阪 決	市 四六・〇〇 決	和 四七・〇〇 決	和 四八・〇〇 決
四五六	二四一	六〇	二五(334)	七九八	八一三
八二	八四	八五	八七	八八	八九
八	九	一三	一一	二	三

ニ依リ職權ヲ以テ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス
 四九 新ニ入籍家族ヲ戶籍末尾一人分ノ記載餘白ヲ隔テテ記載シタルトキハ其部分ニ交斜線ヲ施シ認印シ置キ可ナルモ新家族ヲ他ノ戶籍ニ誤記シタルモノハ職權訂正ヲ爲ス
 五〇 従前死亡ノ場所ヲ「何々監獄」ト記載セルモノハ殊更抹消スルニ及ハス
 五一 妻ノ實家戶籍ニ婚姻事項ノミヲ記載シ除籍遺漏セルコト夫ノ本籍地ヘ轉籍ニ因リ判明シタルトキハ許可ヲ得テ職權抹消ヲ爲シ妻ノ原籍地町村長ニ通知ス
 五二 單身戶主甲男分家單身戶主乙女間ノ婚姻届及乙ノ廢家届ヲ戶籍法施行前兩名ノ所在地タル樺太某村長ニ提出シタルニ同村長ハ之ヲ乙ノ本籍地村長ニ送付シ(甲ノ本籍地村長ニハ送付セス)乙ノ本籍地村長ハ樺太某村長受理ノ日ヲ以テ婚姻成立シタルモノト誤信シ廢家竝ニ婚姻ノ記載ヲ爲シ入籍通知ヲ俟タスシテ之ヲ除籍シタル結果乙カ無籍者トナリタル場合乙女ノ戶籍中廢家ノ記載ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ受理ノ日ヲ訂正スル外其儘トシ婚姻事項ノ記載ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ抹消シ婚姻届ハ當該區裁判所又ハ乙ノ本籍地村長ヨリ便宜甲ノ本籍地村長ニ送付シ爾後通常ノ方法ニ依リ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

大正 三五・七 法曹決	三五・九・七 妙 決	三五・九・五・七 新 決	三五・九・五・七 新 決	三五・二・四 法曹決
七四	一七五	四九一	四九七	一五
七四	九三	九四	九四	二〇九
一〇一	二	七	九	

五三 戶主ノ死亡届、相續人タル長女ノ相續届、其長女ノ私生子出生届及長女ノ死亡届未了ニシテ各届出義務者ナキ場合其私生子ニ付テハ就籍手續ヲ爲シ其他ハ許可ヲ得テ職權記載スル外ナシ
 五四 死亡診斷書ノミ送付シ來リ届出義務者ノ存否不明ナルトキハ死亡ノ事實ヲ確メ職權記載ノ外ナシ
 五五 推定相續人タル私生子ハ女戶主死亡相續届前ト雖認知ニ因リ父家ニ入ルコトヲ得サルニ誤テ除籍シタル場合ハ職權訂正ニ依リ戶籍ヲ復活スヘキモノトス
 五六 同一市町村内ノ轉籍ニ付本籍欄ノミヲ訂正シ轉籍事項ノ記載ヲ遺漏シタルモノハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權訂正ヲ爲スヘシ
 五七 出生子ノ名カ御歴代御諱又ハ御名ノ熟字其儘ナルヲ發見シ訂正催告ヲ爲スモ應セサルトキハ町村長ハ許可ヲ得テ其名ヲ抹消シ追完届出ヲ爲サシム
 五八 長男ヲ二男トシ二男ヲ長男トシテ届出タル爲生シタル戶籍ノ記載ノ錯誤ハ判決ニ依リ訂正スヘク戶法一六四條ニ依ルヘキモノニ非ス
 五九 軍艦沈没ノ際ノ行衛不明者ニ付死亡者ト認定シ艦長ヨリ通知アリタル場合死亡ノ日ハ死亡ト認定セラレタル日ヲ記載スヘキモノナリニ沈没ノ日ヲ記載シタルモノハ職權ニ因リ訂正スヘシ

三五・二・〇 和 決	三五・三・三 妙 決	三五・三・八・七 和 決	昭和三 和 元 決	三五・九 聯合 決	三五・六 法曹 決	二〇五 司 回
八六〇	二〇九	八六四	八八三	一二八		民事 八一四五 (1395)
九六	九七	九六	一〇〇	一〇一	雜誌 七五	一〇六
五	六	八	四	五	一四八	二五

一九〇 身分登記等ニ依ル

- 九 身分登記ニ基キ爲シタル戶籍ノ記載ニ誤記又ハ脱漏シタルモノハ市町村長限リ訂正ヲ爲スコトヲ得
- 一〇 舊法當時出生身分登記ヲ爲シ戶籍ノ記載ヲ遺漏セルコト轉籍後發見スルモ轉籍地カ當初非本籍トシテ其出生身分登記アルトキハ之ニ基キ記載シ其戶籍謄本ヲ原籍地ニ送付スヘシ原本籍地ハ受附(種類番號不要)ヲ爲シ該謄本ヲ作り除籍ニ記載スヘシ
- 轉籍地ニテ死亡身分登記アルモ戶籍ノ記載遺漏アルモノヲ發見シタルトキハ原籍地ヨリ身分登記謄本ノ送付ヲ求メ記載ス
- 一一 額書私生子男トスヘキヲ町村長ノ過誤ニ因リ孫ト記載セルコト身分登記ニ依リ明ナルトキハ身分登記ニ基キ町村長限リ訂正シ得ヘシ
- 一二 戶籍ニ身分登記ニ依ル出生事項ノ補記事由ノ記載アルモ其補記ノ事項ヲ遺漏シタル場合ハ身分登記ニ依リ町村長限リ戶籍訂正ス其事由ハ「大正年月日身分登記ニ依リ出生事項中明治參拾壹年拾貳月貳拾九日出生届出同日受附トアルヲ何所ニ於テ出生父何某届出明治參拾壹年拾貳月貳拾九日受附入籍ト訂正ス」ト記載ス
- 一三 身分登記ニ誤記ナキモ戶籍記載ニ誤記アリタル爲新編製戶籍ニ

一九〇 戶籍法 戶籍訂正 職權訂正身分登記等ニ依ル

大正 四〇・〇九 司	七〇・三三 司	三三・三九 妙	四四・五三 妙
回	回	決	決
民	民		
六九 (624)	一四八 (1001)	一四二	一五六
四九	五八	七四	七八
二七	一一	三	一一

一九〇 戸籍法 戸籍訂正 職權訂正 身分登記等ニ依ル
 モ誤記セラレタルモノハ身分登記ニ基キ新戸籍ノミ訂正スルモ差支
 ナシ

五二四
 大阪決 一三五
 九五
 一四

一九一 戸籍ノ記載

- 二二 同籍内甲ノ子ヲ乙ノ子ト記載アル場合ハ戸籍訂正手續ニ依リ父
 母ノ氏名及父母トノ續柄並額書等ヲ訂正シ得
- 二三 母ノ爲シタル出生届出事項ト父ノ爲シタル同事項ト抵觸スル場
 合ノ訂正記載例
- 二四 分家者カ誤テ弟ヲ分家家族ト爲シタル後該弟死亡シタル場合ノ
 訂正記載例
- (分家ノ戸籍)
- 年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ母何某戸籍訂正申請何月何日受附除籍
 (本家ノ戸籍)
- 年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ母何某戸籍訂正申請何月何日受附入籍
- 二五 前項訂正ノ場合本家戸籍ヘハ死亡事項ノ移記ヲモ要ス
- 二六 他市町村長ヨリ送付ノ職權訂正許可書謄本ニ依ル訂正記載例
 名及出生年月日ノ記載過誤ニ付大正年月日附某區裁判所ノ許可ニ因リ甲村長許可書謄
 本月日送付其名ヲ某ニ出生年月日ヲ明治年月日ト訂正ス
- 二七 戸法四一條二項ニ依ル本籍地番更正記載例
 何年何月何日地番號變更ニ付本籍欄中「何番地」ヲ「何番地ノ一」ニ更正
- 二八 本籍地番號ノ更正漏發見シタルトキハ村長限リ直ニ事由ヲ記載
- 一九一 戸籍法 戸籍訂正 戸籍ノ記載

大正 四六・六 司	四七・二 司	五七・二 司	五七・二 司	五八・六 司	五〇・九 司
回	回	回	回	回	回
民	民	民	民	民	民
三五四 (701)	六九一 (713)	九六五 (800)	九六五 (801)	一四九 (807)	七七三 (817)
五〇	五〇	五二	五二	五二	五二
三一	三六	一一	一一	一五	一九

五二五

シ更正ス事由記載例ハ一九一二七ノ例ニ依ル但舊法當時ハ地番號ハ更正セサル例ナリ

二九 戶籍記載例百二十八ノ冒頭年月日ハ變更ノ日ニテ更正ノ日ニアラス

三〇 舊戶籍法前相續シタル者ニ付當時戶籍編製セサリシモノハ許可ヲ得テ職權ニテ新用紙ヲ用ヒ編製スヘシ其記載例

何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ氏名ノ家督相續ニ因ル戶籍ヲ編製シタルニ付何年何月何日日本戶籍ヲ抹消ス

家督相續ニ因ル新戶籍編製漏ニ付何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ何年何月何日本戶籍ヲ編製ス

三一 甲戶主死亡シ親族會ノ選定ニ因リ他家ノ乙相續シタル後親族會ノ決議無効ノ判決アリタル場合訂正ノ記載例

(乙ノ相續戶籍)

大正六年四月拾日確定何地方裁判所ノ家督相續人選定ノ決議無効ノ判決ニ因リ何市何町何番地丁ヨリ戶籍訂正申請同月貳拾日受附本戶籍ヲ抹消ス

(甲ノ除籍事項欄)

大正六年四月拾日確定何地方裁判所ノ家督相續人選定ノ決議無効ノ判決ニ因リ何市何町何番地丁ヨリ戶籍訂正申請同月貳拾日受附本戶籍ヲ回復ス

(乙ノ實家戶籍ニ乙ノ欄ヲ新ニ起シ)

大正六年四月拾日確定何地方裁判所ノ家督相續人選定ノ決議無効ノ判決ニ因リ何市何町何番地丁ヨリ戶籍訂正申請同月貳拾日受附入籍

大正 五〇〇九 司 回	民 七七三 (818)	五二	二〇
五〇二九 司 回	民 一六五五 (854)	五三	一八
六〇五二 司 回	民 六五六 (909)	五四	二六
六〇六六 司 回	民 九五九 (932)	五五	一四

三二 本家戶籍編製後家族ノ一人カ相續開始前分家セル場合本家ノ新戶籍ニ移記シタル分家者ノ抹消記載例

何某(新戶主ノ氏名)ノ家督相續前ニ分家ヲ爲シタルニ付何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ何月何日抹消

三三 姉丁ノ婚姻ヲ誤テ妹乙ト届書ニ記載シ丙ノ妻トシテ入籍シタルモノノ訂正記載例

(婚家乙ノ事項欄)

婚姻無効ニ付年月日附某區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ丙乙戶籍訂正申請年月日受附何月日入籍通知ニ因リ除籍

(乙ノ實家戶籍)

婚姻無効ニ付年月日附某區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ丙乙戶籍訂正申請年月日受附何某受附月日送付入籍

三四 前項訂正後姉夫妻婚姻届出ヲ爲シ既ニ記載アル嫡出子タル子ノ認知届ヲ爲セハ單ニ母ノ名ノミヲ訂正スレハ足り一旦庶子ト訂正スルニ及ハス

三五 甲家ノ長男ヲ乙家ノ長男トシテ届出現ニ乙家戶主ト爲リ妻子ヲモ有スル場合ノ訂正手續ハ甲家地市町村長ハ乙家地市町村長ヨリ訂正申請書ノ一通ノ送付ヲ受ケ之ニ基キテ甲家戶籍ニ入籍ノ記載ヲ爲スヘク乙家地市町村長ハ先ツ乙家ノ現戶籍ニ申請ニ基キ訂正ノ記載ヲ爲シ且乙家前戶主ノ戶籍ヲ新用紙ニ轉寫シテ回復ス而シテ乙家ノ

一九一 戶籍法 戶籍訂正 戶籍ノ記載

六〇七三 司 回	民 八五三 (940)	五五	二〇
六〇九二 司 回	民 一二八四 (961)	五六	一五
六〇九四 司 回	民 一二八四 (962)	五六	一五

現戸籍ハ甲家ヘノ入籍通知ニ因リ戸主タル長男及其妻子ヲ除籍シタルトキ抹消スヘキモノトス尙乙家ノ回復シタル前戸主ノ戸籍ハ正當相續人ノ相續届出ニ依リ抹消スヘシ戸籍ノ記載ハ左ノ例ニ依ル

(甲家戸籍長男ノ事項欄)

年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請何市町村長何某受附月日送附入籍

(同上長男ノ妻子ノ事項欄)

年月日夫(父)某ト共ニ入籍

(乙家ノ戸主タル長男ノ事項欄)

年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請月日受附月日入籍通知ニ因リ除籍

(同上妻子ノ事項欄)

年月日夫(父)某ト共ニ除籍

(乙家ノ戸主タル長男ノ事項欄)

年月日前戸主某ノ戸籍ヲ回復シタルニ付本戸籍ヲ抹消ス

(乙家ノ回復シタル前戸主戸籍中戸主ノ事項欄)

何某ノ家督相續無効ニ付年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請月日受附本戸籍ヲ回復ス

三六

入夫戸主ト爲ルヘキヲ家族トシテ記載シタル戸籍ノ訂正記載例

何年何月何日何某ト入夫婚姻届出某戸主ト爲リタルモ新戸籍編製漏ニ付何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請同月何日受附本戸籍ヲ編製ス

何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請同月何日受附氏名ノ

大正
七・五・三
司

回

民

六一二
(979)

五六

二五

三七

事實姉ト婚姻シタルニ届書ノ誤記ニ依リ妹ト婚姻シタルカ如キ戸籍記載ノ訂正記載例

入夫婚姻ニ因ル戸籍ヲ編製シタルニ付本戸籍ヲ抹消ス

(婚家ノ戸籍中妻ノ事項欄)

年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ夫何某戸籍訂正申請同月何日受附名ヲ「何々」出生ノ年月日ヲ「何年何月何日」父母トノ續柄ヲ「何女」原籍戸主トノ續柄ヲ「姉」ト訂正ス

(實家戸籍中妻ノ妹ノ事項欄)

年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ姉何某及同人夫何某戸籍訂正申請同月何日受附婚姻ノ記載事項抹消

(實家ノ戸籍中妻ノ事項欄)

何年何月何日何郡何村何番地何某ト婚姻何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ夫何某戸籍訂正申請何月何日受附除籍

(新ニ記載シタル事項欄)

三八

事實甲家ノ甲女ト婚姻シタルニ届書ノ誤記ニ依リ乙家ノ乙女ト婚姻シタル如ク戸籍ニ記載セラレタル場合ノ訂正記載例モ前項ニ準

ス

三九

縁組除籍者ヲ訂正ニ因リ復活スルニハ戸籍用紙最後ノ家族ノ次

ニ新ニ記載スヘキモノトス其記載例ハ左ノ如シ

(新ニ記載シタル事項欄)

縁組無効ニ付何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請何月何日受附入籍

一九一 戸籍法 戸籍訂正 戸籍ノ記載

七・五・三
司

回

民

一一〇〇
(994)

五八

一〇

七・三・三
司

回

民

二四三六
(1049)

五九

一七

七・三・三
司

回

民

二四三六
(1051)

五九

一七

一九一 戸籍法 戸籍訂正 戸籍ノ記載

(除籍ニカ、ル事項欄)

縁組無効ニ付何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請何月何日受附縁組ノ記載抹消

四〇 二人以上連署シテ戸籍訂正ノ許可ヲ得シニ其一部ノ者ヨリ訂正申請アリタルトキノ記載例

(出生記載抹消ノ場合)

出生ノ記載錯誤ニ付何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ父甲野甲郎母花子戸籍訂正申請何月何日受附除籍

四一 甲村甲野甲ナル戸主失踪宣告ヲ受ケ乙野乙ノ四女丙選定相續シ次テ自己ノ妹丁ヲ養子トシテ入籍セシメタル上隠居シ乙村へ婚姻シタルニ前々戸主甲ノ失踪宣告取消判決確定シ戸主權回復ニ因ル戸籍訂正ハ宣告取消判決ニ因ル訂正申請書ニ丙丁縁組ハ有效ナレハ共ニ實家ニ復籍スヘキモノナルヲ以テ其旨ヲ併記セシメ左ノ通取扱フヘキモノトス

(い) 甲野甲ノ戸籍ヲ編製シ除籍ノ事項欄事項(失踪宣告届出ニ關スル事項ヲ除ク)ヲ移記シタル上左ノ例ニ依ル記載ヲ爲ス

大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ本人甲野甲(又ハ何某)戸籍訂正申請同月何日受附本戸籍ヲ回復ス

(ろ) 甲野丙丁兩人ハ其實家戸籍最終家族ノ次ニ記載シ左ノ例ニ事項ヲ記載ス

大正 八・四・七 司	八・四・七 司
回	回
民 八三五 (1068)	民 八三五 (1067)
六〇	六〇
一四	一四

(丙ノ事項欄) 何郡何村何番地戸主甲野丁ノ戸籍ニ養母トシテ記載セラレ大正何年何月何日何郡何村何番地戸主何某ト婚姻届出何村戸籍吏受附同月何日送付除籍セラレタル者ナルノ處右丁ノ前前戸主甲野甲ニ對スル大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ甲野甲(又ハ何某)戸籍訂正申請同月何日受附入籍ノ上除籍

(丁ノ事項欄) 何郡何村何番地戸主タリシ處其前前戸主甲野甲ニ對スル大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ同月何日受附入籍ノ上除籍

(は) 乙野乙ノ戸籍中前ニ除籍セラレタル丙丁ノ事項欄ニ左ノ例ニ記載ス

(丙ノ事項欄) 何郡何村何番地前戸主甲野甲ニ對スル大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ同月何日受附入籍ノ上除籍

(丁ノ事項欄) 何郡何村何番地前戸主甲野甲ニ對スル大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ同月何日受附入籍ノ上除籍

(に) 現戸主甲野丁ノ戸籍中同人及丙ノ事項欄ニ左ノ例ニ例リ記載ス

(丁ノ事項欄) 前前戸主甲野甲ニ對スル大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ同人(又ハ何某)戸籍訂正申請何月何日受附養子縁組及家督相續ノ記載抹消實家戸主乙野乙家籍ニ入籍ニ付キ除籍

一九一 戸籍法 戸籍訂正 戸籍ノ記載

一九一 戶籍法 戶籍訂正 戶籍ノ記載

大正何年何月何日前前戸主甲ノ戸籍ヲ回復シタルニ付キ本戸籍ヲ抹消ス
 (丙事項欄) 前戸主甲野甲ニ對スル大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ同人(又ハ何某)戸籍訂正申請何月何日受附家督相續及隱居ノ記載抹消實家戸主乙野乙家籍ニ入籍ニ付キ除籍

(ほ) 前戸主甲野丙ノ除籍中同人事項欄ニ左ノ例ニ記載ス(養子丁ノ事項欄ニハ何等ノ記載ヲモ爲サス)

前戸主甲野甲ニ對スル大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ同人(又ハ何某)戸籍訂正申請何月何日受附相續戸主甲野丁ノ戸籍ニ於テ訂正ス

(へ) 前前戸主甲野甲ノ除籍中同人事項欄ニ左ノ例ニ記載ス

大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ本人甲野甲(又ハ何某)戸籍訂正申請何月何日受附失踪宣告及丙ノ家督相續ノ記載抹消

(こ) 乙村ニ於ケル丙ノ婚家戸籍中同人ノ事項欄ニ左ノ例ニ記載ス

何郡何村何番地戸主甲野丁ノ前前戸主タリシ甲野甲ニ對スル大正何年何月何日確定何地方(區)裁判所ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ同人(又ハ何某)戸籍訂正申請何月何日何村長受附同月何日送付何某トノ婚姻ノ記載中原籍戸主ノ本籍氏名等「何々」トアルヲ「何々」ト訂正ス

四二 市町村長ニ於テ家族ノ子ノ父母トノ續柄ニ男ヲ長男ト誤記シタル訂正記載例

父母トノ續柄ノ記載ニ錯誤アルニ付大正年月日附何區裁判所ノ過誤ニ基ク戸籍訂正ノ許可ニ因リ同月何日其續柄ヲ「二男」ト訂正ス

大正 八〇・三 司 回	民事 四五三四 (1117)	六一	二〇
和 一〇・三 司 決	四九七	四一	一

四三 訂正ニ依リ丙ノ相續戸籍ヲ抹消シ正當相續人ノ相續届出ヲ爲サシムル爲前戸主ノ除籍ヲ復活スルトキ復活戸籍ニハ丙ノ相續後ノ戸籍事項ハ記載ス

四四 妻ノ私生子認知ノ結果他ノ嫡出子ノ續柄訂正スル場合ノ記載例
 年月日長男某認知届出ニ因リ父母トノ續柄長男ヲ二男ト訂正ス

四五 單身戸主死亡ニ因リ絶家處分後遺留財産アルコト發見シタルニ付許可ヲ得テ爲ス絶家戸籍回復ノ記載例
 絶家ニ因リ戸籍抹消ハ錯誤ニ付年月日何區裁判所ノ許可ニ因リ日本戸籍ヲ編製ス

四六 嫡出子否認ノ判決確定シ子カ母ノ家ニ入ルコト能ハス一家創立ニ因リ除籍事項ノ記載ハ戸籍附録記載例一三二前段ニ依リ記載シ受附ノ下ニ月日一家創立ニ因リ除籍トス

四七 戸籍ニ無番號、番地ノ記載ナキモノ又ハ戸番號ノ戸籍カ地番號ニ改メラレタル場合戸籍ニ其事由ノ記載ヲ要ス及其記載例
 何年何月何日戸主(家族)何某ノ申出ニ因リ本籍欄中地番ヲ「何番」ト記載ス
 何年何月何日戸主(家族)ノ申出ニ因リ本籍欄中「何町何番」ヲ「何町何番地」ニ更正(市長ニ於テ町名番地ノ更正ヲ爲ス場合ハ戸籍記載例百二十八ノ例ニ依ルヘシ)

四八 相續人タル養子離縁届後離縁前既ニ養親タル戸主死亡離縁無効トナリタル戸籍訂正記載例
 (申請ニ依ル場合)
 離縁無効ニ付大正年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請同月何日

一九一 戶籍法 戶籍訂正 戶籍ノ記載

二〇・三 市區決	六〇 (264)	五七	二三
三三・元 新決	三三九	五四	九
三三・三 御決	二六五	六五	二
三三・三 御決	二七〇	六五	三
三三・六 司 回	民事 四八二二 (1149)	六八	一三

受附入籍

(職權ニ依ル場合)

離縁無効ナルモ戶籍訂正申請ヲ爲ス者ナキニ付大正年月日附何區裁判所ノ許可ニ因リ
同月何日入籍

四九 額書ノ錯誤ヲ身分登記ニ依リ訂正記載例

戶主トノ續柄錯誤ニ付年月日身分登記ニ依リ孫ヲ私生子男ト訂正ス

五〇 舊法施行前相續ニ因ル新戶籍編製ヲ遺漏セルモノヲ職權ニ依リ許可ヲ得テ新戶籍ヲ編製スル場合ノ戶籍記載例

何某ノ家督相續届出ニ因ル戶籍編製遺漏ニ付何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ
何月何日本戶籍ヲ編製ス

何年何月何日何區裁判所ノ許可ニ因リ何某ノ戶籍ヲ編製シタルニ付本戶籍ヲ抹消ス

五一 戶主ノ失踪宣告届出後相續届出前失踪取消ノ戶籍訂正アリタル場合戶籍回復ノ方法ハ全戶籍ノ記載ヲ新戶籍用紙ニ移記シ戶籍訂正事項ヲ記載ス

五二 確定判決ヲ經テ養子ヲ長男ト訂正シタル爲前ニ長男ト記載セル者ヲ二男ト訂正ノ記載例

大正年月日兄丙郎ノ戶主トノ續柄長男ト訂正ニ因リ同日戶主トノ續柄二男ト訂正ス

又前ニ二男ト爲レル者他村ニ縁組セルトキハ訂正申請書ノ謄本ヲ縁組地村長ニ送付シ同村長ハ之ニ基キ養子ノ事項欄ニ訂正事項ヲ記載スヘシ其記載例

大正
和
三・三・八
妙
決

一四二
七四
三

和
一四・〇・九
決

七五五
八三
四

大阪決
四一
八三
五

六四二
六八
六

一四二
七四
三

七五五
八三
四

四一
八三
五

父何某丙郎ノ戶籍訂正申請年月日何村長受附月日送付丙郎長男ト爲リタルニ付父母トノ續柄ヲ三男ト訂正ス

五三 他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ届出タル後戶籍訂正申請ニ基ク戶籍抹消記載例

出生届出錯誤ニ付年月日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ依リ何某戶籍訂正申請年月日受附記載全部抹消

五四 本家ヨリ長男親族入籍シタルニ依リ分家ノ年少ノ長男ヲ二男ニ訂正ノ戶籍記載例

年月日長男某入籍シタルニ因リ同日戶主及父母トノ續柄ヲ二男ト訂正ス

五五 原戶籍ヨリ移記洩レニ係ル家族ノ戶籍事項ヲ許可ヲ得テ職權訂正ノ記載例

戶籍ノ記載全部遺漏ニ付大正年月日附何區裁判所ノ許可ニ因リ月日記載

五六 嫡出子タル身分取得ノ追完届ニ因リ他ノ家族ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ノ更正記載例

年月日姉某父何某母某ノ婚姻ニ因リ長女ト爲リタルニ付年月日父母トノ續柄ニ女ト更正ス

五七 年長者ノ出生届出ニ依リ前ニ戶籍記載ノ年少者續柄更正記載例

大正年月日長女花子出生届出ニ依リ(戶主及)父母トノ續柄ニ女ト更正

五八 内地人ノ分家届ヲ朝鮮面長ニ於テ受理シ誤テ除籍手續ヲ了シタル爲之カ無効ニ因ル訂正申請書ヲ面長ヨリ市町村長ヘ送付アラハ受

和
一四・〇・三
決

七六五
八四
三

和
一四・〇・三
決

七七三
八四
六

和
一四・〇・三
決

七七六
八四
六

田
一四・〇・三
決

二四八
八四
一

和
一四・〇・三
決

七八八
八五
四

新
一五・〇・三
決

四七六
八六
五

一九一 戸籍法 戸籍訂正 戸籍ノ記載

六五 軍艦沈没ノ際ノ行衛不明者ニ付死亡者ト認定シ艦長ヨリ通知アリタル場合死亡ノ日ハ死亡ト認定セラレタル日ヲ記載スヘキモノナルニ沈没ノ日ヲ記載シタルニ依ル職權訂正記載例

死亡ノ日ノ記載通誤アルニ付昭和何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ同月何日之ヲ「貳拾六日」ト訂正ス

五三八

昭和
二〇〇
司
回
民事
八一四五
(1395)
一〇六
二五

一九二 抗 告

七 意思能力ヲ有スル未成年者カ轉籍又ハ相續人ノ指定ヲ爲スニハ法定代理人ノ同意ヲ要セス戸籍ニ關スル届出ノ無効カ親族法又ハ相續法上ノ權利ニ影響ヲ及ホス場合ニ於テハ訴ノ方法ニ依リ之ヲ主張スヘク戸法一六九條ノ抗告ニ依ルヘキモノニ非ス

大正
二〇〇
七一
大
一
民
列
(オ)
一
五
年
一
四
二
九
八
二

一九二 戸籍法 抗告

五三九

二二 戸法六四條六五條手續令三九條ニ因ル催告ノ期間内ニ届出ヲ爲
スモ既ニ届出法定期間ヲ懈怠セル以上處罰ヲ免レス

大正
新 五〇・三
決 七

四八一

八六

六

一九四 懈怠通知

- 三六 懈怠通知ニ就テ
- 三七 懈怠通知ニ就テノ寄書ヲ拜讀シテ
- 三八 再ヒ懈怠通知ニ就テ
- 三九 婚姻後二百日内ノ出生子ヲ届出期間經過後父母ヨリ出生届ヲ爲
スモ届出義務者ハ母ナリ
- 四〇 戸主ト同居セサル相續人ヨリ戸主ノ死亡届出ヲ爲ス場合ニ於テ
モ期間經過後ノ届出ナルトキハ其相續人ニ對スル懈怠通知ヲ要ス
- 四一 所在不明ナリシモノヨリ出生届アリタルモ訂正ヲ要スル爲メ返
戻シタルニ又所在不明ニテ到達セサル場合若シ届出期間經過後ノモ
ノナルトキハ最後ノ住所地區裁判所ニ通知シ最後ノ住所不明ナルト
キハ東京區裁判所ニ通知ス
- 四二 樺太町村制施行地域内ノ町村役場ニテ受理シタル戸籍届書類ノ
送付受ケタル場合ニ於テモ大正九年民事五五八號民事六五九號通
牒ノ趣旨ニ準シ從前通りノ取扱ヲ爲スヘシ【大正一三・四
勅令八八號】
- 四三 親權ヲ行フ母他村ニテ婚姻届ヲ爲シ其届書送付アリタルトキ既
ニ後見届出期間經過後ナルトキト雖モ後見開始届アリタルトキハ懈
怠通知スルヲ相當トス

小早川九輔 K T 生 小早川九輔	大正 七五〇 司 回	二〇・三 市 區 決	二〇・三 御 決	二・三 司 通	二・九 新 決
民 一五九 (998)	一六	二二	二二	七六九 (572)	二九
四九	五一	四三	四三	四四	四九
三九	三一	七一	七一	二二	六

- 四四 戶法一二三條七五條ノ死亡者ニ付船長カ手續ヲ爲ササル爲同居者ヨリ期間經過後死亡届ヲ爲スモ該同居者ヲ届出懈怠者トシテ通知ノ要ナシ
- 四五 婚姻後二百日内ノ出生子ノ入家ニ戸主同意セサル爲メ母ヨリ同居者トシテ出生死亡トモ期間經過後届出アルトキハ出生及死亡届懈怠通知ヲ要ス
- 四六 夫不在中私通シテ出生シタル子ノ出生届出期間經過セルトキハ夫ヲ懈怠者トシテ通知ス
- 四七 届出期間内ニ死亡届書提出シアリタルニ役場吏員ノ失念ニヨリ期間經過後受理スルトキハ死亡届出義務者ヲ懈怠者トシテ裁判所ニ通知ス
- 四八 届出期間經過後庶子出生届アリタルニ因リ母ヨリ私生子出生届懈怠理由書徴シタルニ通知前母死亡シタルトキハ通知ニ及ハス
- 四九 届出懈怠理由書ノ提出ニ應セサルトキハ單ニ懈怠通知ノミヲ爲スモ可ナリ
- 五〇 氏名變更許可ノ日ヨリ届出期間經過後許可書到達遲滞ナク届出タルモノハ懈怠通知要セス
- 五一 所在地ニテ届出失期通知シタルニ既ニ本籍ニテ法定期間内ニ同一事項ノ届出アルコト發見シタルトキハ其旨更ニ該裁判所ニ通知ス

大正 御 二二九・三	市 二一〇・三 區 決	和 二・三・三 四	新 三・一・七 元	新 三・一・七 元	新 三・一・七 元	田 三・一・五 六	御 三・一・三 三	和 三・一・九 九
二二七	四〇 (244)	五七二	三三三	三三三	三四五	一六七	二三五	六〇五
四九	五七	五二	五四	五四	五四	五三	五五	五七
三	一四	三	五	一〇	一	三	二	二

- 五二 苟モ市町村長ニ於テ届出申請又ハ追完ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタル以上ハ常ニ管轄區裁判所ニ其旨ノ通知ヲ爲スヘキモノトス
- 五三 民法九八四條ノ法定家督相續人ヨリ相續開始後一ヶ月經過届出タルトキハ懈怠通知スルヲ相當トス
- 五四 婚姻二百日内ノ出生子ノ出生届ニ戸主ノ同意ナキ爲メ返戻シ完備再送ノトキ届出期間經過セルトキハ懈怠通知ヲ要ス
- 五五 前項懈怠事由書ハ追徵スヘシ但返戻ノ際失期事由書ヲモ併送スヘク注意スルヲ可トス
- 五六 戸主タル父所在不明トナリ其子出生シタルモ母届出義務ヲ解セス期間經過後母届出ヲ爲シタルトキハ母ヲ懈怠者トシテ通知ス
- 五七 在外者名義ヲ以テ内地ニ於テ期間經過後出生届出アリタルニ因リ懈怠通知ヲ爲シタルニ在外本人ヨリ期間内ニ領事ニ爲シタル出生届廻送アリタルトキハ前ノ通知取消方裁判所ヘ照會ス
- 五八 死亡届出義務者カ死亡ノ事實ヲ知リタルハ十數日後ナルコト市町村長ニ於テ知了スルモ懈怠通知ヲ要ス
- 五九 在外者死亡届ヲ日本人會幹事ヨリ届出期間經過後届出タルトキハ町村長ニ於テ何人カ懈怠者ナルヤ職務上調査スルヲ要シ若シ懈怠者判明セサルトキハ通知スルニ由ナシ
- 六〇 外國ニ於テ内縁ノ外國婦人トノ間ニ出生セル子女ヲ連レ歸リ庶

法曹決 三・六・一	妙 三・六・三	和 三・八・三 三	和 三・八・三 三	新 三・八・一 三	御 三・三・三 三	御 三・三・三 三	和 三・六・六 六
一一八	六一〇	六一〇	六一〇	三七〇	二五六	二六〇	六四五
五八	六〇	六〇	六〇	六〇	六三	六三	六八
三	三	四	二	二	七	六	八

一九四 戸籍法 罰則 懈怠通知
 知り得ルニ於テハ簡單ナル印判ヲ押捺シ懈怠通知書省略差支ナシ
 七六 外國在留中ノ戸主死亡シ其同居者ノ死亡通知遅延ノ爲自然家督
 相續届出期間懈怠シタルモノナリトモ懈怠通知ヲ要スルハ勿論ナリ

昭和 二四・五一 市區決	一五 (415)	一〇六	一〇
二七・二 妙決	一三三	一〇三	三

寄留法

一九五一 一般

- 一四 朝鮮人、臺灣人、樺太人ノ内地寄留ハ本籍ナキ者ニ準シテ取扱フ
- 一五 寄留者カ寄留地ニ於テ出生届出ヲ爲シタル場合出生子カ寄留ノ事實アラハ届出ヲ爲サシメ又ハ職權ヲ以テ記載スヘキモノトス
- 一六 寄留法實施ニ依リ寄留ニ關スル舊諸法令ハ當然自然效力ヲ失ヒタルモノトス
- 一七 寄留法實施ニ依リ明治十九年内務省令十九號ハ自然消滅シ又同省令九條ニ代ハル新法規定ナキ爲メ海外渡航又ハ歸朝者ニ付テハ届出ヲ要セズ
- 一八 明治四十四年七月十日民事四五八號民事局長回答ハ寄留法ニ依ル寄留手續ニ適用セズ
- 一九 居住ノ意思アル者ハ寄留ノ意思アル者ナルヲ以テ既ニ九十日以上一定ノ場所ニ居住スル者ハ寄留者トシテ取扱フ
- 二〇 住所寄留ヲ住所外寄留ニ變更スルニハ住所寄留ノ轉寄留ヲ爲シ更ニ住所外寄留ヲ爲ス

一九五 寄留法 一般

大正 三・三三 司	三・三三 司	三・三三 司	三・三三 司	三・三三 司	三・三三 司	三・三三 司	三・三三 司
回	回	回	回	回	回	回	回
民	民	民	民	民	民	民	民
一六九二 (590)	六八二 (629)	一四八 (635)	一四八 (635)	一四八 (635)	一四八 (635)	一四八 (635)	一四八 (635)
四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九
一四	三〇	三三	三三	三三	三三	三三	三三

五四九

- 二一 居所寄留ヲ住所外地寄留ニ變更スルニハ他ニ新ナル住所寄留ヲ爲シタル上其届出ヲ爲ス
- 二二 手續令一八條一項ノ届出義務者ニ對スル通知ハ實際上必要ナク又戸籍ニ關シテハ斯ル規定ナキヲ以テ之カ規定削除ヲ建議スルコト
- 二三 住所寄留者更ニ居所寄留ノ届出ヲ爲シタル場合住所外寄留ナルヤ轉寄留ナルヤ事實問題ナリ
- 二四 臺灣朝鮮樺太關東州ニ居住内地人ノ出寄留用紙處理事項ヲ其地警察官又ハ面長ヨリ通知セシメ出寄留者ト取扱フヘキ規定制定方建議
- 二五 住所外ノ居所寄留ハ二箇所以上ニ之ヲ爲スコトヲ得ス
- 二六 各人生活ノ本據タル場所ニ寄留スル者ヲ住所寄留者トシテ取扱ヒ其他ノ場所ニ寄留スル者ヲ居所寄留者トシテ取扱フ
- 二七 寄留法ニ所謂住所居所ノ意義モ民法ニ於ケル意義ト異ルコトナシ
- 二八 婚姻後二百日內ノ嫡出子出生届出期間經過シ母未成年ナル場合母ノ夫カ成年ナルトキハ夫ヲ懈怠者トシテ通知ス

大正 六・七・三 司 回	民 八五三 (946)	五	二
二〇・五・七 市 區 決	一六六	四	二
八・五・三 司 回	民 一一〇五 (1072)	六〇	一九
二〇・三・三 市 區 決	三二 (237)	五七	一一
三・二・三 和 決	六七	七三	五
三・二・三 和 決	六七五	七三	八
二・二・四 法 曹 決		七三	八
二・二・九 和 決	八〇六	八九	一
五・五・七 大 正 聯 合 決	一〇〇		
三・六・八 昭 和 和 決	八九八	一〇二	一
五・五・七 大 正 聯 合 決	九〇		
三・六・八 昭 和 和 決	八		

一九六 寄留簿其他ノ帳簿

- 一〇 寄留簿ノ乙用紙ノミヲ閉鎖シ除寄留簿ニ移綴スルヲ得ス
- 一一 カード式ニ非サル住所寄留見出帳及出寄留見出帳ノ一用紙全部カ抹消シタルモノナリトモ除帳スヘキモノニアラス

大正 五・五・七 聯 合 決	一〇〇	九〇	八
三・六・八 昭 和 和 決	八九八	一〇二	一

一九七 公 示

- 六 閉鎖後除キタル寄留若ハ出寄留ノ用紙又ハ改製ノ場合ノ原寄留若ハ出寄留ノ用紙、従前ノ出入寄留除帳簿ニ付テハ便宜閱覽又ハ謄本抄本ノ交付ヲ許スハ差支ナキモ手数料ヲ徴スルヲ得ス
- 七 除寄留簿及除寄留用紙ノ謄本交付ニ付キ手数料ヲ徴シ得サル旨ノ省議ノ變更ヲ求ムル件ハ大阪控訴院長ヨリ本省へ照會ノ結果ヲ俟ツヘシ〔一九七八〕
- 八 除寄留簿及除寄留用紙ノ謄本交付ニ付手数料ヲ徴スルハ勅令ノ改正ヲ要スルカ故ニ手續令改正ノ機ニ於テ參考トスヘシ―大正一一・六・三民事八四四號司回―
- 九 手数料條例ノ設ケアルモ寄留簿ニ基キ証明(謄本抄本ニテ)スヘキ事項ハ寄留事務トシテ取扱フヘシ
- 一〇 自治會長、修養會長、青年會長、在郷軍人會長、教育後援會長及信用組合長等ヨリ戸籍寄留簿ノ閱覽謄本交付請求アルモ手数料ヲ要ス
- 一一 除寄留簿ノ閱覽及謄抄本手数料徴收ニ付テノ建議

大正 四〇・二 司回	民 三三二 (674)	五〇	二
一〇・三 市區決	一六二	四四	一
二・六 控通	一五五	四六	九
二・九 田決	一五五	五〇	一
三・一 新 市區決	三四六	五四	一
四・〇 市區決	一四 (323)	八七	五

一九八 寄留簿ノ記載

二二【世帯主ノ本籍ニ寄留スル場合其本籍カ屋敷番ナルトキト雖寄留簿ニ記載スヘキ寄留場所ハ地番號ヲ以テ表示シ寄留用紙ハ地番號順ニ編製スヘク】世帯主ノ寄留簿カ屋敷番ナルトキハ寄留簿ノ編製ハ従前ノ儘ニ爲シ置ク

〔大正三・二・二六民寄留簿ハ總テ戸籍ト
一八八九號司回三項同様ニ編製スヘシ〕

- 二三 寄留セサル配偶者ノ氏名ハ寄留者ノ肩書ト爲スヘシ
- 二四 屋敷番號ヲ用ユル世帯主ノ本籍ハ寄留シタル場合ニ於ケル寄留簿ノ編製方ニ關スル大正三年十二月二十五日民一六八一號回答ハ同月二十六日民一八八九號回答ニ依リ自然變更セラレタルモノトス
- 二五 世帯主ト内縁ノ夫、内縁ノ妻又ハ妾ノ關係ヲ有スル者ハ縁故者ト記載ス
- 二六 世帯主カ住所寄留者ナルモ世帯ニ屬スル者カ居所寄留者ナルトキハ此者ハ居所寄留簿ニ記載スヘシ
- 二七 寄留簿ノ職權記載ハ廣ク事實上寄留又ハ退去其他寄留ニ關シ届出ヲ爲スヘキ事項ニ付キ爲シ得而シテ必スシモ手續令三九條ノ催告アルコトヲ要セス
- 二八 世帯主ノ内縁ノ妻ハ縁故者ト記載ス看護婦、助産婦、家庭教師

一九八 寄留法 寄留簿ノ記載

五五五

大正	三・三・三	三・三・三	三・三・三	三・三・三	三・三・三
司	司	司	司	司	司
回	回	回	回	回	回
民	民	民	民	民	民
一六八一	一八九八	一〇九	一〇一	三一九	四二三
(591)	(595)	(639)	(627)	(670)	(683)
四九	四九	四九	四九	五〇	五〇
一五	一七	三五	二八	二〇	二五

一九八 寄留法 寄留簿ノ記載

- ノ如キハ續柄記載ノ要ナシ
- 二九 數人ノ寄留者ヲ一用紙ニ記載ノ場合事項同一ナリトモ各人ニ記載ヲ要ス出寄留用紙ハ最初ノ一人ノミニ記載スレハ足ル
- 三〇 住所外寄留者ヲ世帯主トシテ同一場所ニ住所寄留セル者アル場合住所外寄留者ヲ移記シ移記セラレタル寄留簿ハ事由記載抹消ス
- 三一 寄留地ニテ出生届ヲ受領送付シタルニ本籍番地届出人生年月日等誤記ノ旨附箋返戻アリタルトキハ寄留簿ノ記載ハ職權訂正シ一面出生届出人ヨリ出生届ノ追完ヲ爲サシムヘシ
- 三二 寄留者カ寄留市町村内ニ於ケル寄留簿上ノ寄留場所ト異リタル現在ノ場所ニ轉籍シタルトキ市町村長ハ其事由ヲ記載シ寄留簿ヲ抹消ス
- 三三 職權ニ因ル寄留ノ記載ノ場合本籍、生年月日等調査不能ノトキハ不明ノ旨記載スル外ナシ
- 三四 配偶者ト共ニ寄留セル者妻離婚ノ旨本籍地ヨリ通知アリタルトキハ事由ヲ記載シ妻ヲ更正シ若シ寄留事實ナキトキハ復歸届ヲ爲サシメ又ハ職權ニ因リ抹消ス
- 三五 乙村住所寄留者カ甲村ニ本籍ヲ有スルニ拘ハラヌ乙村ヲ本籍トシテ更ニ丙村ニ住所寄留ヲ爲シタル届書ヲ丙村長ヨリ送付ヲ受ケタ

大正 四七・三 司	五五六 民	九五二 (729)	五一	八
三〇・八 司	民	一八五 (788)	五二	六
七五・四 司	民	一〇一〇 (995)	五八	一一
八〇・三 司	民	二一〇 (1066)	五九	一九
一〇・三・一 和	決	五〇〇	四一	二
二九・九 田	決	一六三	五〇	三
三七・六 田	決	一七七	五九	一

- ル乙村長ハ其届書ニ本籍ヲ有スル者ナル旨ヲ附箋シテ甲村ニ送付シ
- 甲村ニ於テハ轉寄留トシテ取扱フ
- 三六 數人ノ寄留者ヲ一用紙ニ記載スル場合記載事項同一ナルトキト雖モ最初ノ一人ノミニ事項ヲ記載シ他ヲ省略スルコトヲ得ス
- 三七 雇人及家族數名ヲ有スル世帯主カ同時ニ轉寄留シ又ハ退去シタル場合其轉寄留又ハ退去ノ届出事項ハ世帯主ノ事項欄ニノミ記載ノ取扱ヲ爲スモ差支ナシ
- 三八 寄留全戸抹消又ハ閉鎖ノ場合戸籍ノ抹消ノ例ニ倣ヒ朱線大交叉ノ取扱ヲ爲スモ差支ナシ
- 三九 婚姻又ハ離婚ヲ爲シタル者カ其届出ヲ爲ササルモ事實婚家又ハ實家ニ居リテ寄留者ナリト認メ得ルニ於テハ届出ノ催告ヲ爲サス職權ヲ以テ寄留簿ノ記載ヲ爲スコトヲ得
- 四〇 職權ニ依リ退去ノ記載ヲ爲シ除寄留簿ニ移綴後本籍地ヨリ轉寄留取扱ノ通知アリタルトキハ轉寄留ノ更正記載ヲ爲シ閉鎖年月日ハ其儘ト爲ス
- 四一 世帯主カ寄留ノ場所ニ本籍ヲ定メタル場合世帯主ト本籍ヲ異ニセル同居者アルトキハ前寄留簿ヲ閉鎖シ寄留者ノ全員ヲ世帯主ノ本籍地ニ寄留スルモノトシテ別用紙ニ移記スヘシ
- 四二 寄留者中ノ二人カ本籍へ退去ノ届出ニ依リ寄留簿抹消ノ手續ヲ

一九八 寄留法 寄留簿ノ記載

三〇・三・三 新	三七七	六四	二
四〇・九・三 新	四一〇	七五	四
四四・四・元 司	民事 三七六一 (1192)	七八	二二
四四・五・六 司	民事 三七六一 (1193)	七八	二二
四四・五・六 妙	一四六	七八	九
四四・八・一〇・三 新	四三四	八二	四
大阪決	六二	八五	一四

爲シタルニ間モナク本籍地村長ヨリ全寄留者カ本籍ニ復歸ノ届書騰本ヲ送付シ來レル場合寄留地村長ニ於テハ前ノ退去者以外ノ者ニ付抹消ノ手續ヲ爲スヘク本籍地ニ於ケル二人ノ退去届書ハ寄留往復文書綴ニ綴ルヘシ

四三 世帯主ノ妹他町村ニ婚姻入籍シタルニ因リ本籍村長ヨリ其旨通知ヲ受ケタルトキハ寄留簿ニ其事由ヲ記載シ其本人ノ肩書ニ新本籍並ニ戸主ノ氏名續柄及配偶者ノ氏名ヲ記載スレハ可ナリ

四四 多數同居ノ寄留者ニ付テハ其届出ノ日ヲ異ニスルモ寄留簿ノ用紙ハ甲用紙ニ乙用紙ヲ連續使用スルモ差支ナシ

四五 塲屋管理者ヨリ同時ニ數十名ノ寄留届出アリ又翌日同様届出アルカ如キ場合ハ是等ノ者ト普通寄留者ノ寄留簿トハ別冊ト爲シ差支ナキモ寄留者ノ氏ノ頭文字ノイロハ順ニ編綴スルヲ得ス

四六 職權ニテ寄留記載ヲ爲ス場合不明事項ハ一應本人ニ付調査スルハ差支ナキモ必スシモ催告ヲ要セス

四七 寄留簿及出寄留用紙ノ朱抹ニハ「赤インキ」ヲ使用スルヲ得サルモ戸籍及寄留謄抄本ノ朱抹ニハ使用差支ナシ

四八 妻カ世帯主トシテ寄留後夫其世帯ニ入り世帯主變更届出タルトキハ夫ハ妻ノ後ニ記シ世帯主ノ額書ヲ妻ト更正スルカ又ハ新ニ夫ノ寄留簿ヲ編綴シ妻及其家族ヲ之ニ移記シ閉鎖スルモ可ナリ

大正 新 五〇・三 一 三	大阪決	聯合決	聯合決	聯合決	大阪決	聯合決	聯合決	大阪決	田 五〇・三 二 九
四六三	七二	九八	九九	一〇三	一六二	九六	九六	二七二	二七二
八六	八八	九〇	九〇	九〇	九五	九六	九六	九六	九六
二	七	七	八	八	二二	一七	一七	一七	一七

一九九 記載事項

- 一七 世帯主妻ト共ニ甲地ニ住所寄留乙地ニ住所外寄留シタルニ世帯主ノミ住所寄留、住所外寄留ノ轉換シタルトキハ妻ハ住所外寄留者ノ世帯ニ屬スルニ至ルヲ以テ寄留場所ノ下欄ニ世帯主ノ記載ヲ要ス
- 一八 村長缺勤中助役カ村有家屋寄留承諾スルモ寄留簿記載ノ家屋管理人ハ村長名ヲ記ス
- 一九 寄留簿ニ職業記入ヲ省略取扱ノ建議
- 二〇 大正十二年ニ寄留ノ者カ大正十年生ノ子ノ出生届ヲ大正十四年ニ寄留地ノ市町村長ニ届出タルニ依リ寄留簿ニ職權記載ヲ爲ス場合其出生子ノ寄留ノ日ハ事實寄留ノ日ヲ記載ス
- 二一 奴婢ニ付テハ世帯主トノ續柄ヲ記載セサルカ若クハ奴婢ニ代ルヘキ適當ノ名稱ヲ付スルコトニ省議變更ヲ求ムルコト

大正 七五・三 四 回	和 二〇・〇 三 決	和 一〇・〇 六 決	昭和 二四・二 五 一 七 市 區 決	民
一〇〇 (996)	五五六	三二 (292)	三七一	三五 (431)
五八	五〇	八一	八四	一〇六
二	六	一〇	五	一九

二〇〇 訂 正

- 一四 寄留地市町村長カ本籍地市町村長ヨリ寄留届書中戸籍ト符合セサル點ノ通知ヲ受ケタルトキハ職權ヲ以テ寄留簿ノ記載ヲ爲シタル後届出義務者ニ其旨通知スヘシ但届出人ノ所在不明等ニテ通知スルコト能ハサルトキハ其通知ニ及ハス
- 一五 寄留ノ年月日又ハ氏名ノ錯誤遺漏アルコトヲ發見シタル場合町村長ハ職權ヲ以テ寄留簿ヲ更正シ其旨本人ニ通知ス
- 一六 乙村ニ於テ丙村ヨリ轉寄留セル届書ヲ受理シ甲村タル本籍地ニ送付シタルニ其以前丁村ニ出寄留セルヲ以テ丁村ヨリ乙村ニ轉寄留セル取扱ヲ爲シタル旨通知ニ接シタル場合ハ調査ノ上甲村長ノ通知カ事實ナルトキハ寄留簿ニ「大正年月日丁村ヨリ轉寄留同月何日通知ニ因リ更正」ト記載シ丙村ニ其旨通知スルヲ相當トス
- 一七 寄留地ニテ受理送付シタル出生届ヲ本籍地ヨリ本籍父母ノ名生年月日相違ノ旨ニテ返戻ヲ受ケタル場合寄留簿ノ記載ヲ職權訂正シテ可ナリ
- 一八 他町村ノ行政區畫又ハ土地ノ名稱變更ニ付其通知ナキモ縣告示等ニ依リ判明スルトキハ寄留簿及出寄留用紙ヲ更正ス

二〇〇 寄留法 寄留簿ノ記載 訂正

大正 四・三・〇 司 回	大正 四・三・〇 司 回	大正 四・三・〇 司 回	大正 四・三・〇 司 回	大正 四・三・〇 司 回
民 一〇九 (637)	二一三	二七	四二	二五〇
四九	四〇	七八	八三	八四
三四	一五	一七	五	一二

二〇一 記載例

- 一五 寄留簿記載例
- 一六 退去年月日不明ノ場合職權記載例
 (寄留簿ノ記載)
 寄留ノ場所ヲ退去シタルモ届出ナキニ付キ大正年月日職權抹消[㊦]
 (出寄留簿用紙ノ記載)
- 一七 手續令一四條一項ノ通知ヲ受ケタル場合ノ記載例
 大正年月日死亡同月何日本籍地市町村長ノ通知ニ因リ抹消ス[㊦]
 大正年月日何某ト婚姻同月何日本籍地市町村長ノ通知ニ因リ更正(抹消)[㊦](此場合ハ手續令五條五號ニ依リ配偶者ノ氏名ヲモ寄留簿ニ記載スヘシ)
- 一八 手續令一八條ニ依リ寄留簿ノ職權記載例
 大正年月日寄留其届出ヲ爲ササルニ付年月日職權記載[㊦]
 大正年月日退去其届出ヲ爲ササルニ付年月日職權記載[㊦]
- 一九 一 住所寄留ヲ住所外寄留ニ變更スル爲住所寄留ノ轉寄留ヲ爲シ更ニ住所外寄留ヲ爲シタル場合ノ記載例
 (居所寄留簿) 何年何月何日何市町村何番地ヨリ住所外寄留何月何日届出[㊦]
 (住所寄留簿) 何年何月何日何市町村何番地ニ轉寄留何月何日届出ニ因リ抹消[㊦]
 一 居所寄留ヲ住所外寄留ニ變更スル爲メ他ニ新ナル住所寄留ヲ爲シ以テ原住所寄留ヲ住所外寄留ト爲ス場合ノ記載例

大正 五〇・三 司 回	六〇・三 司 回	六〇・三 司 回	六〇・三 司 回
民 三七九 (891)	民 三七九 (892)	民 三七九 (893)	
五一	五四	五四	五四
二八	一九	一九	一九

二〇一 寄留法 寄留簿ノ記載 記載例

(居所寄留簿) 何年何月何日居所ヲ何市何町何番地ヨリ住所外寄留ニ變更何月何日届出
 (住所寄留簿) 何年何月何日寄留何月何日届出
 何年何月何日何市何町何番地ニ住所外寄留何月何日届出

一 住所地外寄留ヲ住所寄留又ハ單純ノ居所寄留ニ變更スル爲
 住所地外寄留地ニ變更届ヲ爲シ前住所寄留地ニ其届書謄本ヲ
 送付シタル場合ノ記載例

(住所寄留簿) 何年何月何日住所外寄留ヲ住所寄留ニ變更何月何日届出ニ因リ移記
 (住所外ノ居所寄留簿) 何年何月何日住所外寄留ヲ居所寄留ニ變更何月何日届出
 (居所寄留簿) 何年何月何日住所外寄留ヲ住所寄留ニ變更何月何日届出ニ因リ抹消

(前住所寄留地ニ於ケル住所寄留簿) 何年何月何日住所外寄留ヲ住所寄留(居所寄留)ニ變更何月何日届出ニ因リ抹消

一 住所地外寄留ヲ住所寄留ニ其前住所寄留ヲ住所地外寄留ニ
 轉換ノ爲住所地外寄留地ニ其變更ノ旨届出前住所寄留地ニ該
 變更届謄本ヲ送付シタル場合ノ記載例

(住所寄留簿) 何年何月何日住所外寄留ヲ住所寄留ニ住所何市何町何番地ヲ居所ニ
 變更何月何日届出ニ因リ移記
 (居所寄留簿) 何年何月何日住所外寄留ヲ住所寄留ニ住所外寄留ニ變更
 何月何日届出ニ因リ抹消

二〇 寄留ノ事實ナカリシ場合寄留簿職權抹消スヘシ其記載例左ノ如
 シ
 (舊住所寄留地ニ於ケル居所寄留簿) 何年何月何日住所外寄留何市何町何番地ヲ居
 所ニ住所寄留ヲ住所外寄留ニ變更何月何日届出ニ因リ移記
 (舊住所寄留地ニ於ケル住所寄留簿) 何年何月何日住所外寄留ヲ住所寄留ニ住所寄
 留ヲ住所外寄留ニ變更何月何日届出ニ因リ抹消

寄留ノ記載ハ錯誤ニ付キ何年何月何日職權抹消

二一 退去先不明ノ退去届ヲ本籍地ニ送付シタルニ其後本籍地ヨリ他
 ニ寄留届出轉寄取扱ノ旨通知受ケタル原寄留地ノ除寄留簿記載例
 年月日何郡何村ニ轉寄留年月日通知ニ因リ更正

二二 轉寄留届ヲ受理シ原寄留地ニ送付シタルニ寄留ノ形迹ナシトシ
 テ返戻セラレタルニ付新寄留トシテ取扱フ場合寄留簿更正記載例
 大正年月日寄留届出轉寄留ノ記載錯誤ノ旨年月日通知ニ依リ更正

二三 本籍地町村長ヨリ寄留地町村長ニ寄留者ノ婚姻届出ノ旨通知ア
 リタル場合ノ寄留簿記載例
 夫ノ肩書ニ「某夫」ト記載シ事項欄ニ年月日妻某ト婚姻年月日通知ニ因リ記載

二四 行政区畫變更ノ通知ヲ受ケタル場合寄留簿又ハ出寄留用紙ノ記
 載例
 年月日行政区畫變更年月日通知ニ因リ更正

二五 世帯主カ寄留ノ場所ニ本籍ヲ定メタル場合世帯主ト本籍ヲ異ニ
 二〇一 寄留法 寄留簿ノ記載 記載例

大正 六・七・三 司 回	民 八五三 (949)	五五	二四
六・七・三 司 回	民 八五三 (851)	五五	二四
和 六・五 決	五八一	五六	二
新 二・九・三 決	四〇五	七五	三
新 四・八・〇一三 決	四四四	八二	六
和 四・〇・三 決	七七二	八四	五

二〇一 寄留法 寄留簿ノ記載 記載例

セル同居者アルトキノ寄留簿整理記載例

(前寄留簿ノ世帯主ノ事項欄)
大正何年何月何日寄留ノ場所ニ轉籍届出ニ依リ抹消」ト記載シ全寄留者ヲ抹消ス
(右閉鎖事由)

世帯主寄留ノ場所ニ轉籍シタルニ付大正何年何月何日閉鎖
(全寄留者ヲ別用紙ニ移記シ)

大正何年何月何日世帯主轉籍届出ニ依リ移記

二〇二 蠅船内居住者ヨリ寄留届出アリタル場合寄留ノ場所記載例

海草郡日方町何番地地先日方川口蠅船内

大正 和 五 三	大阪決	六二	八五	一四
和 三	決	八二八	九〇	四

二〇二 出寄留用紙ノ記載及取扱

四五 手続令三三條ノ復歸届ヲ爲ササル爲本籍地市町村長カ催告ヲ爲
スモ應セサル場合出寄留用紙ハ職權ニテ抹消シ一八條二項ニ準シ寄
留地へ通知ス

四六 數人ヲ出寄留用紙ニ記載ノ場合事項同一ナルトキハ最初ノ一人
ノミニ記載スレハ足ル

四七 寄留地ヨリ職權ニテ寄留抹消ノ通知アリタルモ事實本籍ニ復歸
ナキトキハ出寄留用紙ニ退去ノ旨記載スルニ止メ閉鎖セス

四八 出寄留用紙ニ記載ナキ數箇ノ市町村長ヨリ職權寄留抹消ノ通知
アリタルトキハ寄留簿謄本ノ送付ヲ受ケ相當手續ヲ爲スヘキモノナ
ルモ便宜抹消ノ順序ニ依リ出寄留用紙ニ寄留ノ場所ヲ記載シ直ニ抹
消ノ手續ヲ爲スモ可ナリ

四九 出寄留用紙ノ寄留場所欄ノ記載ハ郡村大字番地ノ表示ノミニテ
寄留場所明確ナラサルトキハ尙何某方又ハ何會社寄宿舎内ト記載ス
ルヲ可トス

五〇 出寄留用紙記載ニ際リ届書ニ表示セル寄留ノ場所カ略稱ヲ以テ
セルモノト認メ得ヘキトキハ正當ノ町村名ニ引直シ若シ略記ナリト
認メ難キモノハ其儘記載ノ外ナシ

二〇三 寄留法 出寄留用紙ノ記載及取扱

大正 七 一 司	民 四〇四 (711)	五〇	三五
大正 四 八 司	民 一八五 (788)	五二	六
八 二 二 司	民事 四九四 (1123)	六一	二五
和 元 六	四八一	四〇	一
田 二 〇 九	一四八	四三	二
田 二 〇 九	一五四	四三	四

二〇二 寄留法 出寄留用紙ノ記載及取扱

- 五一 甲地本籍人男丙地本籍人女寄留地ニテ婚姻シタル爲丙地村長ヨリ出寄留用紙ノ送付受ケタル甲地村長ハ其記載ヲ夫ノ出寄留用紙ニ移記シ送付ヲ受ケタル出寄留用紙ハ閉鎖事由ヲ記載シテ除寄留用紙綴ニ綴ス
- 五二 甲地本籍人甲男カ寄留地ニ於テ單獨出寄留中ノ甲地本籍人乙女ト婚姻シタルトキハ乙ノ出寄留事項ヲ甲ノ出寄留用紙ニ移記シ乙ノ出寄留用紙ヲ抹消閉鎖ス
- 五三 前項甲ノ出寄留用紙ニハ移記事由ノ記載ヲ要セス乙ノ出寄留用紙閉鎖事項記載例ハ左ノ如シ
何某(戸主ノ氏名)出寄留用紙ニ移記シタルニ因リ年月日閉鎖
- 五四 甲村へ寄留シ更ニ乙村ニ普通寄留届出ヲ爲シタル者ニ付乙村ヨリ先ツ届書ノ送付アリ出寄留用紙ノ記載後甲村ヨリ届書送付アリタルトキハ既設ノ出寄留用紙ニ其記載ヲ爲シ事由欄ハ乙村へ轉寄留ヲ爲シタル記載ヲ爲シ其旨甲乙兩村長ニ通知ス
- 五五 本籍地町村長ハ出寄留者ノ復歸セル事實ヲ認メ得ルトキハ一應其届出ヲ催告シ之ニ應セサルトキハ職權ヲ以テ出寄留用紙ノ記載ヲ抹消シ其旨寄留地町村長ニ通知ス
- 五六 大字名變更通知ニ因リ出寄留用紙中寄留ノ場所更正スルニハ其變更分ノミ更正シ可ナルモ全部朱抹次行へ改書スルモ差支ナシ更正

五六八

大正 和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇
決	決	決	決	決
五三	五二	五一	五〇	四九
四四	四四	四四	四四	四四
一六	一六	一六	一六	一六

事由記載左ノ如シ

- 年月日大字名變更年月何日通知ニ因リ更正
- 五七 甲町へ居所寄留者乙村へ住所寄留ヲ爲シ其届書ノ送付受ケタルトキハ出寄留用紙ニ住所寄留ノ記載ヲ爲シ前ノ居所出寄留ノ記載ヲ抹消スヘシ其後甲町長ヨリ退去届ノ送付アルモ事由ヲ附箋シテ其儘寄留往復文書綴ニ綴ス
- 五八 出寄留地村カ町ト爲リタルコト縣報ニテ知ルモ出寄留用紙ノ記載ハ特ニ更正ノ要ナシ
- 五九 出寄留用紙ニ退去先不明ノ届ニ依リ其事由記載シタルニ其後前寄留ノ場所ト同一場所ニ寄留届出タルトキハ更ニ同用紙次行ニ記載ス
- 六〇 寄留者カ寄留地内ノ寄留場所以外ニ居住シ同所へ本籍ヲ轉シタルトキハ原籍地村長ハ出寄留用紙ノ送付ヲ要ス
- 六一 出寄留者ノ戸主變更シタルトキハ出寄留用紙欄外ニ事由記載ノ上更正シ其旨寄留地ニ通知ス
- 六二 出寄留者復歸シタルトキハ本籍地村長ハ寄留地村長ニ復歸事實ヲ通知シ手續令一八條ノ通知ニ依リ出寄留用紙ヲ抹消ス
- 六三 出寄留者カ本籍ニ復歸スルニアラサレハ單ニ寄留場所退去シタルノミヲ以テ出寄留用紙ノ閉鎖ヲ爲スコトヲ得ス

二〇二 寄留法 出寄留用紙ノ記載及取扱

五六九

和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇	和 二〇二〇
決	決	決	決	決	決	決	決
五八〇	一七二	三五三	三一四	五六五	五五二	五三二	五三〇
五六	五三	五四	五四	五〇	五〇	四七	四七
二	二	二	二	八	五	一	一

- 六四 乙單獨寄留中世帯主甲ハ他ノ家族ト共ニ乙ヲモ同世帯家族トシテ乙ト同村ニテ寄留場所ヲ異ニシテ寄留届ヲ爲シタル爲其届書送付アリタル本籍地ニテハ乙ニ對シ寄留場所變更ノ取扱ヲ爲ス右出寄留用紙ハ既設乙ノ分ヘ甲以下ヲ追記ス
- 六五 數人アル一家全體カ他村ニ寄留中其家族ノ一部カ寄留地外ノ他村ニ分家シタル場合分家地ニ送付スヘキ出寄留用紙ニハ其分家者ノ轉寄留事項全部ヲ移記ス
- 六六 寄留地村長ヨリ單獨寄留者ノ退去先ヲ「支那上海ニ轉寄留ノ目的ヲ以テ」ト爲セル退去届ノ送付ヲ受ケタル本籍地村長ハ出寄留用紙ニ退去ノ旨ヲ記載シ閉鎖ス
- 六七 出寄留中ノ者カ本籍ニ於テ管内分家ヲ爲シタルトキハ本籍地村長ハ出寄留地村長ニ手續令第一四條ノ通知ヲ爲スト同時ニ出寄留用紙ノ本籍欄及戸主欄ヲ更正シ欄外ニ其事由ヲ記載スルヲ以テ足ル
- 六八 出寄留者ニ付再ヒ同一ノ場所ニ寄留ノ届書ノ送付ヲ受ケタルトキハ一應新ナル寄留トシテ取扱ヒ寄留地村長ニ重複寄留ニ付調査方照會ヲ爲シ其結果ニ基キ相當處理ス
- 六九 本籍地村長カ出寄留者ナルコトヲ確認シタルトキハ其旨ヲ寄留地村長ニ通知シ手續令一八條ノ通知ヲ俟ツテ出寄留用紙ノ記載ヲ爲ス

大正 和 三三・二九 決	新 三三・二四 決	和 三三・二〇 決	和 二四・〇七 決	和 二四・二五 決
六〇〇	三八五	六五三	七六九	七八〇
五七	七一	七二	八四	八五
一	二	一	四	二

- 七〇 出寄留者カ寄留ノ場所ニ本籍ヲ定メタルトキハ出寄留用紙送付ノ要ナシ
- 七一 行政區畫、土地ノ名稱變更ノ爲寄留ノ場所ニ變更ヲ生シタルコト本籍地市町村長ニ於テ明認シ得ル場合ハ出寄留用紙ヲ職權更正シテ可ナリ
- 七二 本籍地ト同一市町村内ノ寄留ニ付寄留用紙省略方省議變更ヲ求ムルコト
- 七三 退去先不明ノ職權抹消通知ト同時ニ同一市町村長ヨリ寄留届送付アリタルトキハ抹消通知書ハ其儘寄留往復文書綴ニ編綴シ出寄留用紙ハ轉寄留ノ記載ヲ爲シ其旨寄留地ヘ通知ス
- 七四 寄留地市町村長カ出生又ハ死亡ノ届書ヲ受理シ寄留ノ記載又ハ抹消シタル旨附箋ヲ爲シ送付シ來リタル場合出生ノ日ヲ寄留ノ日ト看做シ出寄留用紙ニ記載シ死亡者ニ付テハ更正抹消事由欄ニ「死亡年月日抹消」ト記シ氏名欄ヲ朱抹ス
- 七五 本籍地町村長カ寄留者復歸ノ事實明ナル場合寄留地タリシ町村長ノ通知ニ依リ爲ス出寄留用紙記載例
年月日復歸抹消ノ旨月日通知ニ因リ抹消
- 七六 出寄留用紙様式中抹消事由及年月日欄狹隘ナルカ爲メ之カ變更ヲ求ムルハ可ナリ

和 二四・二五 決	大阪決	昭 和 二五・二七 新 決	和 二四・二六 決	和 二四・二六 決	聯 合 決 二五・二九
七八五	一三八	五二四	八八四	八八五	一三六
八五	九五	九九	一〇〇	一〇〇	一〇一
三	一五	七	四	四	八

二〇三 届 出

- 二九 手続令二四條二項ニ寄留届出ヲ爲スコト能ハサルトキトハ其者ノ意思能力ヲ有セサル爲又ハ其他ノ事由ニ因リ實際届出ヲ爲スコト能ハサル場合ヲ謂フ
- 三〇 寄留届出ニ同意スヘキ家屋管理人トハ差配人ノミニテ轉貸人ヲ包含セズ
- 三一 借家主ヨリ其家屋ノ一部ヲ借受ケ寄留スル者ノ寄留届書ニハ家屋所有者ノ承諾書添附スヘキモノトス
- 三二 家賃不拂ノ爲家主カ寄留届出ニ承諾セサルトキハ承諾ヲ得ル能ハサル旨ヲ記載シ届出ツルコトヲ得
- 三三 世帯主又ハ場屋管理者ハ轉寄留者、復歸者ニ對シテハ手続令三七條ノ場合ニ於テ退去届ヲ爲スヘキモノトス
- 三四 復歸届ハ世帯主又ハ場屋管理者ヨリ復歸者ノ本籍又ハ住所ニ爲シ得
- 三五 住所地外寄留ヲ住所寄留又ハ單純ノ居所寄留ニ變更スルニハ住所地外寄留地ニ變更届出ヲ爲シ前住所寄留地ハ其届書ノ謄本ノ送付ニ依リ抹消ス
- 三六 住所地外寄留ト住所寄留ト互ニ轉換セントスルニハ住所地外寄

二〇三 寄留法 届出

大正 四〇・三 司	四〇・六 司	四〇・三 司	四〇・五 司	四〇・三 司	四〇・八 司	四〇・八 司	四〇・三 司
回	回	回	回	回	回	回	回
民	民	民	民	民	民	民	民
一八七 (663)	四二〇 (719)	二二六 (749)	一六四 (768)	一五〇 (861)	四八二 (903)	八五三 (947)	
五〇	五一	五一	五一	五三	五四	五五	
一五	四	一五	二二	二一	二四	二四	

五七三

留地ニ其變更届出テ前住所寄留地ハ其届書ノ謄本ノ送付ニ依リ變更ノ記載ヲ爲ス

三七 世帯寄留者ノ全員カ他ノ同一場所ニ寄留所變更スル届書ハ世帯主ノ氏名原新寄留所及變更年月日ヲ記載シ全員變更ノ旨明ニシ一々氏名等記載セサルモ差支ナシ

三八 場屋ノ寄留者二人以上ナルトキ其本籍地ヲ同フスル場合ハ管理者ハ一通ノ届書ニ連記差支ナシ

三九 寄留届出事項ノ一部不明確ナル場合ハ届出人ヲシテ任意適當ナル方法ニテ調査セシメ届書ヲ作ラシムヘキモノトス

四〇 父ノ寄留所ト異ニセル子カ父ノ世帯ニ入ラントスルニハ寄留場所變更届ヲ爲ス

四一 出生届未済ノ子ノ寄留ハ出生届出ヲ爲サシメタル上手續ヲ爲スヲ可トス

四二 會社出張所ノ舍宅ニ居住スル従業員ヨリ寄留承諾者家主トシテ會社名ヲ記載シ社印捺シモノ又ハ管理人トシテ出張所主任ノ署名捺印セル届書提出アルトキハ便宜受理ス

四三 借家寄留者ノ一室ヲ轉借シタル者寄留届出ツル場合家主トシテ所有者ノ承諾ヲ要ス

四四 何時ニテモ轉住スルコトアルヘキ官吏ト雖本籍外ニ居住スルト

大正 六・七・三 司 回	八五三 (948)	五五	二四
六・七・三 司 回	八五三 (950)	五五	二四
六・九・三 司 回	一七〇二 (959)	五五	二九
田 田 三	一三七	四〇	一一
新 三・七・一 元	三五二	五四	一一
和 三・四・五 六	五八三	五六	三
御 三・〇・三 四	二四九	六二	三
妙 三・二・六 六	一一四	六三	二

キハ寄留届出ヲ要ス

四五 世帯主カ同一町村内ニ於テ寄留ノ場所變更届出ヲ爲ス場合世帯主ト本籍ヲ異ニセル同居者ハ各別ニ世帯主ヨリ變更届出ヲ爲ス

四六 手續令三一條三項ヲ削除方建議

四七 寄留届ハ其謄本ヲ作り送付スル必要アル場合ニ於テ届出人ヨリ任意數通ヲ提出スル外常ニ一通ヲ提出セシムヘキモノトス

四八 隔離病舎ノ常設人夫又ハ學校ノ使丁カ各其場所ニ寄留スルニ付テモ家屋管理人ノ承諾ヲ要ス

四九 清國人ノ寄留届ハ領事ノ證明書ヲ要セス該届書ハ當該役場ニ保存スヘシ

五〇 世帯主タル父ノ寄留所ニ一家ノ生計ヲ支配スル事實上ノ世帯主タル長男カ新ニ寄留シタルトキハ其届出ハ父ヨリ爲シ世帯主變更手續ヲ要ス

三・六・三
妙
決

三・六・三 妙 決	一一九	六八	二
大阪決	六三	八五	一四
市 一四・〇・一 六	三三(341)	八七	一三
和 三・二・三 七	六八三	七三	一〇
新 一五・一・一 七	四八七	八六	七
大阪決	一一六	九一	三三
昭和 二・三・一 七	五一七	九九	六

二〇四 届出人

七 寄留ニ關スル届出ハ意思能力アル未成年者自ラ之ヲ爲スヘク法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ必要トセス禁治産者ノ寄留ハ手續令二四條二項ノ者ヨリ届出ツ

大正
四・三・三
司

回
民
一八七
(662)

五〇

一五